マイクロハイファイコンポーネントシステム

SJ-9CDR

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

MDLP

B60-5129-00 00 (CH) (J) CR 0108

はじめに

本機の特長

❑ CDプレーヤー + CDレコーダー + MDレコーダー 一体型ステレオシステム

CD-R（追記型）とCD-RW（書き換え型）の録音、再生はもちろん、CDからCD-R/RWおよびMDへの高音質デジタル録音、MDからCD-R/RWへの録音や、さらにCD-R/RWからMDへの録音もできます。CDからCD-R/RWおよびMDへの同時録音もできます。

❑ MP3/WMAファイル対応CDプレーヤー

オーディオCD以外にMP3形式およびWMA（Windows Media Audio）形式の音声圧縮フォーマットで録音された音楽ファイルを再生できます。

❑ CD→CD-R/RW、CD→MD、CD→CD-R/RW & MD High Speed（倍速）ダビング対応

「CDからCD-R/RWへ」、「CDからMDへ」または「CDからCD-R/RWとMDへ」カンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。

❑ MDグループ管理機能

MDに録音している曲を、アルバムやアーティスト名などにグループ分けすることにより、グループごとに再生できます。

❑ MDロングプレイモード対応

ATRAC 3による長時間録音、再生機能（**LP2**、**LP4**）を搭載。標準の2倍(約160分*）または4倍（約320分*）のデジタル長時間録音、再生ができます。
*：80分ディスクを使用した場合

❑ CDのテキスト情報表示機能（CD-TEXT対応）

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。（表示できる文字数は約1500文字までです）

❑ 放送局をオートプリセットする（エリア別FM放送局名自動表示機能）

現在お住まいの都道府県名を設定すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に記録表示することができます。

❑ セパレートアンプの採用

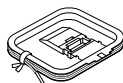
電源部を持つアンプチューナー部とプレーヤー部を分離することにより、デジタルノイズを軽減し、高音質を実現しました。

❑ サンプリング・レート・コンバーター搭載

BS/CSチューナーなど、衛星放送のPCMデジタル録音ができる光デジタル入力端子を装備しました。

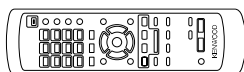
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ（1個）

FM 室内アンテナ（1本）

リモコン用単三乾電池（2本）

スピーカーコード（2本）

リモートコントロール ユニット（1個）

システム接続コード（1本）

このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

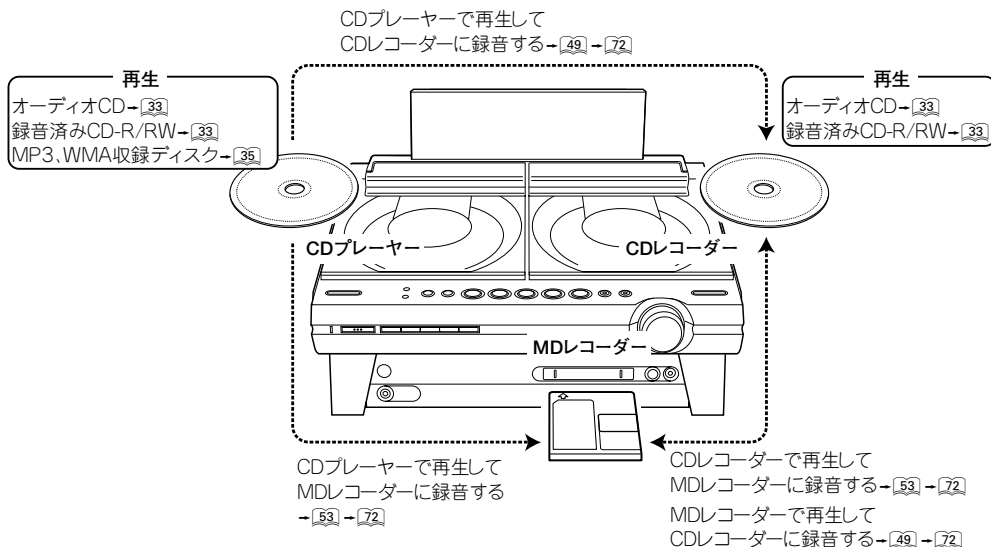
目次

⚠このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

知識編

本機をご理解いただくために

システムについて

本機はCDプレーヤー、CDレコーダーおよびMDレコーダーを搭載しています。CDプレーヤーはオーディオCD*やMP3、WMA収録ディスクを再生することができます。CDレコーダーはオーディオCD*の再生およびCD-R/RW（CD-RおよびCD-RW）への録音をすることができます。また、MDレコーダーでは、MDの再生および録音をすることができます。

ディスクの全曲をCD-R/RWやMDに録音したいときは、簡単な操作で録音することができます（ワンタッチエディット機能）。「便利な録音あれこれ」（→72）をお読みください。
ラジオ放送の録音や外部入力端子に接続した外部機器の音声もCD-R/RWやMDに録音することができます。「CD-R/RWに録音する」（→49）、「MDに録音する」（→53）をお読みください。

* .... ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO などのマークが入っている一般に市販されている、音楽が収録されているCD

- 本機ではCD-R/RWにはオーディオCDと同じデジタル信号形式で録音します。このため、音声圧縮フォーマットのMP3、WMA収録ディスクや、長時間録音したMDをCD-R/RWに録音すると収録時間によっては、1枚のディスクに録音しきれない場合があります。
- 本機では、オーディオCDなどからMP3、WMAフォーマットで録音することや、MP3、WMA収録ディスクからMP3、WMAフォーマットのままで録音することはできません。

再生できるCDについて

CDプレーヤー

- **オーディオCD（12cm、8cm）**
- **オーディオCDと同じデジタル信号形式で録音したファイナライズ処理されたCD-R/RW**
- **MP3、WMA収録ディスク（CD-R/RWディスクも含む）**
- **CDV、CD-G（CDグラフィックス）およびCD-EXTRAディスクの音声部のみ**

CDレコーダー

- **オーディオCD（12cm、8cm）**
- **オーディオCDと同じデジタル信号形式で録音したCD-R/RW**
- **CDV、CD-G（CDグラフィックス）およびCD-EXTRAディスクの音声部のみ**

- MP3、WMAファイルが収録されているディスクでも、MP3、WMAファイル以外の他のデータが収録されていると再生できない場合があります。
- 本機以外のCDレコーダー（パソコン用CD-R/RWドライブも含む）で録音したCD-R/RWは、ディスクの特性や、レコーダー側の記録特性（ピックアップ等）の違いにより本機で再生できないことがあります。
- 著作権管理が有効に設定されているWMAファイルは再生できません。

CD-R/RWの録音について

CDレコーダーにより音楽用CD-R/RW（CD-RまたはCD-RW）に、オーディオCDなどのデジタル信号を圧縮することなく、市販されているオーディオCDと同等の高音質の録音をすることができます。

CD-RとCD-RWについて

CD-RとCD-RWには以下の違いがあります。

CD-R（Compact Disc Recordable）（追記型）

追記型のCD-Rは、ディスクの録音可能時間まで追加録音できますが、一度録音された曲は消去することができません。また、ファイナライズ処理（→128）後は本機のCDプレーヤーを含め、他のCDプレーヤー*で再生することができるようになりますが、一切の追加録音はできなくなります。

*............ 機器によっては再生できない場合があります。

CD-RW（Compact Disc Rewritable）（書き換え型）

書き換え型のCD-RWは、ディスクの録音可能時間まで追加録音できるうえ、一度録音した曲を消去して再録音することができるため、繰り返し録音することができます。また、CD-RWもファイナライズ処理（→128）後は追加録音をすることができなくなりますが、ファイナライズ処理前に戻す（アンファイナライズ処理→129）ことができます。つまり、ファイナライズされたCD-RWでもアンファイナライズ処理をすることで、再び追加録音ができる状態に戻すことができます。しかし、CD-RWはファイナライズ処理をしても、一般のCDプレーヤーでは再生することができません。CD-RW対応の機器で再生することができます。

本機で録音できるCD-R/RWについて

録音できるディスク

本機で録音できるのは、音楽用CD-R/RWのディスクです。音楽用CD-R/RWには、以下のマークが表示されています。パソコン用CD-R/RWには録音できません。

音楽用CD-R	音楽用CD-RW	パソコン用CD-R	パソコン用CD-RW
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable	COMPACT disc Recordable	COMPACT disc ReWritable

"DIGITAL AUDIO" の文字がある

音楽用CD-R/RWでも、ディスクの特性により録音できないディスクもあります。本機では以下のメーカーの音楽用CD-R/RWディスクにおいて動作確認をしています（**2001年10月現在**）。

CD-R
- TDK株式会社
- ソニー株式会社
- 太陽誘電株式会社
- 日立マクセル株式会社
- 三井化学株式会社
- 三菱化学株式会社

CD-RW
- TDK株式会社
- 株式会社リコー
- 三菱化学株式会社

録音できない信号

本機ではオーディオ信号以外の信号は録音できません。

CD-ROMなどのオーディオ信号以外のデータは録音できません。本機のCDプレーヤーで再生できないCDディスクやオーディオ信号は録音できません。音声圧縮フォーマットのMP3、WMAの曲は、一度アナログ信号に変換してから録音します。圧縮信号のままでは録音しません。

他のレコーダーで録音したディスクの録音

本機以外のCDレコーダー（パソコン用CD-R/RWドライブも含む）で録音したCD-R/RWは、ディスクの特性や、レコーダー側の記録特性（ピックアップ等）の違いにより本機で追加録音ができないことがあります。

ファイナライズ(FINALIZE)について

ファイナライズとは、本機のCDレコーダーで録音したCD-R/RWを本機のCDプレーヤー*1、および他のCD-R/RW対応機器で再生できるようにするための最終処理のことです。

ファイナライズ処理後

CD-R .... 本機のCDプレーヤー、および他のCDプレーヤー*2で再生できるようになります。通常の音楽CDと同じような状態になりますので、追加録音などが一切できなくなります。

CD-RW .... 本機のCDプレーヤー、および他のCD-RW対応機器*3で再生できるようになります。基本的にCD-Rと同様、追加録音、消去などができなくなりますが、アンファイナライズ処理(→129)をすることでファイナライズ処理をする前に戻すことができます。

	ファイナライズ処理前		ファイナライズ処理後	
	CD-R	CD-RW	CD-R	CD-RW
本機のCDプレーヤーで聴く	× 不可能	× 不可能	○ 可能	○ 可能
ディスクをセットしたときの表示部	CHECK DISC	CHECK DISC		
本機のCDレコーダーで聴く	○ 可能	○ 可能	○ 可能	○ 可能
ディスクをセットしたときの表示部	CD-R	CD-RW	CD	FINALIZED CD-RW
追加録音 (録音可能時間まで)	○ 可能	○ 可能	× 不可能	× *4 不可能
スキップ情報登録 →70	○ 可能	○ 可能	× 不可能	× *4 不可能
タイトル情報入力	○ 可能	○ 可能	× 不可能	× *4 不可能
消去 →130	× 不可能	○ 可能	× 不可能	× *4 不可能

*1 .... 本機のCDプレーヤーはCD-R/RWの再生に対応しています。

*2 .... CD-Rはオーディオ CDに比べて、ディスクの反射率が低く、一部のCDプレーヤーでは再生できない場合があります。ディスク特性、汚れ、キズまたはプレーヤーのピックアップの汚れ、結露等により再生できない場合があります。また、ピックアップの波長の違い等により、一部のDVDプレーヤーで再生できない場合があります。

*3 .... 機器によっては再生できない場合があります。

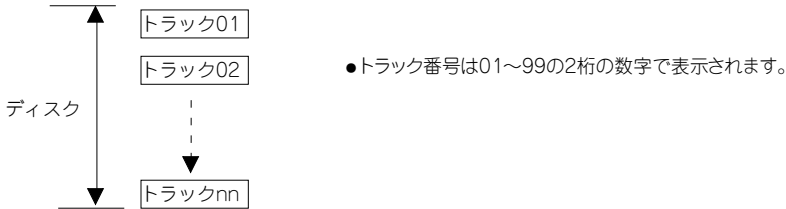
*4 .... アンファイナライズ処理後可能になります。

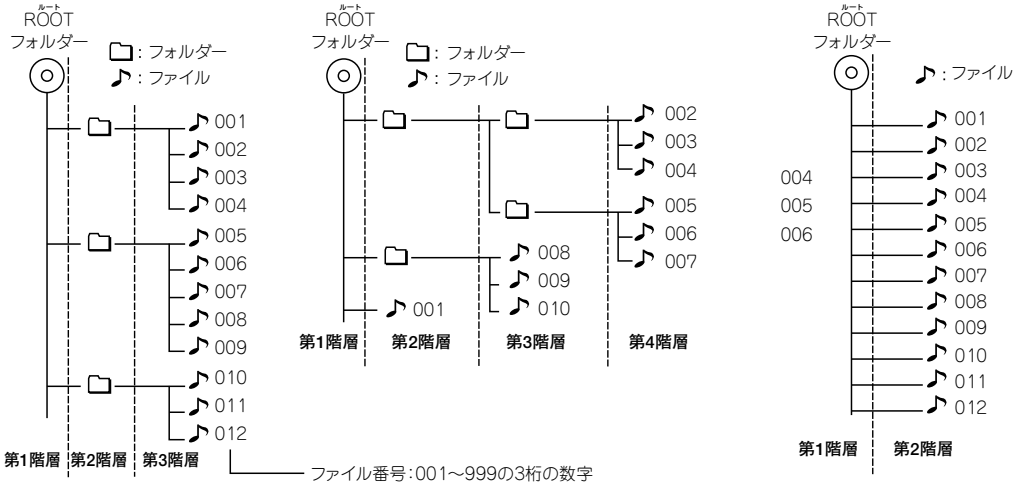
ディスクに録音できる最多曲数ついて

CD-R/RWには最多で99曲まで録音することができます。残り時間があっても99曲を越えて録音することはできません。また、1曲あたりの最短録音時間は4秒間です。

CDの曲の収録構成と曲番号について

オーディオCD

オーディオCDおよび本機で録音したCD-R/RWでは、収録されている各曲はトラック番号が付けられています。ディスクを再生するとトラック番号順に再生します。

MP3、WMA収録ディスク

MP3、WMA収録ディスクでは、ファイル（曲に相当）は通常、アルバムやアーティスト名などのタイトルをつけたフォルダーに含まれています。これらのディスクは下図に示すようないろいろな階層構造（ツリー構造）を持っています。"□"はフォルダーを、"♪"はファイルを表しています。

ファイル番号

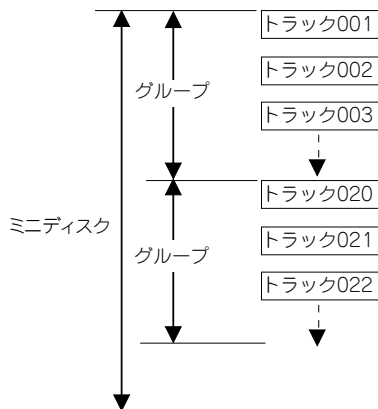
本機では、MP3やWMAファイルが収録されているディスクは、フォルダーとファイルが書き込まれた順に曲にファイル番号がつき、ディスクを再生するとファイル番号順に再生します。

タイトル表示

MP3、WMA収録ディスクはフォルダータイトルやファイルタイトルを付けておくと、聴きたいフォルダーやファイルを選択するときに便利です。

ROOT（ルート）フォルダータイトル：ディスクにつけられたタイトルです。CDプレーヤーまたはCDレコーダーにディスクを入れたときに表示します。
フォルダータイトル：各フォルダーにつけられたタイトルです。
ファイルタイトル：各ファイルにつけられたタイトルです。

MDの曲の収録構成と曲番号について

本機には、MDグループ管理機能があります。録音した曲を、1枚のディスクの中でアルバム別やアーティスト別などにグループ分けをすることができます。数枚のCDを1枚のMDに長時間録音で録音したときなど、グループ分けをすると聴きたいグループを選択して再生することができます。

タイトルの表示

ディスクタイトル： ミニディスクにつけられたタイトルです。MDレコーダーにディスクを入れたときに表示されます。
グループタイトル： 各グループにつけられたタイトルです。
トラックタイトル： 各曲につけられたタイトルです。

MP3、WMA収録ディスクを作成するときの注意

MP3、WMA収録ディスクをパソコンなどの外部の機器で作成する際は、以下の点を考慮してください。

メディアについて

使用するメディア： CD-R/RW
フォーマット：ISO9660 level1およびlevel2（拡張フォーマットを除く）

MP3やWMAファイルに圧縮するとき

MP3やWMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。
MP3ファイルのとき ：推奨128kbps （32kbps〜320kbps）
WMAファイルのとき：推奨128kbps （64kbps〜160kbps）
●本機は、32kHz、44.1kHz（推奨）、48kHzのサンプリング周波数に対応しています。

フォルダー分けをするとき

MP3やWMAファイルは、高音質の音声ファイルをかなり高い圧縮率で圧縮するため、オーディオCDの数倍の曲数を1枚のメディアに収録させることができます。複数のジャンルやアーティストの曲を1枚のCD-R/RWに収録するときは、ジャンルやアーティスト、アルバム別のフォルダーに分けてから収録すると、フォルダーを選んでファイルを再生するフォルダーサーチ、フォルダーセレクトで再生をするとき便利です。ただし、ディスクのフォルダー数やフォルダー構成によって、時間がかかる場合があります。フォルダー数を30位に抑え、右イラストのようなフォルダー構成でディスクを作成することをお奨めします。

- 本機で再生できる最大フォルダーは256、ファイル数は999に制限されています。
- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

フォルダ概念図

フォルダー、ファイル名を付けるとき

各名称は、半角英字のA～Z、半角数字の0～9、半角の_(アンダースコア)を使って付けます。表示される文字数は、31文字までです。
また、ファイル名には、必ず“.MP3”(MP3ファイル)、“.WMA”(WMAファイル)の拡張子を付けます。

- MP3やWMA以外のファイルにMP3またはWMAの拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てスピーカーが破損したり耳に悪い影響を与える恐れがあります。

フォルダー名やファイル名を付けるときのヒント

MP3やWMAファイルが収録されているディスクを本機で再生すると、フォルダーとファイルが書き込まれた順に曲が再生されます。フォルダー名やファイル名の頭に“01”～“99”などと再生する順番に番号を入力してから書き込むと、再生する順番を設定できます。

- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

TAG(タグ)情報について

MP3やWMAの圧縮ソフトによっては、それぞれのファイルのTAG情報として、タイトルやアーティスト名などの情報を音声ファイルといっしょに収録することができます。
本機では、収録されたTAG情報(タイトル・アーティスト名などの情報)を表示させることができますが、本機で表示させるタイトル・アーティスト名は半角英数字を使って入力してください(文字数は各30文字まで)。

- タイトル・アーティスト名の入力や保存の方法は、圧縮ソフトによって異なります。圧縮ソフトの取扱説明書またはヘルプファイルをご覧ください。

ファイルの確認

MP3やWMAファイルをCD-R/RWに書き込む前に、書き込みをする機器(パソコンなど)でそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。

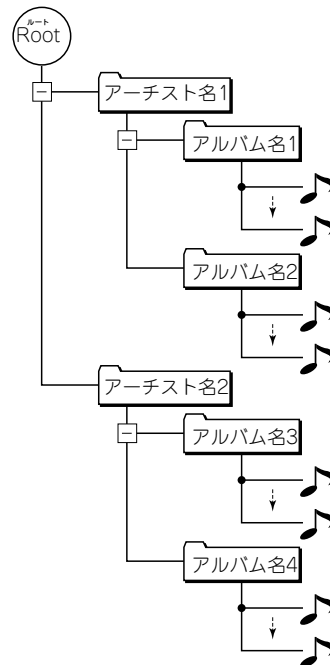
CD-R/RWに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。

- 書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダー名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- 本機で再生するMP3やWMA以外のファイルやフォルダーなどを書き込まないようにしてください。
- MP3やWMAファイルをCD-R/RWに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。
- MP3やWMAファイルとオーディオCDの通常の曲を1枚のCD-R/RWに書き込むと再生できない場合があります。

本機で再生する前に

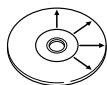
書き込んだCD-R/RWを本機で再生する前に、書き込みをした機器(パソコンなど)でそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。

ディスクの取り扱いかた

CD、CD-R/RWディスク

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

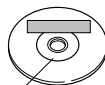
お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

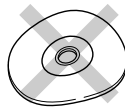
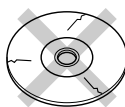
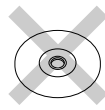
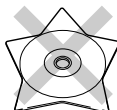
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

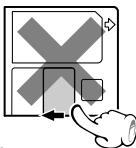
ラベルなどを貼りつけたディスクはご使用にならないでください。故障の原因となります。

変形CD（星形、ハート形等）、ひび割れがある、大きくそったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

ミニディスク

ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。
無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。
従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

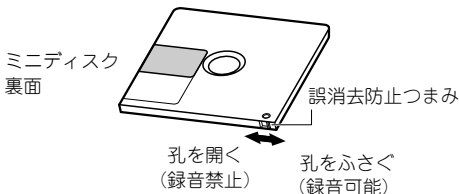
ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。また、ラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

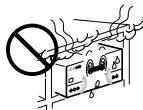
この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

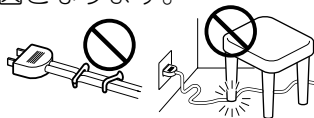
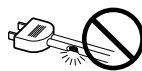
設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

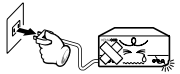
煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

安全編

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

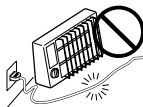
電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

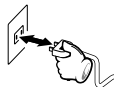
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

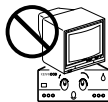
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

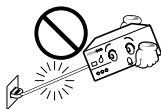
ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

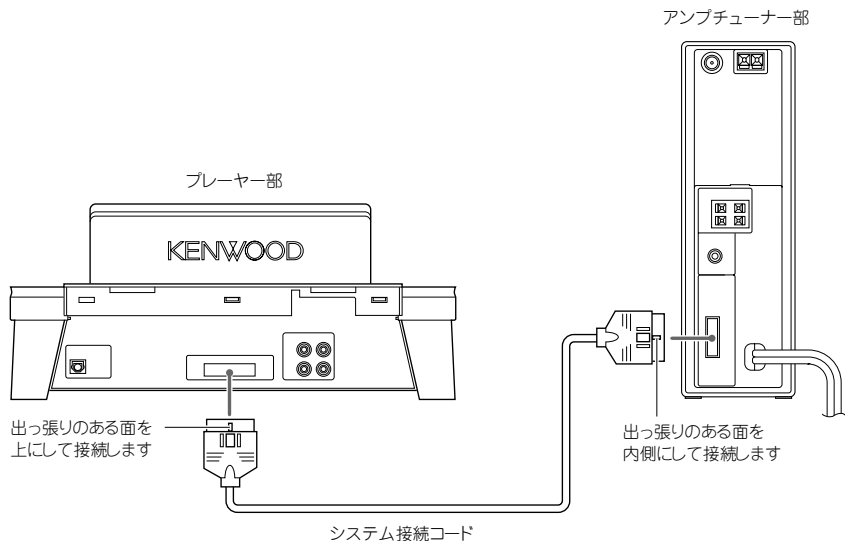
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

プレーヤー部とアンプチューナー部の接続

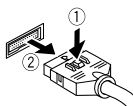
⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。図のように接続してください。
接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな?と思ったら..."を参照してマイコンをリセットしてください。→143

システム接続コードの接続について

［接続］

［取り外し］

- システム接続コードは、カチッと音がするまでまっすぐに差し込み、確実にロックしてください。
- システム接続コードを外すときは、電源をスタンバイにして、電源コードを電源コンセントから抜いてから、［取り外し］図の①を押しながら②の方向にまっすぐに引き出します。

アンプチューナー部と付属品の接続

⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。図のように接続してください。
接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

付属アンテナの接続

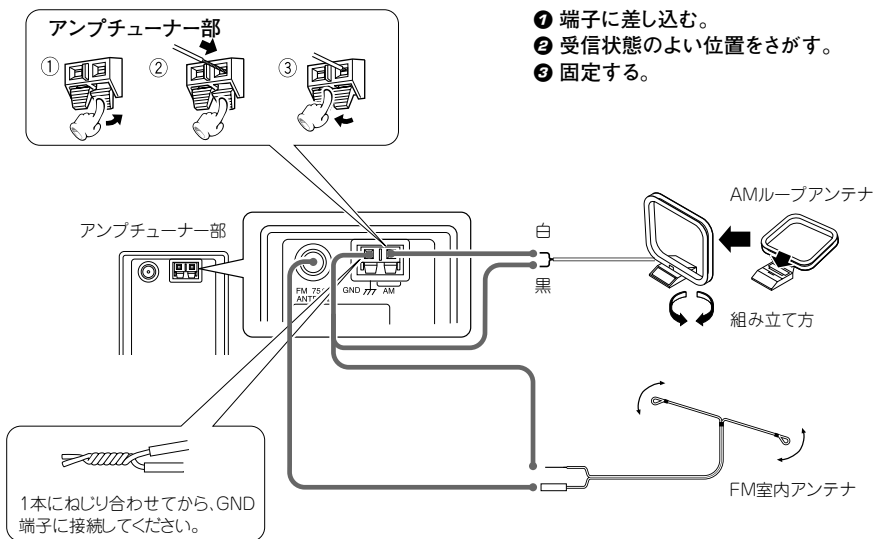
AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。

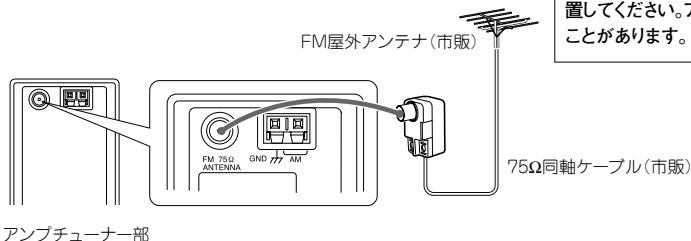
❶ 端子に差し込む。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

準備編

受信状態が悪いときは

FM屋外アンテナ（市販品）との接続

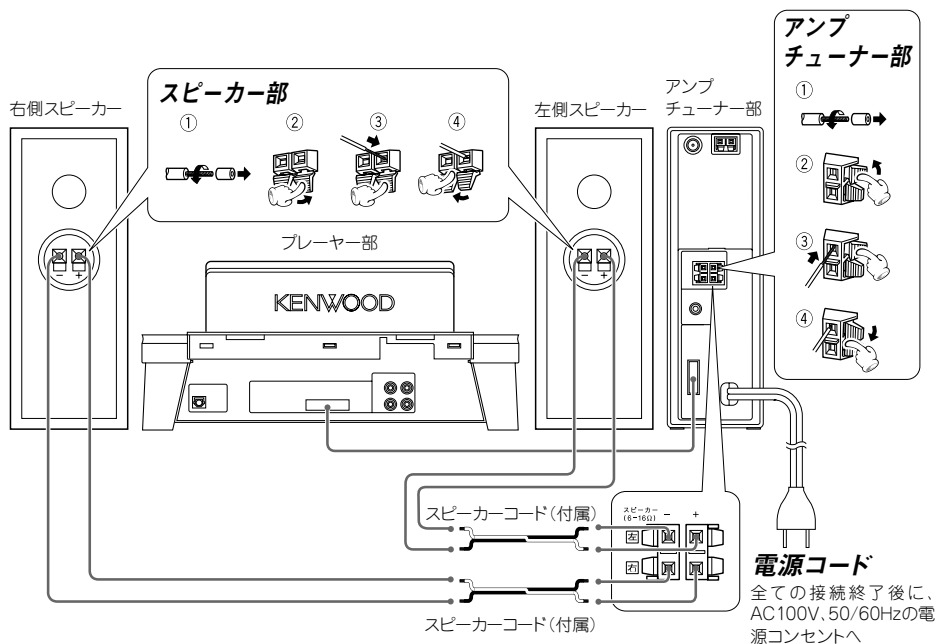
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。

⚠注意　屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

スピーカーの接続

スピーカーは図のように接続します。

- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。保護回路が働き、音が出なくなります。
- 極性（＋と－）を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。

- 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。

スピーカー設置位置とテレビについてのご注意

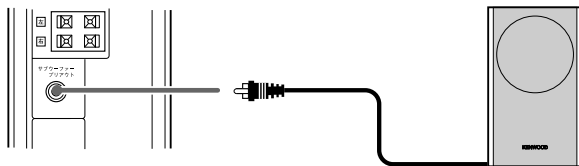
- 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
- テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ（スタンバイ）のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

他の機器（市販品）との接続

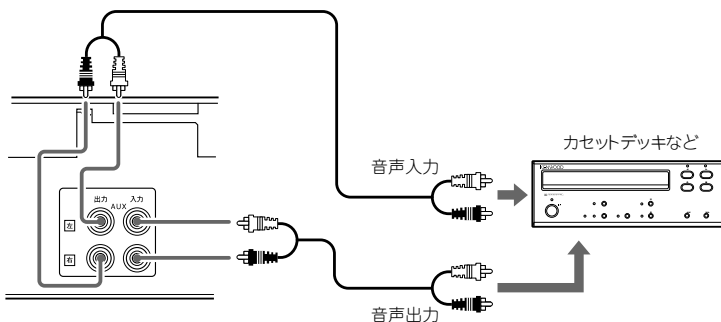
⚠注意

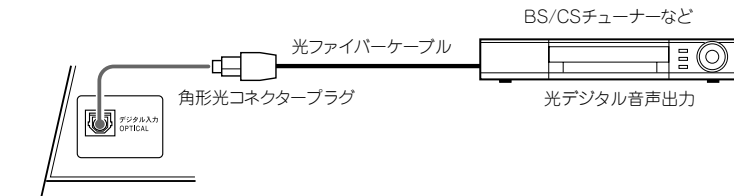
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は、図のように行なってください。接続したコード類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

スーパーウーファー（SW-1010）（別売）との接続

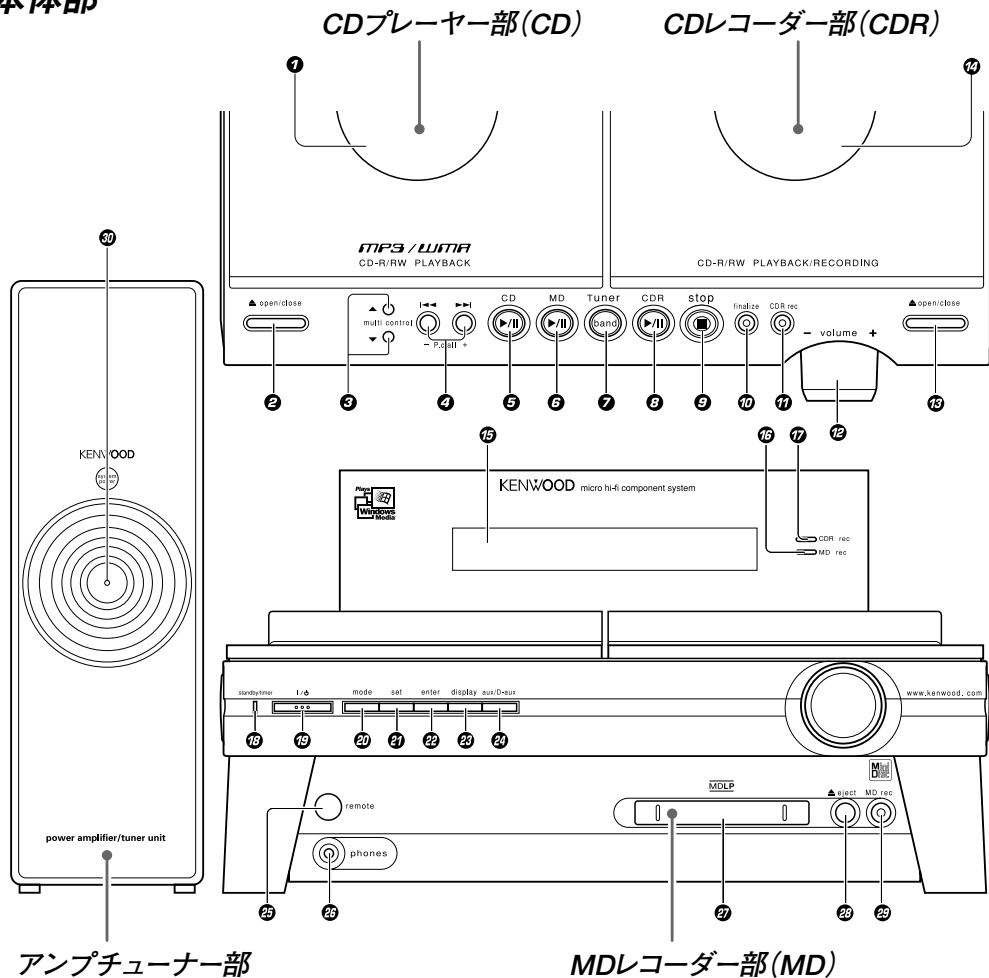
重低音を力強く再生します。

外部ソース（音源）機器との接続

アナログ接続の場合

本機背面のAUX（入力／出力）端子を使って、カセットデッキなどを接続することができます。

デジタル接続の場合

本機背面のデジタル入力OPTICAL（オプティカル）端子を使って、BS/CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。
本機で再生、録音できるデジタル信号については**"サンプリング・レート・コンバーターについて"**をお読みください。→48

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- 角形光コネクタープラグは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。

各部のなまえと働き

本体部

設置場所について

振動に影響されるような場所には設置しないでください。

⚠設置上のご注意

アンプチューナー部は上図のように縦置きで使用してください。横置きで使用すると、放熱が妨げられ内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠使用上のご注意

CDプレーヤー、CDレコーダーのカバーの開閉は必ず ▲open/close（オープン/クローズ）キーを押して行ってください。カバーを直接手で開閉すると故障の原因となります。特にディスクが回転しているときに、カバーを手で開けるとディスクが飛び出て、けがの原因となることがあります。

スタンバイ状態について

プレーヤー部のstandby/timer（スタンバイ/タイマー）インジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

❶ **CDプレーヤーカバー**

❷ **CDプレーヤーカバー開閉(▲open/close)キー**
CDプレーヤーカバーを開閉するときに使います。
→33 →35

❸ **multi control(▲、▼)キー**
各種設定の選択、時刻合わせ、タイマー予約に使います。
CDプレーヤーでMP3、WMA収録フォルダー操作中のとき: フォルダー選択に使用します。
→37 →38 →39
MDレコーダーでグループ再生操作中のとき: グループの選択に使用します。→42

❹ **|◀◀、▶▶| /P.callキー**
CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき: 再生中の曲やファイルのスキップに使います。→34 →36 →41
CDプレーヤーでMP3、WMA収録ディスクをフォルダー操作中のとき:フォルダーの選択に使用します。→38
放送受信中のとき :プリセットした放送局の選択に使います。→43

❺ **CD ▶/❚❚(再生/一時停止)キー**
電源オンのとき : 入力がCDに切り換わります。→33 →35
電源オフ(スタンバイ)のとき:システム電源をオンにして、CDプレーヤーで再生するときに使います。
CD入力のとき : 再生/一時停止に使います。→34 →36

❻ **MD ▶/❚❚(再生/一時停止)キー**
電源オンのとき: 入力がMDに切り換わります。→40
電源オフ(スタンバイ)のとき:システム電源をオンにして、MDレコーダーで再生するときに使います。
MD入力のとき: 再生/一時停止に使います。→41

❼ **Tuner/bandキー**
電源オンのとき :入力がTUNERに切り換わります。
→43
電源オフ(スタンバイ)のとき:システム電源をオンにして、放送を受信します。
放送受信中のとき: 放送バンドを切り換えます。→43

❽ **CDR ▶/❚❚ (再生/一時停止)キー**
電源オンのとき: 入力がCDRに切り換わります。→33
電源オフ(スタンバイ)のとき :システム電源をオンにして、CDレコーダーで再生するときに使います。
CDR入力のとき :再生/一時停止に使います。→34

❾ **stop■キー**
電源オフ(スタンバイ)のとき:5秒間の時計表示をします。
→30
CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき: 再生を停止します。→34 →36 →41
CD/MDレコーダーで録音中のとき :録音を停止します。
→51 →55
放送受信中のとき:オート選局動作を止めるときに使います。→46

❿ **finalizeキー**
CD-R/RWのファイナライズ処理するときに使います。→128

⓫ **CDR recキー**
CD-R/RWに録音するときに使います。→51

⓬ **volumeノブ**
音量を調整するときに使います。→31

⓭ **CDレコーダーカバー開閉(▲open/close)キー**
CDレコーダーカバーを開閉するときに使います。→33 →49

⓮ **CDレコーダーカバー**

⓯ **表示部** →28

⓰ **MD recインジケーター**
MDレコーダーで録音中に点灯し、録音一時停止中は点滅します。→55

⓱ **CDR recインジケーター**
CDRレコーダーで録音中に点灯し、録音一時停止中は点滅します。→51

⓲ **standby/timerインジケーター**
電源オンのとき :消灯
電源オフ(スタンバイ)のとき :赤色の点灯
タイマースタンバイ状態 :オレンジ色の点灯 →140

⓳ **I/⏻キー**
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。→31

⓴ **modeキー**
設定モードにするとき、設定モードを解除するときに使います。→29

㉑ **setキー**
電源オンのとき : 選択内容の設定や確定などに使います。→29
放送受信中のとき:オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。→44

㉒ **enterキー**
選択内容の確定に使います。

㉓ **displayキー**
CD/MDレコーダーで録音中に、再生側ソースの表示と録音側の表示を切り換えるときに使います。→52 →55

㉔ **aux/D-aux(外部入力)キー**
AUX端子、デジタル入力端子に接続した外部機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。→31 →132

㉕ **リモコン受光部**

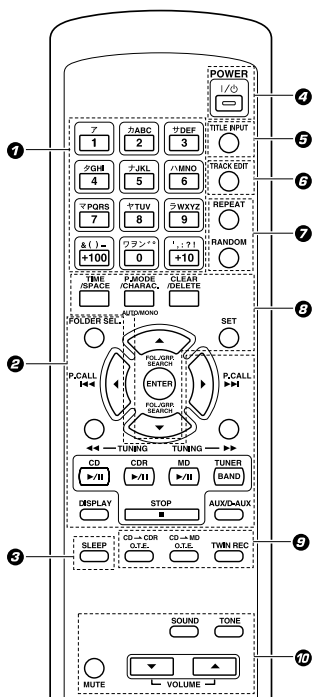
㉖ **phones端子**
ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。

㉗ **MD挿入口**

㉘ **MD取出し(▲eject)キー**
MDを取り出すときに使います。→41

㉙ **MD recキー**
MDに録音するときに使います。→55

㉚ **システムインジケーター**
電源オンのとき :点灯
電源オフ(スタンバイ)のとき :消灯

リモコン部

❶ **数字、文字入力キー**

CD、CDR、MD入力のとき: 数字キーとして使います。 →34 →36 →41

放送受信中のとき：放送局を呼出すときまたはプリセットするときに使います。 →43 →46

CD-R/RWおよびMDにタイトル入力するとき：文字や記号の選択に使います。 →123

❷ **基本操作キー**

FOLDER SEL.キー

CDプレーヤーでMP3、WMA収録ディスクのフォルダーを選択するときに使います。 →38

⏮、⏭ /P.CALLキー

CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき：
再生中の曲のスキップに使います。 →34 →36 →41

CDプレーヤーでMP3、WMA収録ディスクをフォルダー操作中のとき：フォルダーの選択に使用します。 →38

放送受信中のとき：プリセットした放送局の選択に使います。 →43

◀◀、▶▶キー

CDプレーヤー、CD／MDレコーダーで再生中のとき：
再生中の曲の早送り、早戻しに使います。 →34 →36 →41

放送受信中のとき：放送局の選択に使います。 →46

CD-R/RWおよびMDにタイトル入力するとき：
カーソルの移動に使います。 →123

CD ▶/❚❚ (再生/一時停止)キー →33 →35

CDR ▶/❚❚ (再生/一時停止)キー →33

MD ▶/❚❚ (再生/一時停止)キー →40

TUNER/BANDキー

入力をTUNERに切り換えます。 →43

放送バンドを切り換えます。 →43

DISPLAYキー

CD/MDレコーダーで録音中に、再生側ソースの表示と録音側の表示を切り換えるときに使います。 →52 →55

STOP■（停止）キー

電源オフ（スタンバイ）のとき:5秒間の時計表示をします。

CDプレーヤー、CD/MDレコーダーで再生中のとき:再生を停止します。 →34 →36 →41

CD/MDレコーダーで録音中のとき：
録音を停止します。 →51 →55

放送受信中のとき：オート選局動作を止めるときに使います。 →46

AUX/D-AUX（外部入力）キー

AUX端子、デジタルAUX入力端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。 →31 →132

❸ **SLEEPキー**

SLEEPタイマーを設定するときに使います。 →140

❹ **POWER（I／⏻）キー**

❺ **TITLE INPUTキー**

CD-R/RWやMDにタイトル入力をするときに使います。 →121

❻ **TRACK EDITキー**

CD-RWの消去、アンファイナライズなどの機能選択に使います。 →129 →130

MDの曲を編集するとき、グループの登録、曲の入れ替え、消去などに使います。 →106

❼ **CD/CDR/MD再生関連キー**

REPEATキー

CDプレーヤー、CD/MDレコーダーでくり返し再生するときに使います。 →64 →66 →67

RANDOMキー

CDプレーヤー、MDレコーダーで曲順を順不同に再生します。 →68 →69

❽ **CD/CDR/MD編集関連キー**

TIME/SPACEキー

CD、CDR、MD入力のとき:タイトル表示や、再生、録音時間表示を切り換えるときおよび、タイトル入力（CDR、MDのみ）のとき1文字分の空白を入れます。 →34 →36 →41 →123

放送受信中のとき：周波数表示と局名表示を切り換えるときに使います。 →44

SETキー

電源オンのとき ：選択内容の設定や確定などに使います。 →29

放送受信中のとき：オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 →44

P.MODE/CHARAC.（AUTO/MONO）キー

CD入力のとき ：フォルダー再生およびプログラム再生に使います。 →39 →60 →62

MD入力のとき ：グループ再生およびプログラム再生に使います。 →42 →60

放送受信中のとき：選局方法を選ぶときに使います。→46

CD-R/RWおよびMDにタイトル入力するとき：
文字や記号の選択に使います。→123

CLEAR/DELETEキー

CD、CDR、MD入力のときに、プログラム内容（CD、MDのみ）や文字入力（CDR、MDのみ）の取り消しに使います。

→61 →63 →123

▲、▼（FOL./GRP.SEARCH）キー

CDプレーヤーでMP3、WMAフォルダー操作中のとき：
フォルダー選択に使用します。

→37 →38 →39

MDレコーダーでグループ再生操作中のとき：
グループの選択に使用します。→42

ENTERキー

選択内容の確定に使います。

❾ **CDR/MD録音関連キー**

TWIN RECキー

CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押すと全曲を、CD-R/RWとMDにワンタッチで同時録音します。

→98 →101 →103

CD→CDR O.T.E.キー

CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押すとCD全曲を、CD-R/RWにワンタッチで録音します。

→78 →80 →82 →84

CD→MD O.T.E.キー

CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中に押すとCD全曲を、MDにワンタッチで録音します。

→86 →89 →92 →94

❿ **音質関連キー**

SOUNDキー

S.DIRECT、N.B.1、N.B.2を選ぶときに使います。→32

TONEキー

低音域、中音域、高音域の音質調整に使います。 →32

MUTEキー

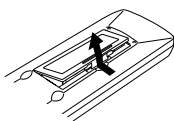
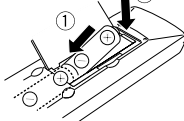
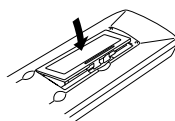
一時的に音を消すときに使います。 →32

VOLUMEキー

音量、音質の調整に使います。 →31

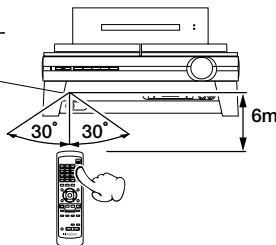
リモコンの使いかた

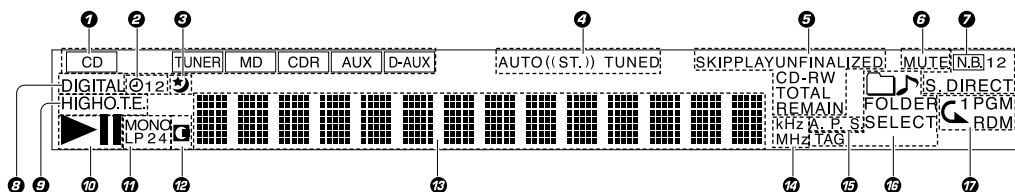
電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

● 単三乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWER（I/⏻）キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
● 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部

❶ 入力表示
（CD、TUNER、MD、CDR、AUX、D-AUX）

❷ タイマー表示（◴1、◴2）

❸ SLEEP表示（★）

❹ チューナー関連表示

❺ CD（プレーヤー、レコーダー）、MD関連表示

❻ MUTE表示

❼ 音質調整関連表示
（N.B.1、N.B.2、S.DIRECT）

❽ DIGITAL録音表示

❾ ワンタッチエディット録音関連表示
（HIGH O.T.E.、O.T.E.）

❿ ►（再生）、II（一時停止）表示

⓫ MD REC MODE表示
（LP2、LP4、MONO）

⓬ ミニディスク表示（◘）
挿入されていると点灯します。挿入中、排出中、"MD READIND"表示中、"MD WRITING"表示中は点滅します。

⓭ 文字情報表示部
（入力表示、再生時間、タイトル表示など）

⓮ 放送周波数単位

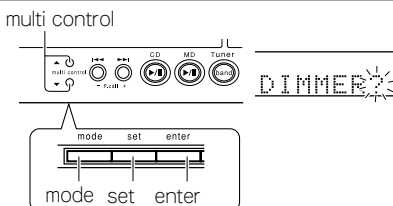
⓯ A.P.S.（オートパワーセーブ）表示

⓰ MP3、WMAファイル再生関連表示
"□"はMDグループ再生のときも点灯します。

⓱ CD（プレーヤー、レコーダー）、MD関連再生モード表示

表示部の明るさの調整について（DIMMER）

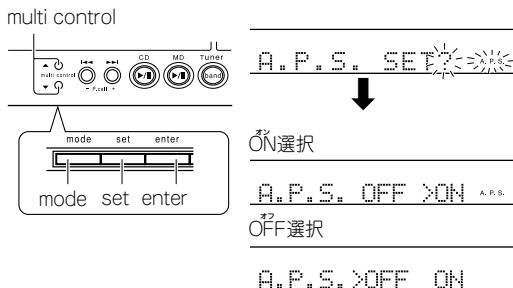
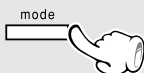
本機の表示部の明るさをお好みによって切り換えることができます。

❶ modeキーを押す
❷ multi controlキーを押して"DIMMER?"を選び、setキーを押す
❸ multi controlキーを押して"LOW（暗い）"または"HIGH（明るい）"を選び、setキーまたはenterキーを押す

オートパワーセーブ機能について（A.P.S.：Auto Power Save）

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分放置すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる機能です。次の操作で、使う（ON）/使わない（OFF）を選びます。

❶ modeキーを押す
❷ multi controlキーを押して"A.P.S. SET?"を選び、setキーを押す
❸ multi controlキーを押して"ON"または"OFF"を選び、setキーまたはenterキーを押す

- ソース（音源）がTUNERまたはD-AUX、AUXの場合、音量が"0"のときに限りオートパワーセーブが働きます。
- この機能が働いているときは、表示部に"A.P.S."が点灯します。

設定モードについて

設定モードの選択操作

❶ modeキーを押す

❷ 設定したい項目を選ぶ

❸ setキーを押す

❷と❸をくり返し、設定します。

- 操作中に約20秒放置するとモードの選択は解除されます。
- モードの選択中に各設定を途中でやめる場合は、もう一度modeキーを押します。
- 録音中はモードの切り換えはできません。

❷

押すたびに文字表示部が切り換わります。

"O.T.E. MODE?" →78

"O.T.E. SPEED?" →77

"REC INPUT?" →52 →57
（CD入力のとき）

"TRACK MARK?" →135
（D-AUX入力以外のとき）

"AUTO TRACK?" →135
（TUNER入力のとき）

"MD REC MODE?" →56

"MD GROUP MAKE?" →87

"ケンメイセッテイ?" →44
（TUNER入力のとき）

"SKIP PLAY?" →71
（CD、CDR入力のとき）

"AUX INPUT?" →132 →133
（AUX入力のとき）

"REC GAIN?" →133
（AUX入力のとき）

"BALANCE?" →32

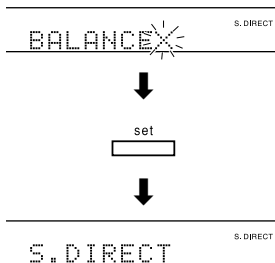
"DIMMER?" →28

"A.P.S. SET?" →28

"TIMER SET?" →137

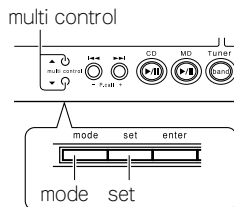
設定モードの表示について（"×"の表示）

設定モードを選択するときの状態によっては、表示されていても選択できない項目があります。そのときは表示部に"？"の代わりに"×"が点滅します。そのままsetキーを押すと、原因、状態などが表示されます。

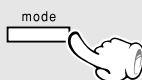
例：バランス調整のとき

- "BALANCE?"と表示され、"?"が点滅しているときは選択し、設定することができますが、"?"の代わりに"×"が点滅したときは選択できません。
- setキーを押すと、選択できない原因、状態が表示されます。
  この例での表示できない原因：
  "S.DIRECT"を選択しているときは、"BALANCE"調整はできません。

時刻合わせ

本機には、時計機能がついています。タイマー機能を使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

時刻を合わせた後に停電があったり、電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、時計表示にするとその時点の時刻が点滅表示されます。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。

電源をオンにする

1 時刻合わせモードにする

modeキーを2秒以上押す

● 時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

❶ multi controlキーを押して"時"を合わせる

"時"が進む ▲

multi control

"時"が戻る ▼

❷ setキーを押す

❶ 午後1時30分に合わせる例

● 時間は12時間(am/pm)で表示されます。

❷

● setキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

3 分を合わせる

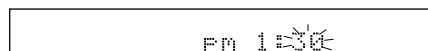
❶ multi controlキーを押して"分"を合わせる

"分"が進む ▲

multi control

"分"が戻る ▼

❷ setキーを押す

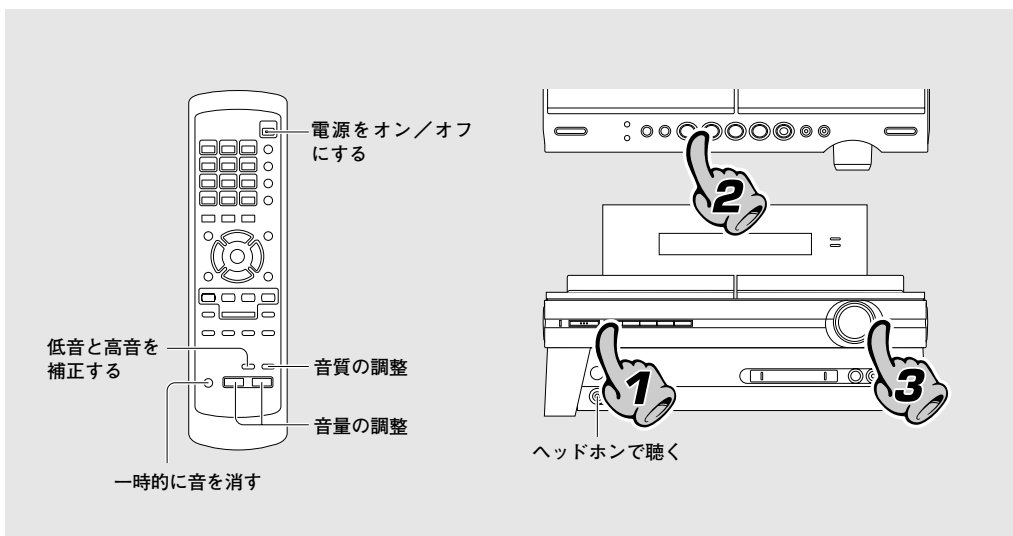
❶ 午後1時30分に合わせる例

● 間違えて押したときは、modeキーを押して最初からやり直してください。

❷

● 時報と同時にsetキーを押すと正確に時刻を設定することができます。

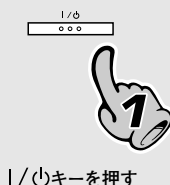
電源オフ(スタンバイ)のとき:

本体stop■またはリモコンのSTOP■キーを押すと5秒間だけ時計表示します。

音を出してみましょう

I/⏻キーを押す

1 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときにI/⏻キーを押すとオフ（スタンバイ）になります。

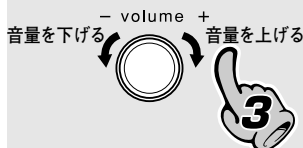
- 電源をオンにしてから数秒間は、回路保護のためミュート（音が出ない）状態になります。
- 電源がオフ（スタンバイ）のとき**CD▶/II**、**CDR▶/II**、**MD▶/II**または、**Tuner（チューナー）/band（バンド）**、**aux/D-aux**キーを押すと、電源がオンになり、その入力に切り換わり再生（受信）状態になります。（ワンタッチオペレーション機能）
- 電源をオフ（スタンバイ）にするとき、I/⏻キーを押しても電源がオフになるまで時間がかかる場合があります。しばらくすると電源がオフになります。

CDを選んだとき

2 聴きたいソース（音源）を選ぶ

(入力を切り換える)

CDプレーヤー	:**CD▶/II**キーを押す
MDレコーダー	:**MD▶/II**キーを押す
ラジオ放送	:**Tuner（チューナー）/band（バンド）**キーを押す
CDレコーダー	:**CDR▶/II**キーを押す
外部アナログ機器	:**aux/D-aux**キーを **"AUX"** 表示が点灯するまで繰り返し押す
外部デジタル機器	:**aux/D-aux**キーを **"D-AUX"** 表示が点灯するまで繰り返し押す

- **CD▶/II**、**MD▶/II**、**CDR▶/II**キーを押すとディスクの再生が始まります。ディスクが入っていない場合は、**"NO（ノー） DISC（ディスク）"** が表示します。

3 音量を調整する

- リモコンの **VOLUME（ボリューム）** キーでも同様の操作ができます。
- 表示部に目安の数字が表示します。

音量の表示

VOLUME 17

一時的に音を消す（MUTE）

リモコンのみ

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ヘッドホンで聴く

❶ ヘッドホンのプラグをphones端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

❷ volumeノブまたはリモコンのVOLUMEキーで音量を調整する

音質の調整（TONE）

リモコンのみ

低音域（BASS）、中音域（MID）、高音域（TREBLE）の調整ができます。調整をした場合はN.B.（ナチュラルバス）効果は解除されます。

❶ TONEキーを押して"BASS"の設定にする。VOLUMEキーでお好みのレベルを設定してください

❷ "BASS"表示中にTONEキーを押すと"MID"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください

❸ "MID"表示中にTONEキーを押すと"TREBLE"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください

❹ TONEキーを押して、調整を終了する

- BASS、MID、TREBLEともに－4 ～＋4の範囲で調整できます。

低音と高音を補正する（N.B. : Natural Bass circuit）

リモコンのみ

押すたびに表示が切り換わります。

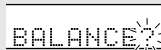
"N.B.1" .... 音量に応じて低音と高音を強調します。
"N.B.2" .... 低音のみ強調します。
"S.DIRECT" .... CDやMDなどソース（音源）の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。
消灯 .... 音質調整された音を聴くことができます。

バランスの調整（BALANCE）

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

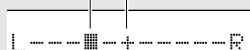
❶ modeキーを押す

mode

❷ multi controlキーを押して"BALANCE?"を選び、setキーを押す

multi control

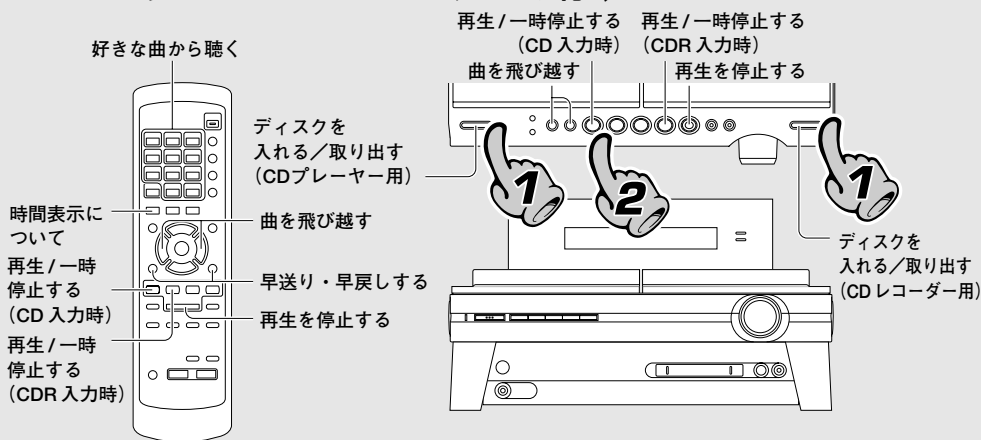
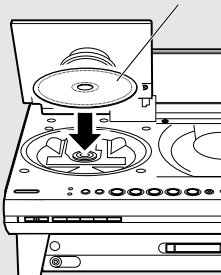
- S.DIRECTを選んでいるときは、調整できません。"✕"と表示されます。"設定モードの表示について"→ 29

❸ multi controlキーを押して、左右のバランスを調整する

左（L）チャンネル側の音量を大きくしたときの例

- ▲（アップ）キーで右（R）チャンネル側、▼（ダウン）キーで左（L）チャンネル側にカーソルを調整します。バランス中央値は"＋"と表示しています。

❹ setまたはenterキーを押す

オーディオCDを聴く

CDプレーヤーまたはCDレコーダーで聴く

再生面には、触れないでください

1 ディスクを入れる

❶ CDプレーヤーまたはCDレコーダーカバー開閉（▲）キーを押してカバーを開ける

❷ ディスクを入れる

❸ CDプレーヤーまたはCDレコーダーカバー開閉（▲）キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- 入力切り換えが**"CD"**のとき**"CD READING"**（リーディング）、入力切り換えが**"CDR"**のとき**"CDR READING"**（リーディング）が数秒間点滅表示します。

- 8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
- ファイナライズ処理をしていないCD-R/RWはCDプレーヤーでは再生できません。（→8）CDレコーダーでお聴きください。

> **CD レコーダーに未使用のディスクやファイナライズしていないディスクを入れたとき、"CDR READING"（リーディング）や"CDR OPC"がしばらくの間点滅表示し続けることがあります。"OPC処理について"** →49

2 再生をはじめる（入力が"CD"、"CDR"に切り換わります）

- CDプレーヤーで再生するときは**CD▶/II**キーを押します。
  CDレコーダーで再生するときは**CDR▶/II**キーを押します。

再生/一時停止する

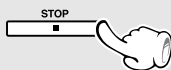
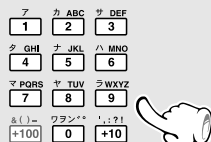
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する

好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ

ア 1	カ ABC 2	サ DEF 3
タ GHI 4	ナ JKL 5	ハ MNO 6
マ PQRS 7	ヤ TUV 8	ラ WXYZ 9
&( )– +100	ワヲン゛゜ 0	',:?! +10

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2

20曲目なら .... +10, +10, 0

- 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

早送り･早戻しする

リモコンのみ

再生中にキーを押し続ける

早戻し　早送り

- 手を離したところから再生します。
- CDプレーヤーでは一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。CDレコーダーでは一時停止中の早送り、早戻しはできません。

CD TEXT 機能について

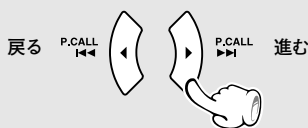
本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。

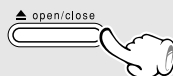
入力CDのとき：

表示できる文字数は約1500文字までです。それ以上は"TEXT FULL"（テキスト フル）と表示されます。

入力CDRのとき：

表示できる文字数は23文字までです。それ以上は"XXX◀◀◀"と表示されます。

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に⏮キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く⏮キー を押します。
- 停止中でも⏮、⏭キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す

CDプレーヤー、CDレコーダーの時間表示について（リモコンのみ）

TIME/SPACE（タイム/スペース）キーを押すたびに表示が切り換わります。

曲の経過時間 ....

02　0:07

曲の残り時間 ....

02　-4:53

ディスク全体の経過時間 ....

02　5:07 TOTAL

ディスク全体の残り時間 ....

02　-54:53 TOTAL

ディスクの録音可能残り時間 .....
（CDレコーダーでファイナライズ処理されていないCD-R/RWを再生したときのみ）

02　14:00 REMAIN

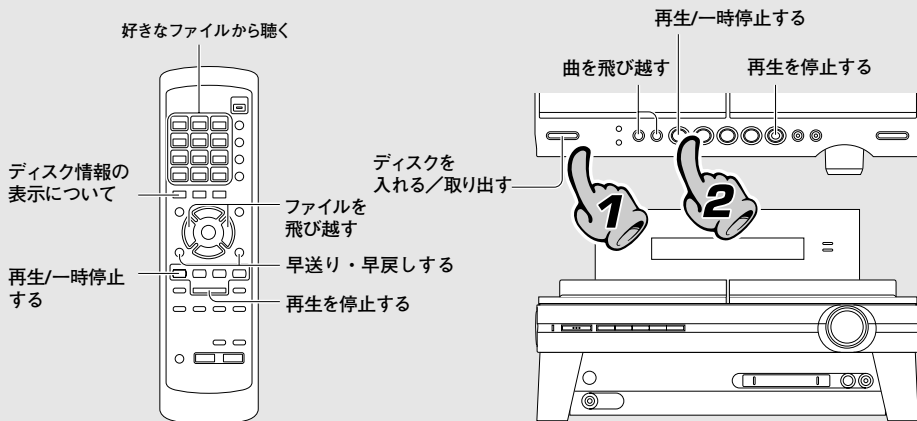
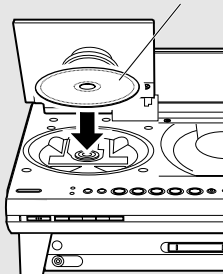
CDテキスト情報表示 ....
（対応ディスクのみ）

02 SATISFACTI

- CD-TEXT情報表示の際、CD再生中は曲のタイトルが、CD停止中はディスクタイトルを表示します。
- プログラム再生などで、トータル1000分以上になると" - - : - -"と表示し時間表示ができません。（入力CDのとき）
- CDテキスト情報表示はCD TEXT対応ディスクではない場合や、テキストデータのないディスクの場合"••••••"と表示します。

MP3、WMAファイルを聴く

MP3、WMAファイルの再生について

MP3、WMA収録ディスクは階層構造を持ったフォルダーから構成されており、ファイルはフォルダーに含まれています。

→ 9

CDプレーヤーで聴く

再生面には、触れないでください

1 ディスクを入れる

❶ CDプレーヤーカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
❷ ディスクを入れる
❸ CDプレーヤーカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- MP3、WMA収録ディスクは、確認のため再生できるようになるまで時間がかかります。入力切り換えが**"CD"**のとき、**"CD READING(リーディング)"**がしばらく点滅表示し、その後ROOT(ルート)フォルダータイトルを表示します。
- セッションクローズまたはファイナライズ処理をしていないCD-R/RWは再生できません。

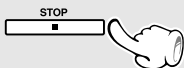
2 再生をはじめる(入力が"CD"に切り換わります)

再生中のファイル番号　再生中のファイルの経過時間

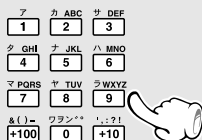
- ファイルはファイル番号順で再生します。
- フォルダー数256、ファイル数999を超えて収録された分は再生できません。
- WMAディスクで著作権管理が有効に設定されているファイル**"PROTECTED(プロテクテッド)"**と表示し、次のファイルが再生します。

再生/一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する

好きなファイルから聴く

リモコンのみ

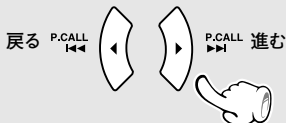
ファイルを選ぶ

数字キーを押す順序は

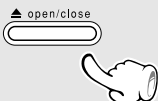
ファイル番号12を選ぶ .... +10, 2

ファイル番号20を選ぶ .... +10, +10, 0

ファイル番号213を選ぶ .... +100, +100, +10, 3

● 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

ファイルを飛び越す

● 押した方向に飛び越して、選んだファイルの最初から再生します。
● 再生中に|◄◄キーを押すと、そのファイルの最初に戻ります。
● さらに手前のファイルにスキップするときは素早く|◄◄キー を押します。
● 停止中でも|◄◄、►►|キーを押してファイルをスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す

早送り・早戻しする

リモコンのみ

再生中にキーを押し続ける

● 早送り、早戻し中は音は出ません。
● 手を離したところから再生します。
● 一時停止中の早送り、早戻しは高速となります。
● 早送り(早戻し)中に次のファイル(前のファイル)になったときは通常の再生になります。

MP3/WMA収録ディスク情報の表示について

リモコンのみ

TIME/SPACE(タイム/スペース)**キーを押すたびに表示が切り換わります。**

停止中

時間表示

001　　　　0:00

ROOT(ルート)フォルダータイトル

Disc Title

再生中

ファイルの経過時間

001　　　　3:15

ファイルタイトル

001 No1.MP3

または

001 No1.WMA

TAG(タグ)情報(タイトル)

001 No1　TAG

TAG(タグ)情報(アーチスト)

001 Dolphins　TAG

再生フォルダータイトル

001 My Favorit

● ".MP3"はMP3のファイルを、".WMA"はWMAのファイルであることを表示しています。
● TAG情報(タイトル)が表示するときは、タイトル名の前に"TITLE:"がつきます。(→11)
● TAG情報(アーチスト)が表示するときは、アーチスト名の前に"ARTIST:"がつきます。(→11)

フォルダーサーチして再生する

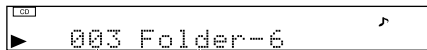
フォルダーを次々と送り(サーチ)、聴きたいフォルダータイトルを探して再生することができます。収録された順にフォルダーがサーチし、サーチしたフォルダー以降の全ファイルが再生します。

再生中または停止中に▲、▼キーを押して聴きたいフォルダータイトルを選ぶ

前のフォルダーに戻る

次のフォルダーに進む

- ▲キーを押すと、前のフォルダーに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のフォルダーに進みます。
- 本体のmulti control(マルチ コントロール)キーでも操作できます。

停止中にフォルダーを選んだときは:
CD▶/IIキーを押して再生する

- 選択したフォルダータイトルを表示し、そのフォルダーの最初のファイルから再生が始まります(再生中に操作したとき)。
- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。
- 選択したフォルダーにファイルが含まれていないときは、次のフォルダーが選択されます。
- **TIME/SPACE**(タイム/スペース)キーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。(→36)

ファイル"♪"およびフォルダー"🗀"の表示について

MP3、WMA収録ディスク使用時、ファイル"♪"およびフォルダー"🗀"は次のように点灯します。

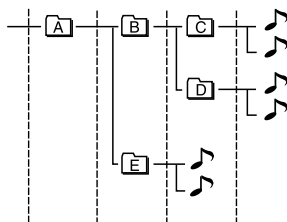
♪ : ディスクにファイルがあるときに点灯します。

🗀 : 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときに点灯します。

フォルダーセレクト操作(→38)によるフォルダー選択中の表示:

♪ : 選択したフォルダーの中にファイルがあるときに点灯します。ファイルがないときは**"NO FILE"**(ノー ファイル)が表示されます。

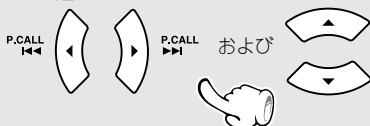
🗀 : 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときに点灯します。

(例)

フォルダーAを選択したとき、中に含まれるフォルダーはB、C、D、Eです。
フォルダーBを選択したとき、中に含まれるフォルダーはC、Dです。

フォルダーセレクトして再生する

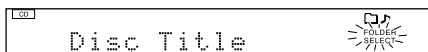
聴きたいフォルダータイトルを選択して再生することができます。選択したフォルダー以降の全ファイルが再生します。

❶ 停止中にFOLDER SEL.キーを押す

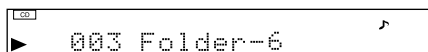
❷ ⏮、⏭および▲、▼キーを押してフォルダータイトルを選ぶ

フォルダーの選びかたは、このページの"⏮、⏭、▲、▼キー操作によるフォルダーの選びかた"をお読みください。

❸ SETキーを押して再生する

❶

CD　Disc Title　FOLDER SELECT

ROOTフォルダータイトル

- "FOLDER SELECT"が点滅、ROOTフォルダータイトルを表示し、ROOTフォルダーが選択された状態となります。この状態で手順❸のSETキーを押すとディスクの全ての曲を再生します。
- ROOTフォルダー以外にフォルダーがないディスクでは、手順❷のキー操作はできません、SETキーを押すとディスクの全ての曲を再生します。

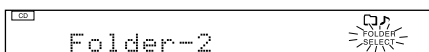
❸

ファイル番号　現在のフォルダータイトル

- 選択したフォルダーの最初のファイルから再生が始まります（フォルダーセレクトは解除になります）。
- 再生中はTIME/SPACEキーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。（→36）

⏮、⏭、▲、▼キー操作によるフォルダーの選びかた

第2階層以降のフォルダーは、次のように⏮、⏭、▲、▼キーの操作でフォルダーを選択します。

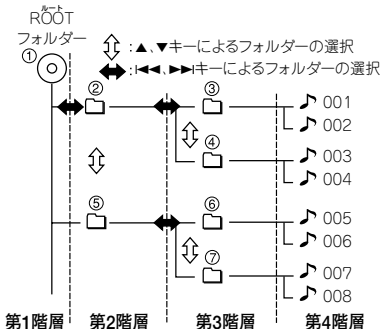
❶ ⏭キーを押す

- 第2階層の最初のフォルダーが選択された状態になります。

フォルダータイトル

❷ ⏮、⏭および▲、▼キーを押して聴きたいフォルダータイトルを選ぶ

- ⏮キーを押すと前の階層のフォルダーに戻り、⏭キーを押すと次の階層のフォルダーに進みます。本体の⏮、⏭キーでも操作できます。
- ▲キーを押すと同一階層の前のフォルダーにジャンプし、▼キーを押すと同一階層の次ぎのフォルダー側にジャンプします。本体のmulti controlキーでも操作できます。
- 選択したフォルダーの中にファイルがあるときは、"♪"が点灯し、ファイルがないときは、"NO FILE"が表示します。
- 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときは"🗀"が点灯します。
- フォルダーセレクトをキャンセルしたいときは、FOLDER SEL.キーをもう一度押して、"FOLDER SELECT"を消灯させせます。

MP3、WMA収録ディスクが下図の構成の場合、フォルダーは次のように選択します。
フォルダー②から④を選ぶには⏭、▼の順でキーを押します。フォルダー④から②に戻るには、⏮キーを押して直接戻るか▲、⏮の順でキーを押してフォルダー③を経由して戻ります。フォルダー⑤が選ばれているとき▲キーを押すとフォルダー②に、⏮キーを押すとROOTフォルダーに戻ります。
フォルダー④から⑥を選ぶときには、フォルダー②、⑤を経由して選びます。

基本編

聴きたいフォルダーだけを再生する(フォルダー再生モード)

聴きたいフォルダータイトルを探し、そのフォルダー内のファイルだけを再生することができます。

❶ 再生中または停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して"FOLDER"を点灯させる

❷ ▲、▼キーを押して聴きたいフォルダータイトルを選ぶ

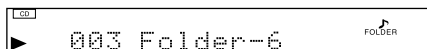
- ▲キーを押すと、前のフォルダーに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のフォルダーに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

停止中にフォルダーを選んだときは:
CD▶/IIキーを押して再生する

❶ 押すたびに表示が切り換わります。

"FOLDER"点灯
"PGM"点灯(停止中のとき)
"FOLDER"、"PGM"消灯

- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。

❷

- ファイル番号は停止中に操作したときには表示しません。
- 選択したフォルダータイトルを表示し、そのフォルダーの最初のファイルから再生が始まります。(再生中に操作したとき)
- 選択したフォルダーにファイルが含まれていないときは、次のフォルダーが選択されます。
- TIME/SPACEキーを押して、ディスクについての情報を見ることができます。(→36)
- 選択したフォルダーの再生を終了すると停止します。
  続けてフォルダーを選んで再生したいときは、手順❷を繰り返します。

フォルダー再生モードを解除する

リモコンのみ

P.MODE/CHARAC.キーを押して"FOLDER"および"PGM"表示を消灯させる

MDを聴く

好きな曲から聴く

時間表示について

曲を飛び越す

早送り・早戻しする

再生/一時停止する

再生を停止する

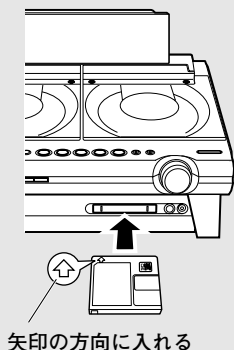
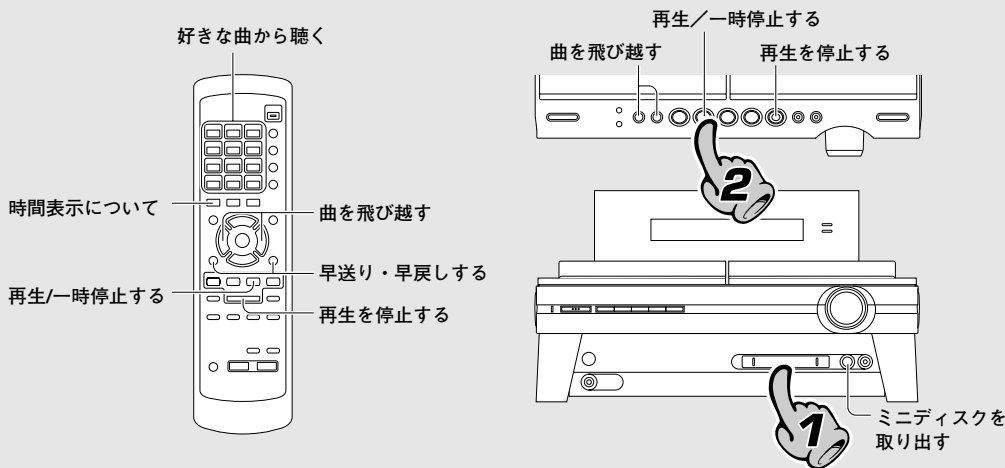
再生／一時停止する

曲を飛び越す

再生を停止する

ミニディスクを取り出す

基本編

矢印の方向に入れる

1 ミニディスクを入れる

ミニディスクの方向をよく確認して挿入してください。

- ミニディスク表示""が数秒間点滅表示します。入力切り換えが**"MD"**のとき**"MD READING"**が同時に数秒間点滅表示し、その後タイトルが記録されているディスクは、ディスクタイトルを表示します。

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2 再生をはじめる(入力が"MD"に切り換わります)

再生中の曲番

再生中の曲の経過時間

MDを再生するとその曲の録音モード(**MD REC MODE**)が自動で認識され、表示します(**LP2, LP4, MONO**)。また、ステレオ録音モード(**STEREO**)のときは表示は消灯します。→ 56

再生/一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する

好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2

20曲目なら .... +10, +10, 0

213曲目なら .... +100, +100, +10, 3

● 数字キーを押すと、自動的に再生が始まります。

早送り・早戻しする

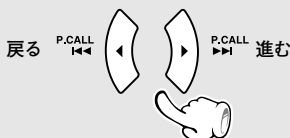
リモコンのみ

再生中に押し続ける

● 手を離したところから再生します。
● 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

ミニディスクを取り出す

● ミニディスクを、取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

曲を飛び越す

● 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
● 再生中にI◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
● さらに手前の曲にスキップするときは素早くI◀◀キー を押します。
● 停止中でもI◀◀、▶▶Iキーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

MDレコーダーの時間表示について

リモコンのみ

TIME/SPACE(タイム/スペース)キーを押すたびに表示が切り換わります。

曲の経過時間

002　　0:07

曲の残り時間

002　　-4:53

ディスク全体の経過時間
(グループ再生中はグループ全体の経過時間)

002　　5:02 TOTAL

ディスク全体の残り時間
(グループ再生中はグループ全体の再生残り時間)

002　　-54:53 TOTAL

録音可能残り時間
設定されている録音モード(MD REC MODE(レコーディング モード) → 56)での録音可能時間を表示します。

002　　14:00 REMAIN

タイトル表示

002 My MD titl

● 再生中はトラックタイトルを、停止中はディスクタイトルを表示します。
● プログラム再生などで、トータル1000分以上になると"- - : - -"と表示し時間表示ができません。
● タイトルが入力されてないときは、"••••••"と表示します。

聴きたいグループだけを再生する(グループ再生モード)

グループを登録(→106)したMDは、聴きたいグループタイトルを探し、そのグループだけを再生することができます。

❶ 停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して"□"(MDグループ)を点灯させる

❷ ▲、▼キーを押して聴きたいグループタイトルを選ぶ

前のグループに戻る

次のグループに進む

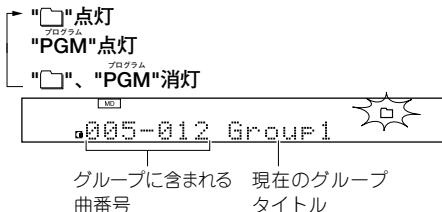
- ▲キーを押すと、前のグループに戻ります。
- ▼キーを押すと、次のグループに進みます。
- 本体のmulti controlキーでも操作できます。

❸ MD▶/❚❚キーを押して再生する

❶ 押すたびに表示が切り換わります。

❷

- 選択したグループにタイトルがつけられていないときは"GROUP・・"(・・は2桁の数字)と表示します。

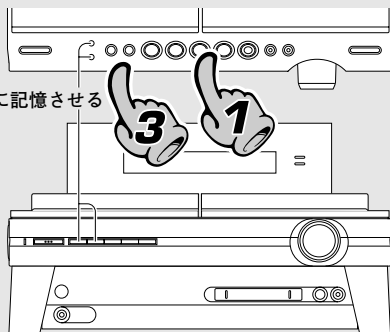
❸

- TIME/SPACEキーを押して、ミニディスクについての情報を見ることができます。(→41)
- 選択したグループの再生を終了すると、そのグループの最初の曲に戻って停止します。
  続けてグループを選んで再生したいときは、手順❷❸を繰り返します。
- 再生中でも手順❷の操作で、他のグループを選ぶことができます。選択したグループの最初の曲から再生が始まります。

グループ再生モードを解除する

リモコンのみ

停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して"□"および"PGM"を消灯させる

グループ登録のしかたについて →106

ラジオ放送を聴く

1 入力をチューナーにする

放送バンドは、Tuner/bandキー押すたびに切り換わります。

FM
AM

2 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット) →44

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名を(FM 放送のみ)表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット) →46

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは"記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)"をお読みください。 →46

3 放送局を呼び出す(プリセットコール)

オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、|◀◀、▶▶|キーを押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶▶|キーを押すと
1→2→3 ..... 38→ 39→40→1 .....

|◀◀キーを押すと
40→39→38 ..... 3→2→1→ 40.....

受信すると"TUNED"表示が点灯します。

TUNER AUTO ((ST.)) TUNED
04 FM 80.00 MHz

プリセット番号
(プリセットされているとき)

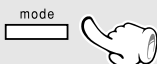
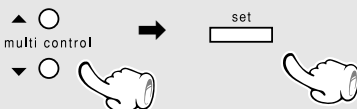
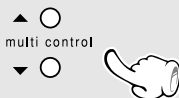
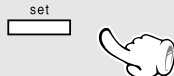
- リモコンでは、|◀◀、▶▶|キーあるいは数字キーを押して選局します。

数字キーを押す順序は

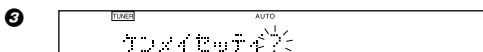
12番目なら .... +10, 2　20番目なら ... +10, +10, 0

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

❶ Tuner/band キーを押して入力をチューナーにする

❷ mode キーを押す

❸ multi control キーを押して "ケンメイセッテイ?" を選び set キーを押す

❹ multi control キーを押して、お住まいの都道府県名を選ぶ

❺ set キーを押す

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大 40 局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"（→45）に載っているFM放送局のみに対応しています。

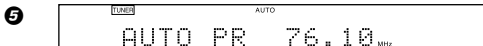
- オートプリセット中は他の操作をしないでください。

❸ TUNER AUTO ケンメイセッテイ?

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、**"ケンメイミセッテイ"** と表示されます。

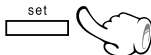
❹ **"トウキョウ"**を選択したとき

TUNER AUTO ケンメイ トウキョウ

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、**"エリア別FM放送局名自動表示リスト"**に従ってオートプリセットされます。 →45

❺ TUNER AUTO AUTO PR 76.10 MHz

- **"AUTO PRESET"**がスクロールして順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および**"TUNED"**表示が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示します。
- オートプリセットをおこなうと、今までに記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されれます。

希望の放送局名が表示されないとき

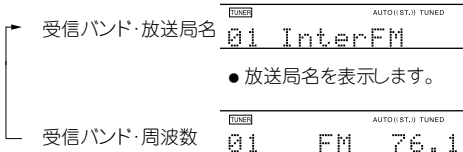
放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、setキーを押して隣接する地域（都道府県）のリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。隣接する地域（都道府県）に該当する放送局がない場合は切り換わりません。

ディスプレイ表示の切り換えについて（リモコンのみ）

オートプリセットしたFM局の表示を切り換えます。

TIME/SPACEキーを押すたびに切り換わります。

受信バンド・放送局名　TUNER AUTO((ST.)) TUNED　01 InterFM

- 放送局名を表示します。

受信バンド・周波数　TUNER AUTO((ST.)) TUNED　01 FM 76.1

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2001年 6月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	新潟県民エフエム	FmPort.com
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
	岐阜エフエム放送	FMギフ
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO･CO･LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰	V - air
	岡山エフエム放送	FMオカヤマ
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	PassionWave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一	NHKラジオ 1
	FEN 沖縄	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。
　電波の状態が良いとき　　：オート選局モード
　電波が弱く雑音が多いとき：マニュアル選局モード
- FM放送はマニュアル選局モードでは、モノラル受信となります。

オート選局のとき:

TUNER　AUTO((ST.)) TUNED
--　FM　79.50 MHz

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える(リモコンのみ)

❶ 押すたびに表示が切り換わります。
- オート選局 .... "AUTO"表示点灯
- マニュアル選局..."AUTO"表示消灯

(通常はオート選局にしておきます。)

❷ 選局をする

周波数が下がる　　周波数が上がる

❷ オート選局のとき:
　キーを押すごとに次々に受信します。
マニュアル選局のとき:
　希望する放送局を受信するまで 押す。
- オート選局中に止めたいときはリモコンのSTOP■キー、または本体のstop■キーを押します。

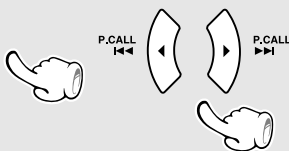
放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

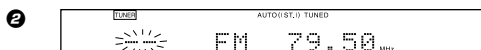
❶ "記憶させていない放送局を聴く"の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中にリモコンのENTERキーを押す

❷
TUNER　AUTO((ST.)) TUNED
--　FM　79.50 MHz

❸ リモコンの|◀◀、▶▶|キーまたは数字キーで1～40までのプリセット番号を任意に選ぶ

❸
TUNER　AUTO((ST.)) TUNED
05　FM　79.50 MHz

数字キーを押す順序は
　12番目なら .... +10, 2
　20番目なら .... +10, +10, 0

❹ ENTERキーを押す

❹
- プリセットを続けるときは、手順❶～❹を繰り返します。
- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。
- 40を超えるプリセット番号は選択できません。

操作中に約20秒放置すると、プリセットは中止されます。

録音について

再生、録音装置と録音形式(デジタル／アナログ)について

本機では再生、録音装置の組み合わせにより、録音形式(デジタル／アナログ)は次の表のようになります。

再生装置＼録音装置	CD レコーダー	MD レコーダー
CD プレーヤー(**CD**)	デジタル録音またはアナログ録音	デジタル録音またはアナログ録音
CD レコーダー(**CDR**)		アナログ録音のみ
MD レコーダー(**MD**)	アナログ録音のみ	
外部アナログ機器(**AUX**)	アナログ録音のみ	アナログ録音のみ
外部デジタル機器(**D-AUX**)	デジタル録音のみ	デジタル録音のみ
ラジオ放送(**TUNER**)	アナログ録音のみ	アナログ録音のみ

- MP3、WMA収録ディスクをCD-R/RWまたはMDに録音すると、自動的にアナログ録音になります。
- CDプレーヤーからCDレコーダーまたはMDレコーダーへの録音では、デジタル録音かアナログ録音を選択することができます。(**"REC INPUT"**→52 →57)
- CDや、外部デジタル機器からの信号によってはSCMSにより、デジタル録音できない場合があります。→48
- 本機で録音できる外部機器のデジタル信号については**"サンプリング・レート・コンバーターについて"**をお読みください。→48

録音機能について

本機では、通常の録音の他に、次のような録音機能があります。

❑ ***CDプレーヤーからCDレコーダー、MDレコーダーへ倍速／通常速(等速)デジタル録音*** →72 →73

カンタンな操作でCDの全曲または1曲を、通常再生の2倍または同一のスピードでCD-R/RWやMDにデジタル録音することができます。

❑ ***CDプレーヤーからCDレコーダーとMDレコーダーへ同時に倍速／通常速(等速)デジタル録音*** →75

カンタンな操作でCDの全曲または1曲を、通常再生の2倍または同一のスピードでCD-R/RWとMDにデジタル録音することができます。

❑ ***MDステレオ長時間録音対応*** →56

MDでの録音は、通常の録音の約2倍、約4倍のステレオ長時間録音ができます。

MDステレオ長時間録音について

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4 モードは LP2 モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

REC MODE(録音モード)	圧縮方式	最長録音時間(80分MD使用時)
STEREO(ステレオ録音モード)	ATRAC*	約80分
MONO(モノラル録音モード)		約160分
LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)	ATRAC 3-LP2	約160分
LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)	ATRAC 3-LP4	約320分

* Adaptive TRansform Acoustic Coding

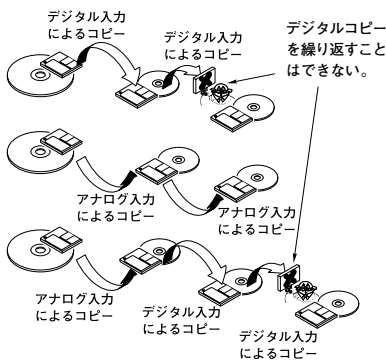
サンプリング・レート・コンバーターについて

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

32 kHz　: DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。
44.1 kHz: DATの標準モード、CD、MD等。
48 kHz　: DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
（DAT:Digital Audio Tapedeck）

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できません。本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、32kHz、48kHzのデジタル信号は、サンプリング周波数に変換して録音することができます。

デジタル録音とSCMS（Serial Copy Management System）について

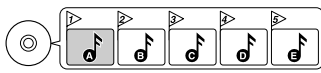
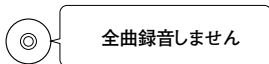
シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

本機CDプレーヤーからのデジタル録音で、セットしたディスクの中にSCMSによりデジタル録音ができない曲があった場合、次のようになります。

デジタル録音できる曲

SCMSによりデジタル録音できない曲

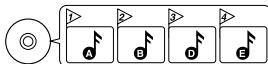
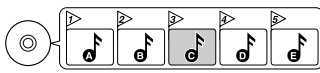
SCMS

SCMSによりデジタル録音ができない曲の場合、"SCMS"が点滅します。

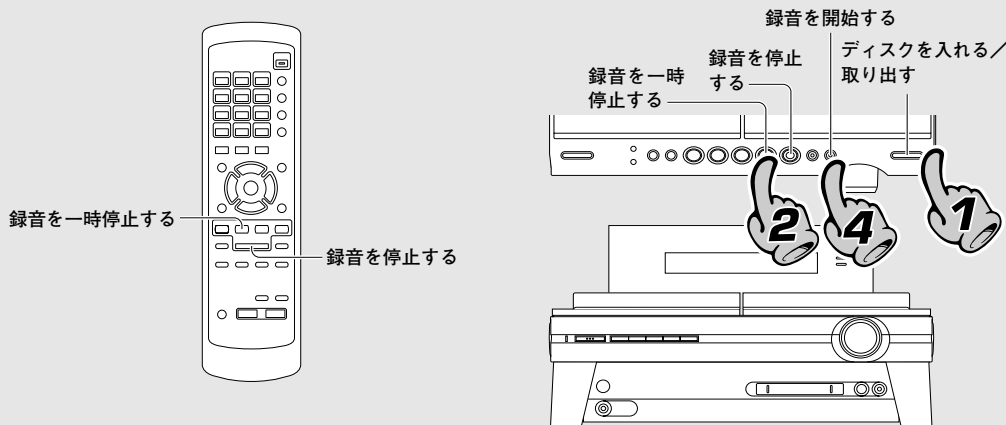
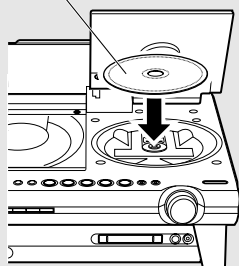
1曲目（「A」の曲）が、SCMSによりデジタル録音ができない曲がある場合

CDレコーダー　：全曲録音しません。
MDレコーダー　：「A」をのぞき録音します。

途中の曲（3曲目「C」の曲）が、SCMSによりデジタル録音ができない曲がある場合

CDレコーダー　：「C」をのぞき録音します。
MDレコーダー　：「C」をのぞき録音します。

メモ

- CD の再生は **"SCMS"** が点滅しても、停止せずに終了まで再生し続けます。
- 全ての曲が **SCMS** によりデジタル録音できない場合は、全ての曲を録音しません。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください（➡52 ➡57）。ワンタッチエディット録音やCD-R/RW、MD同時録音（➡72）で録音するときは録音スピードは通常速録音（**SPEED NORMAL**）を選んでください。

CD-R/RWに録音する

テキスト情報が記録されているCDやMDなどの場合、テキストデータはコピーされません。

1 ディスクを入れる
(CD-R/RWをCDレコーダーにセットする)

❶ CDレコーダーカバー開閉(▲)キーを押してカバーを開ける
❷ ディスクを入れる
❸ CDレコーダーカバー開閉(▲)キーを押してカバーを閉める

カバーは直接手で閉めないでください。無理にカバーを閉めると故障の原因となります。

- CD-R/RWにキズ、ホコリなどがないか確認してください。
- CD-R/RWがすでに録音されている場合、最終トラックの最後を自動的に検索し、そこから録音を開始します。
- CDを録音するときは、CDプレーヤーに録音元のオーディオCDまたはMP3、WMA収録ディスクを入れて、CD-R/RWをCDレコーダーに入れてください。
- CD-RWを入れて**"FINALIZED CD-RW"**(ファイナライズド)と表示されたときは録音できません。追加録音したいときは、アンファイナライズ処理をしてください。→129

未使用のディスク、アンファイナライズのディスクなどをCD レコーダーに入れたとき、"CDR READING"(リーディング)や"CDR OPC"がしばらくの間点滅表示し続けることがあります。

OPC処理について(OPC:Optimum(オプティマム) Power(パワー) Control(コントロール))

未使用のディスク、アンファイナライズのディスクなどをCD レコーダーに入れたとき、OPC処理を行うため、"CDR OPC"がしばらくの間点滅し続けることがあります。
OPC処理は、ディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するため試験的に、ディスクに書き込みを行っています。
本機では一度OPC 処理を行ったディスクはその情報をCDレコーダーに記録し、同じディスクを入れたときに、OPC 処理をせず録音できるようになっています。24 枚分のディスクの情報を記憶できます。この枚数を超えた場合、ディスクによっては一度使用したディスクでもOPC 処理をすることになります。OPC処理中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。
入力切り換えが"CDR"の場合、OPC処理中は"CDR OPC"と表示されます(約30秒間)。

次ページにつづく

CDを選ぶ場合

2 録音するソース(音源)を選ぶ

TUNER(ラジオ放送)　: Tuner/bandキーを押す
CD　: CD ▶/⏸キーを押す
MD　: MD ▶/⏸キーを押す
AUX(外部アナログ機器)　: aux/D-auxキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
D-AUX(外部デジタル機器): aux/D-auxキーを"D-AUX"と表示されるまで繰り返し押す

選ばれた録音ソース

CD
01　0:00

- CD ▶/⏸キーまたは、MD ▶/⏸キーを押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますのでstop■キーを押して停止させてください。
- ソース(音源)の選択が"CD"または"D-AUX"以外はデジタル録音できません。また、これらのソース(音源)でもSCMSによりデジタル録音できないときがあります。 →48
- "D-AUX"を選んだときに"UNLOCK"と表示されたときは、"メッセージ表示の一覧"をご覧ください。 →147

3 録音の準備をする

TUNER(ラジオ放送)　: 選局する →43
CD　: オーディオCDのときは、録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする →33 →34
MP3、WMA収録ディスクのときは次のいずれかの操作で、録音したいファイルのはじめで再生一時停止にする
- 通常の再生で選ぶ →35
- フォルダーサーチで選ぶ →37
- フォルダーセレクトで選ぶ →38
- 聴きたいフォルダーだけを選ぶ →39

MD　: 次のいずれかの操作で録音したい曲のはじめで再生一時停止にする
- 通常の再生で選ぶ →40
- 聴きたいグループだけを選ぶ →42

AUX(アナログ機器)　: 受信や再生などの準備をする →132
D-AUX(デジタル機器) : 受信や再生などの準備をする →132

- CDプレーヤーからの録音のときには、デジタル録音、アナログ録音を必要に応じて切り換えてください。
"デジタル録音、アナログ録音の切り換え(REC INPUT)" →52
- "AUX"(外部アナログ機器)を選んだときに、入力レベルを調整することができます。外部アナログ機器からの音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。(AUX INPUT、REC GAIN) →133

録音中に"SCMS"と表示されたら →48

4 録音を始める

❶ CDR recキーを押す（録音一時停止状態になります）

- **CDR rec**キーを押すと、**CDR rec**インジケーターが点滅し始め、点滅が早い点滅から遅い点滅にかわり、録音一時停止状態になります。

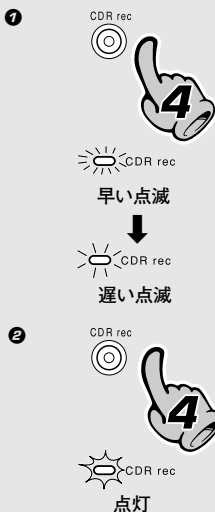
❷ CDR recインジケーターが遅い点滅にかわったら、もう一度CDR recキーを押す（CDR recインジケーターが点灯にかわり録音が始まります）

- **CDR rec**インジケーターが早く点滅しているときは、録音の準備をしています。遅い点滅にかわってから**CDR rec**キーを押してください。
- 本機のCDプレーヤーからのデジタル録音、または外部デジタル機器からの録音のときは次の手順❸の操作を行なうまで録音は始まりません。

**❸ ソース（音源）の再生を始める
例：CD ▶/❚❚キーを押す**

- 同時にMDにも録音したいときは手順❶、❷で**MD rec**キーも押します。
- CDの再生が終了しても、録音は停止しません。**stop**（ストップ）■キーを押して録音を停止してください。
- 録音が終了すると**"CDR WRITING"**（ライティング）表示になります。
- 録音に失敗した曲がある場合、再生したときに失敗した曲を飛び越すようにディスクに登録することができます。（ファイナライズ処理する前に登録します）**"聴かない曲をCD-R/RWにスキップ登録する（SKIP TRACK）"**（スキップ トラック） →70
- CD-RWのみ消去することができます。**"CD-RWの録音消去"** →130
- 録音したディスクを本機のCDプレーヤーや他のCDプレーヤーで再生したいときはファイナライズ処理をする必要があります。**"CD-R/RWのファイナライズ（FINALIZE）"**（ファイナライズ） →128

表示部にメッセージが表示されたときは →147

"CDR WRITING"（ライティング）表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

録音を一時停止する

- **CDR rec**インジケーターが点滅します。
- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は**"1"**繰り上がります。
- リモコンの**CDR ▶/❚❚**キーでも操作できます。

録音を停止する

- CDを録音中に**stop**（ストップ）■キーを押すとCDの再生も停止します。
- MDを録音中に**stop**（ストップ）■キーを押すとMDの再生も停止します。
- リモコンの**STOP**（ストップ）■キーでも操作できます。

録音側の時間表示を切り換えるには

❶ displayキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える

再生側（CDプレーヤーなど）

録音側（CDレコーダー）

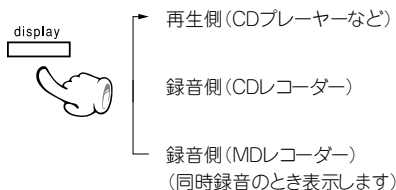
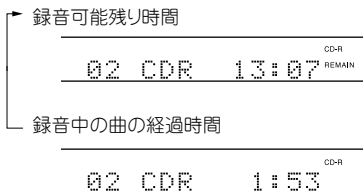
録音側（MDレコーダー）
（同時録音のとき表示します）

❷ TIME/SPACEキーを押して、時間表示を切り換える

録音可能残り時間

02 CDR 13:07 CD-R REMAIN

録音中の曲の経過時間

02 CDR 1:53 CD-R

● リモコンのDISPLAYキーでも切り換えることができます。

デジタル録音、アナログ録音の切り換え（REC INPUT）

CDプレーヤーからCDレコーダーに録音するときは、デジタル信号のまま録音するデジタル録音とアナログ信号に一度変換して録音するアナログ録音を選ぶことができます。初期値はデジタル録音に設定されています。録音操作をする前に切り換えます。

❶ CDプレーヤーに録音するディスクを入れ、入力切り換えが"CD"であることを確認する

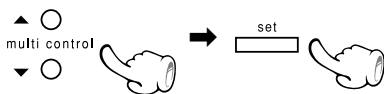
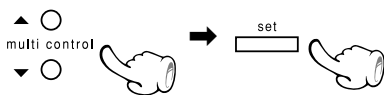
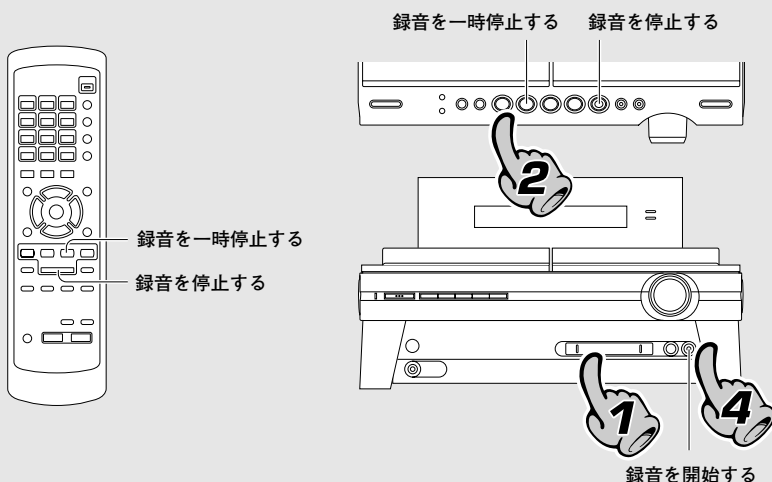
❷ modeキーを押す

CDからの録音の場合SCMS（→48）によりデジタル録音できない場合があります。そのときは**"ANALOG"**に切り換えて録音してください。
CDプレイヤーからMDレコーダーに録音する設定も同時に切り換わります。

❸ multi controlキーで"REC INPUT?"を選び、setキーを押す

❸ REC INPUT?

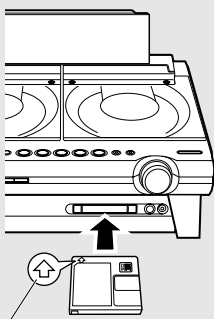
❹ multi controlキーで"DIGITAL"（デジタル録音）または"ANALOG"（アナログ録音）を選び、setキーまたはenterキーを押す

❹
● **"DIGITAL"**（デジタル録音）を選ぶと**"DIGITAL"**表示が点灯し、**"ANALOG"**（アナログ録音）を選ぶと**"DIGITAL"**表示が消灯します。
● **"ANALOG"**（アナログ録音）を選択したときは、トラック番号の付けかたをかえることができます。
"トラック番号の設定をかえる"→134

テキスト情報が記録されているCDやCD-R/RWの場合、TEXTデータはコピーされません。

1 ディスクを入れる

ミニディスクの方向をよく確認して挿入してください。

❶ 録音用ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする →13

❷ 録音用ミニディスクを入れる

ミニディスク表示（■）が数秒間点滅表示します。その後点灯表示にかわれば録音可能状態になります。

矢印の方向に入れる

電源がオフ（スタンバイ）状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

次ページにつづく

2 録音するソース(音源)を選ぶ

CDを選ぶ場合

TUNER(ラジオ放送) : Tuner/bandキーを押す
CD : CD ▶/❚❚キーを押す
CDR : CDR ▶/❚❚キーを押す
AUX(外部アナログ機器) : aux/D-auxキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
D-AUX(外部デジタル機器) : aux/D-auxキーを"D-AUX"と表示されるまで繰り返し押す

選ばれた録音ソース

CD
01 0:00

- CD ▶/❚❚、またはCDR ▶/❚❚キーを押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので stop■キーを押して停止させてください。
- ソース(音源)の選択が"CD"または"D-AUX"以外はデジタル録音できません。また、これらのソース(音源)でもSCMSによりデジタル録音できないときがあります。 →48
- "D-AUX"を選んだときに"UNLOCK"と表示されたときは、"メッセージ表示の一覧"をご覧ください。 →147

3 録音の準備をする

TUNER(ラジオ放送) : 選局する →43
CD : オーディオCDのときは、録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする →33 →34
MP3、WMA収録ディスクのときは次のいずれかの操作で、録音したいファイルのはじめで再生一時停止にする
- 通常の再生で選ぶ →35
- フォルダーサーチで選ぶ →37
- フォルダーセレクトで選ぶ →38
- 聴きたいフォルダーだけを選ぶ →39

CDR : 録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする
AUX(アナログ録音) : 受信や再生などの準備をする →132
D-AUX(デジタル録音) : 受信や再生などの準備をする →132

- 最長で通常の約4倍の長時間録音をすることができます。必要に応じて選んでください。(MD REC MODE) →56
- CDプレーヤーからの録音のときには、デジタル録音、アナログ録音を必要に応じて切り換えてください。"デジタル録音、アナログ録音の切り換え(REC INPUT)" →57
- "AUX"(外部アナログ機器)を選んだときは、入力(録音)レベルを調整することができます。外部アナログ機器からの音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。(AUX INPUT、REC GAIN→133)
- CDからMDにデジタル録音で録音するときには、録音レベル(D-REC LEVEL→133)を調整することができます。調整したあとに録音する曲のはじめで再生一時停止にしてください。

録音中に"SCMS"と表示されたら
→48

4 録音を始める

❶ MD recキーを押す（MD recインジケーターが点滅し、録音一時停止状態になります）
❷ 準備ができていれば、もう一度MD recキーを押す（MD recインジケーターが点灯にかわり、録音が始まります）
❸ ソース（音源）の再生を始める（例：CD▶/IIキーを押す）

- 同時にCD-R/RWにも録音したいときは手順❶、❷でCDR recキーも押します。
- CDの再生が終了しても、録音は停止しません。stop■キーを押して録音を停止してください。

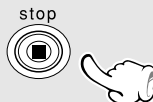
表示部にメッセージが表示されたときは →147

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。また表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、録音や編集した情報が消滅します。

CDの録音では、CDの再生が始まるとCDの信号を検出してトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。不要なトラック番号は削除することができます。"1曲またはミニディスクの全曲を消す"→118

録音を一時停止する

- MD recインジケーターが点滅します。
- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は"1"繰り上がります。
- リモコンのMD ▶/IIキーでも操作できます。

録音を停止する

- CDを録音中にstop■キーを押すとCDの再生も停止します。
- リモコンのSTOP■キーでも操作できます。

録音側の時間表示を切り換えるには

❶ displayキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える

- 再生側（CDプレーヤーなど）
- 録音側（CDレコーダー）（同時録音のとき表示します）
- 録音側（MDレコーダー）
- D-REC LEVEL →133（CDデジタル音録音のワンタッチエディット録音やCD-R/RW、MD同時録以外で表示します。）

- リモコンのDISPLAYキーでも切り換えることができます。

❷ TIME/SPACEキーを押して、時間表示を切り換える

録音可能残り時間

002 MD 36:26 REMAIN

録音中の曲の経過時間

002 MD 0:53

MDに長時間録音をする(MD REC MODE)

必要に合わせてMDの録音モードをかえることができます。
また、ステレオ長時間録音(LP2、LP4)で録音するときのみ、曲のタイトルの始めの部分に"LP:"というタイトルを自動的に入力する、入力しないを選ぶことができます(MD スタンプ機能)。録音操作をする前に切り換えます。

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーを押して"MD REC MODE?"を選びsetキーを押す

❷ MONO LP 2 4 MD REC MODE?

❸ multi controlキーを押して録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは設定終了
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❸
- STEREO(ステレオ録音モード)
- LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)
- LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)
- MONO(モノラル録音モード)

❹ multi controlキーを押してMDスタンプ機能の"ON"または"OFF"を選び、setキーまたはenterキーを押す

❹
- ON .... 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
- OFF ... 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

ONのとき "LP:" OFF >ON

OFFのとき "LP:" >OFF ON

REC MODE(録音モード)	REC MODE表示
STEREO(ステレオ録音モード)	消灯
LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)	LP2
LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)	LP4
MONO(モノラル録音モード)	MONO

● REC MODE表示は停止中または録音中は、設定されているモードを表示します。再生中はその曲の録音モードを表示します。

MDスタンプ機能について

本機でステレオ長時間録音(LP2/LP4)で録音された曲のタイトルの始めの部分に"LP:"を自動的につける機能です。"LP:"というタイトルはステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。本機で再生したときには"LP:"は表示しません。

ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

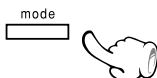
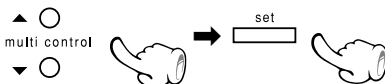
ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません(MD スタンプ機能を使っているときは、その曲のタイトルの始めの部分に"LP:"と表示されます)。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在している MD を再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このような MD を再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"曲をつなぐ(COMBINE)"→116

デジタル録音、アナログ録音の切り換え（REC INPUT）

CDプレーヤーからMDレコーダーに録音するときは、デジタル信号のまま録音するデジタル録音とアナログ信号に一度変換して録音するアナログ録音を選ぶことができます。初期値はデジタル録音に設定されています。録音操作をする前に切り換えます。

❶ CDプレーヤーに録音するディスクを入れ、入力切り換えが"CD"であることを確認する

❷ modeキーを押す

❸ multi controlキーで"REC INPUT?"を選び、setキーを押す

❹ multi controlキーで"DIGITAL"（デジタル録音）または"ANALOG"（アナログ録音）を選び、setキーまたはenterキーを押す

CDからの録音の場合SCMS（→48）によりデジタル録音できない場合があります。そのときは**"ANALOG"**に切り換えて録音してください。
CDプレーヤーからCDレコーダーに録音する設定も同時に切り換わります。

❸

REC INPUT?

❹

- **"DIGITAL"**（デジタル録音）を選ぶと**"DIGITAL"**表示が点灯し、**"ANALOG"**（アナログ録音）を選ぶと**"DIGITAL"**表示が消灯します。
- **"ANALOG"**（アナログ録音）を選択したときは、トラック番号の付けかたをかえることができます。
  "トラック番号の設定をかえる"→134

いろいろな再生

本機では、通常の再生の他に、次のような再生機能があります。用途に応じて選んでください。
再生機器によってはできない機能があります。

説明文中の CD CDR MD は、再生（登録）できる機器を示しています。

CD .... CDプレーヤー（オーディオCD、MP3、WMAを再生）
CDR .... CDレコーダー（オーディオCDを再生）
MD .... MDレコーダー

曲順を並べ替えて聴くときは

プログラム再生 CD MD

ディスクの中から好きな曲を、好きな順序で聴くことができます(最大32曲まで)。 →60

MP3、WMAプログラム再生 CD

MP3、WMA収録ディスクのフォルダーやフォルダー内のファイルを、好きな順序で聴くことができます。（フォルダーとファイル合わせて最大32プログラムまで） →62

繰り返し聴くときは

リピート再生 CD CDR MD

お気に入りの曲（MP3、WMA収録ディスクはファイル）やディスクを繰り返し聴くことができます。 →64

フォルダーリピート再生 CD (MP3, WMA収録ディスクのみ)

MP3、WMA収録ディスクのフォルダー内のファイルを繰り返し聴くことができます。 →66

グループリピート再生 MD

MDのグループ内の曲を繰り返し聴くことができます。 →67

曲順を順不同に楽しむときは

ランダム再生 CD MD

毎回曲（MP3、WMA収録ディスクはファイル）がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。→68

フォルダーランダム再生 CD (MP3, WMA収録ディスクのみ)

MP3、WMA収録ディスクのフォルダー内のファイルを、ランダムに聴くことができます。→69

グループランダム再生 MD

MDのグループ内の曲をランダムに聴くことができます。→69

聴かない曲をCD-R/RWにスキップ登録する

スキップトラック（SKIP TRACK） CDR

録音を失敗した曲など、再生するときに飛ばしたい曲をあらかじめディスクに登録しておくと、自動的に飛び越して再生できるようになります。→70

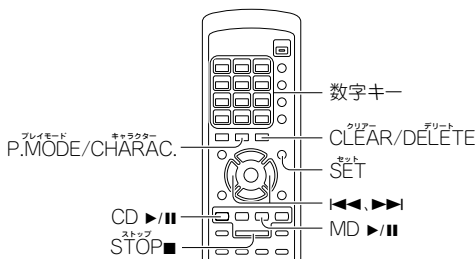
スキップ登録した曲を飛び越して再生する

スキッププレイ（SKIP PLAY） CD CDR

SKIP TRACKが登録されたCD-R/RWをCDプレーヤー、CDレコーダーどちらで再生しても、登録された曲を自動的に飛び越して再生をすることができます。→71

曲順を並べ替えて聴く
（プログラム再生） CD MD

CDまたはMDの中から好きな曲を、好きな順序で聴くことができます。（最大32曲まで）
MP3、WMA収録ディスクのプログラム再生については"曲順を並び替えて聴く（MP3、WMAプログラム再生）"→62

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズ（→128）する必要があります。

入力切り換えを再生に応じて"CD"、または"MD"にする→31

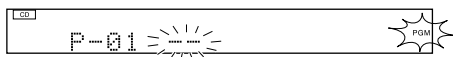
1 停止を確認する

再生中のとき

STOP■キーを押す

CD 01 0:00

2 "PGM"表示を点灯させる

P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して"PGM"を点灯させる

3 聴きたい順に曲を選びプログラムする

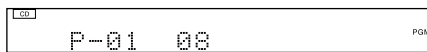
❶ **数字キーで曲番号を選ぶ**
20秒以内に手順❷を行う

数字キーを押す順序は
12曲目なら............ +10, 2
20曲目なら............ +10, +10, 0
113曲目なら.......... +100, +10, 3

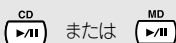
❷ **SETキーを押す**

❸ **手順❶、❷を繰り返す**

❶ 選曲

❷ 確定

- 曲番号は⏮、⏭キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。**"PGM FULL"**と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 曲番号表示の点滅中に**SET**キーを押さないと入力した曲番号が無効になります。曲番号を選び直してください。

4 再生する

▶/❚❚キーを押す

- プログラムで選んだ順（**P**番号順）に再生します。
- 再生中に⏮または⏭キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に⏮キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

応用編

曲を追加するには

停止中に押す

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10, 2
20曲目なら .... +10, +10, 0
112曲目なら .... +100, +10, 2

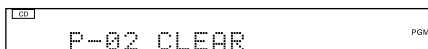
❷ SET（セット）キーを押す

❶
- 曲番号は⏮、⏭キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"PGM FULL"（プログラム フル）と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

CLEAR/DELETE（クリアー/デリート）キーを押す

停止中に押す

- CLEAR/DELETE（クリアー/デリート）キーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラム再生を解除するには

P.MODE/CHARAC.（プレイモード/キャラクター）キーを押して"PGM"（プログラム）を消灯させる

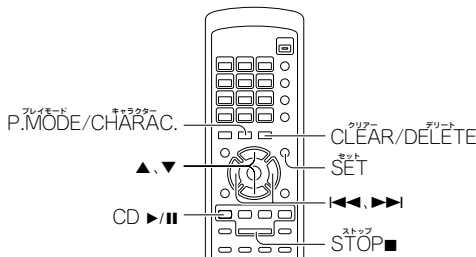
停止中に押す

- CDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフ（スタンバイ）にする、または⏏open/close（オープン/クローズ）、⏏eject（イジェクト）キーを押すと設定したプログラム再生は解除されます。
- MDで録音操作をすると、MDのプログラム再生は解除されます。

曲順を並べ替えて聴く
（MP3、WMAプログラム再生） CD

MP3、WMA収録ディスクのフォルダーおよびフォルダー内のファイルを、好きな順序で聴くことができます。（フォルダーとファイル合わせて最大32プログラムまで）

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、セッションクローズまたはファイナライズされている必要があります。

P.MODE/CHARAC.
▲、▼
CD ▶/II
CLEAR/DELETE
SET
|◀◀、▶▶|
STOP■

入力切り換えを"CD"にする →31

1 停止を確認する

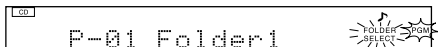
再生中のとき

STOP■キーを押す

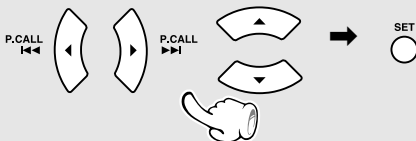
CD 001 0:00

2 "PGM"表示を点灯させる

P.MODE/CHARAC. キーを繰り返し押して"PGM"を点灯させる

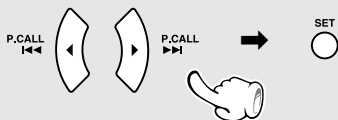
CD P-01 Folder1 FOLDER SELECT PGM

3 聴きたい順にフォルダー、ファイルを選びプログラムする

❶ |◀◀、▶▶|キーおよび▲、▼キーを押して聴きたいフォルダーのタイトルを選びSETキーを押す

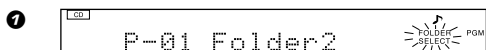
20秒以内に手順❷を行う。

フォルダーの選び方は、38ページの"|◀◀、▶▶| 、▲、▼キー操作によるフォルダーの選びかた"をお読みください。

❷ |◀◀、▶▶|キーで選んだフォルダー内の聴きたいファイルタイトル、"FOLDER ONLY"または"FOLDER ALL"を選び SETキーを押す

20秒以内に手順❸を行う。

❸ 手順❶～❷を繰り返す。

手順❶の操作をする前は、その時点で選ばれているフォルダーのタイトルを表示します。

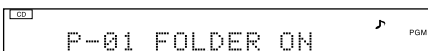
❶

CD P-01 Folder2 FOLDER SELECT PGM

- 選択したフォルダーの中に別のフォルダーがあるときは"📁"表示が点灯します。
- 選択したフォルダーの中にファイルがあるときは"♪"表示が点灯し、ファイルがないときは"**NO FILE**"と表示します。

❷

|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

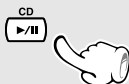
→ **ファイルのタイトル**＊
⋮
FOLDER ONLY...... フォルダー内の全ファイル
FOLDER ALL......... 選んだフォルダーの下層に属する全フォルダー内の全ファイル

＊ |◀◀、▶▶|キーを押すたびにフォルダー内のファイルのタイトルを表示します。

FOLDER ONLYを選んだとき

- 選択したフォルダーの次の層にファイルがないときは"**FOLDER ALL**"のみが表示されます。
- フォルダーとファイル合わせて32プログラムまで選択することができます。

4 再生する

CD▶/IIキーを押す

- プログラムで選んだ順(P番号順)に再生します。
- 再生中に⏮または⏭キーを押すと、プログラムした順にファイルを飛び越します。
- 再生中に⏮キーを1回押すと、そのファイルの最初に戻ります。

フォルダーまたはファイルを追加するには

停止中のとき

手順3を行い、フォルダーまたはファイルを選ぶ

- フォルダーとファイル合わせて32プログラムまで追加することができます。"PGM FULL"(プログラム フル)と表示されると、それ以上プログラムは受け付けられません。

プログラムしたフォルダーまたはファイルを取り消すには

停止中のとき

CLEAR/DELETE(クリアー/デリート)キーを押す

- CLEAR/DELETE(クリアー/デリート)キーを押すたびに、最後にプログラムしたフォルダーまたはファイルから1つずつ消えていきます。

プログラム再生を解除するには

停止中のとき

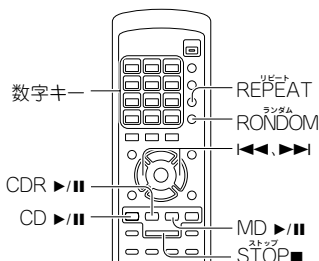
P.MODE/CHARAC.(プレイモード/キャラクター)キーを押して"PGM"(プログラム)表示を消灯させる

電源をオフ(スタンバイ)にする、または⏏open/close(オープン/クローズ)キーを押すと設定したプログラム再生は解除されます。

繰り返し聴く（リピート再生）

CD CDR MD

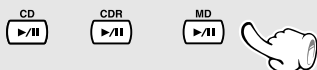
お気に入りの曲（MP3、WMA収録ディスクはファイル）やディスクを繰り返し聴くことができます。

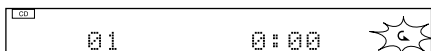
CD-R/RWをリピート再生するときは、セッションクローズまたはファイナライズ（→128）されている必要があります。

入力切り換えを再生に応じて"CD"、"CDR"または"MD"にする →31

全曲を繰り返し聴く

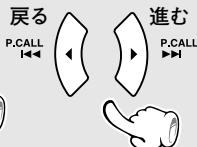
❶ "FOLDER"および"PGM"表示の消灯を確認する

❷ REPEATキーを押して"↻"表示を点灯させる

停止中に操作したときは：
▶/⏸キーを押して再生する

❶
- 停止中、再生中にかかわらず操作できます。
- "FOLDER"または"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODE/CHARAC.キーを押して消灯させてください。

❷
押すたびに表示が切り換わります。
→ ↻1 点灯
↻ 点灯
消灯

1曲だけを繰り返し聴く

❶ "FOLDER"および"PGM"表示の消灯を確認する

❷ 数字キーまたは⏮、⏭キーで聴きたい曲番号（MP3、WMA収録ディスクはファイル番号）を選ぶと再生が始まる

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10, 2
20曲目なら .... +10, +10, 0
113曲目なら .... +100, +10, 3

❸ REPEATキーを押して"↻1"表示を点灯させる

❷
- MP3、WMA収録ディスクのときは、次の操作でファイルを選ぶこともできます。

  フォルダーサーチ（→37）またはフォルダーセレクト（→38）で聴きたいフォルダーを選んでから、⏮、⏭キーでファイルを選ぶ
- ミニディスクのときは、グループ再生モードでも選ぶことができます（→42）。聴きたいグループを選んでから、⏮、⏭キーで曲を選びます。

❸
押すたびに表示が切り換わります。
→ ↻1 点灯
↻ 点灯
消灯

CD
01 0:12

応用編

リピート再生をやめるには

REPEATキーを"↺"表示が消えるまで繰り返し押す

- リピートをやめても再生を続けます。

選んだ曲だけを繰り返し聴く CD MD

❶ "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順❸までを行い、聴きたい曲をプログラムする → 60
❷ REPEATキーを繰り返し押して"↺"表示を点灯させる
❸ ▶/❚❚キーを押して再生する

ランダムに繰り返し聴く(ランダムリピート) CD MD

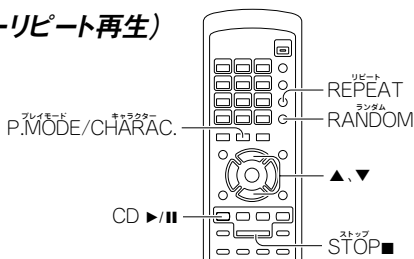
全曲リピート再生中にRANDOMキーを押して"RDM"表示を点灯させる

- ランダムリピートをやめるときは、STOP■キーを押して"RDM"表示を消灯させせます。

繰り返しフォルダーを聴く（フォルダーリピート再生）

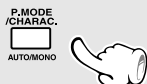
CD

MP3、WMA収録ディスクのフォルダーを選択してフォルダー内のファイルを繰り返し聴くことができます。

CD-R/RWをフォルダーリピート再生するときは、セッションクローズまたはファイナライズされている必要があります。

入力切り換えを"CD"にする →31

フォルダーを繰り返し聴く

❶ **P.MODE/CHARAC.キーを押して"FOLDER"を点灯させる（フォルダー再生モードにする）**

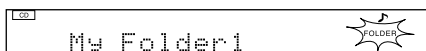
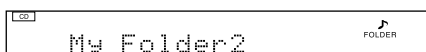
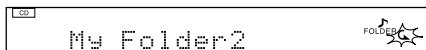
❶
- 停止中、再生中にかかわらず操作できます。

❷ **▲、▼を押してリピート再生したいフォルダーを選ぶ**

次のフォルダーに進む

❷

CD My Folder2 FOLDER

❸ **REPEATキーを押して"⟲"表示を点灯させる**

停止中に操作したときは：
CD►/IIキーを押して再生する

❸
押すたびに表示が切り換わります。
→ ⟲1 点灯
⟲ 点灯
消灯

フォルダーリピート再生をやめるには

REPEATキーを"⟲"表示が消えるまで繰り返し押す

- リピートをやめても再生を続けます。

ランダムに繰り返し聴く（ランダムリピート）

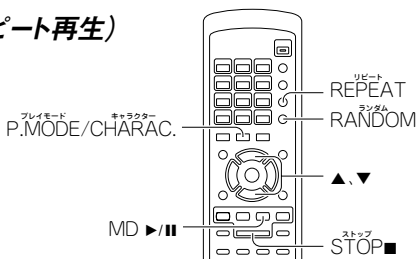
リピート再生中にRANDOMキーを押して"RDM"表示を点灯させる

- 再生中のフォルダー内の全ファイルがランダムリピート再生されます。
- ランダムリピートをやめるときは、**STOP■**キーを押して**"RDM"**表示を消灯させます。

応用編

繰り返しグループを聴く（グループリピート再生）

MD

MDのグループを選択してグループ内の曲を返し聴くことができます。
グループが登録されていない場合は、この操作はできません。グループを登録するには →106

入力切り換えを"MD"にする →31

グループを繰り返し聴く

❶ 停止を確認する
❷ P.MODE/CHARAC.キーを押して"□"表示を点灯させる（グループ再生モードにする）

❸ ▲、▼を押してリピート再生したいグループを選ぶ

前のグループに戻る

次のグループに進む

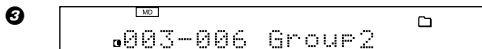
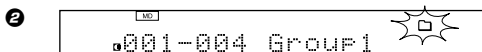
❹ REPEATキーを押して"⟲"表示を点灯させる

❺ MD▶/IIキーを押して再生する

❶
● 再生中のときは、STOP■キーを押して停止してください。

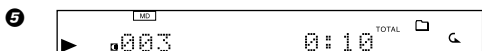
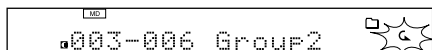
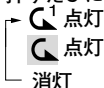
❷

❸

MD
003-006 Group2

● グループタイトルがつけられていないグループは、"GROUP••"（••は2桁の数字）と表示します。

❹
押すたびに表示が切り換わります。
→ ⟲1 点灯
⟲ 点灯
消灯

❺

MD
▶ 003 TOTAL 0:10

グループリピート再生をやめるには

REPEATキーを"⟲"表示が消えるまで繰り返し押す

● リピートをやめても再生を続けます。

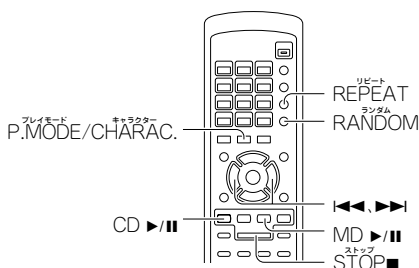
ランダムに繰り返し聴く（ランダムリピート）

リピート再生中にRANDOMキーを押して"RDM"表示を点灯させる

● 再生中のグループ内の全曲がランダムリピート再生されます。
● ランダムリピートをやめるときは、STOP■キーを押して"RDM"表示を消灯させます。

曲順を順不同に楽しむ
(ランダム再生) CD MD

毎回曲がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。MP3、WMA収録ディスクでは通常のランダム再生のほかに、選択したフォルダー内のファイルをランダムに再生することもできます。またMDでも通常のランダム再生に加えて、選択したグループ内の曲をランダムに再生することもできます。

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、セッションクローズまたはファイナライズ(→128)されている必要があります。

入力切り換えを再生に応じて"CD"または"MD"にする →31

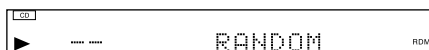
1 停止を確認する

再生中のとき

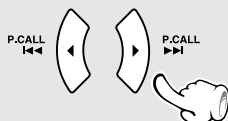
STOP■キーを押す

2 "FOLDER"および"PGM"表示の消灯を確かめる

- "FOLDER"または"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯させます。

3 ランダム再生を始める

RANDOMキーを押す

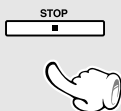
- 全曲(ファイル)の再生が1回終わると停止します。

曲の途中で別の曲を選ぶには

►►Iキーを押す

- I◄◄キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

応用編

ランダム再生をやめるには

STOP■キーを押す

フォルダー単位でランダム再生をする(MP3、WMA収録ディスクのとき)

❶ ランダム再生したいフォルダータイトルを選ぶ
フォルダー再生モードの手順❶、❷を行う →39

❷ RANDOMキーを押して再生する

❷

● フォルダー内の全ファイルの再生が1回終わると停止します。

グループ単位でランダム再生をする(グループ登録されたMDのとき)

❶ グループ再生したいグループタイトルを選ぶ
グループ再生モードの手順❶、❷を行う →42

❷ RANDOMキーを押して再生する

❷

● グループ内の全曲の再生が1回終わると停止します。

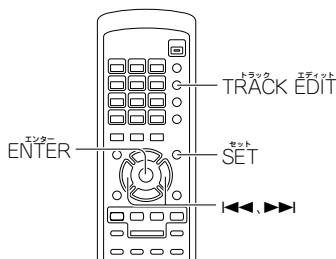
ランダムに繰り返して聴く(ランダムリピート)

ランダム再生中にREPEATキーを押して"⟲"表示を点灯させる

● ランダムリピートをやめるときは、REPEATキーを押して"⟲"表示を消灯させます。元のランダム再生に戻ります。

● MP3、WMA収録ディスクで、フォルダー単位のランダム再生をしているときは、そのフォルダー内でランダム再生が繰り返されます。
● グループ登録されたMDで、グループ単位のランダム再生をしているときは、そのグループ内でランダム再生が繰り返されます。

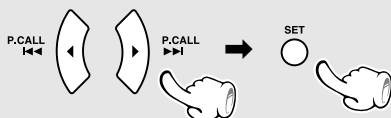
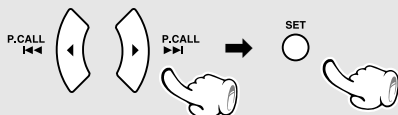
聴かない曲をCD-R/RWにスキップ登録する（SKIP TRACK） CDR

録音を失敗した曲など、再生するときに飛ばしたい曲をあらかじめディスクに書き込んでおくと、自動的に飛び越して再生（SKIP PLAY）できるようになります。

入力切り換えを"CDR"にする →31

❶ 録音可能なCD-R/RWをCDレコーダーにセットする→49

❷ 停止を確認する

❸ TRACK EDITキーを押す

❹ ⏮、⏭キーを押して"SKIP TRACK?"を選び、SETキーを押す

❺ 飛ばしたい曲を⏮、⏭キーで選択してSETキーで選択する

❻ ⏮、⏭キーで"SET?"を選択してENTERキーで確定する

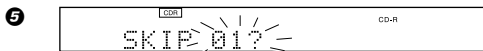
ENTER

ファイナライズ処理済ディスクには登録できません。この場合にスキップ登録操作をする"CAN'T CHANGE"と表示されます。またディスクに書き込まずに、電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、登録情報がクリアーされます。

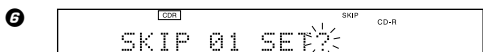
❹

⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

SKIP TRACK
ERASE
UNFINALIZE

❺

● 曲を選択したときに"SKIP"表示が点灯したときはその曲はすでにスキップ登録されている曲です。

❻

CDR SKIP CD-R
SKIP 01 SET?

● ⏮、⏭ キーを押すたびに文字表示部の"SET?"と"CLEAR?"が切り換わります。

登録内容を試聴するには

スキップ登録情報をディスクに書き込む前に、SKIP PLAYを行うことができます。"スキップ登録した曲を飛び越して再生する"→71 の手順❶～❸を行い、CDR ▶/II キーを押して再生します。

スキップ登録情報をディスクに書き込むには

CDレコーダーカバー開閉（▲）キーを押す。または I/⏻キーを押して電源オフ（スタンバイ）にする。

● 登録や解除の情報をディスクに書き込む回数はディスクごとに21回までできます。"SKIP FULL"と表示されると、それ以上は登録や解除はできません。

他の曲をスキップ登録するには

手順❷～❻を繰り返す。

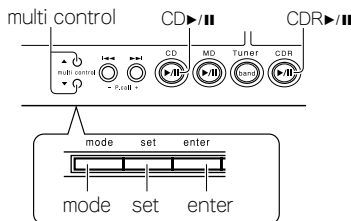
スキップ登録を解除するには

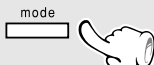
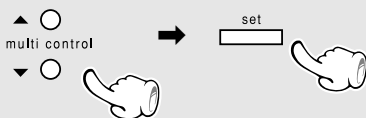
1. 手順❶～❹を行う。
2. 手順❺でスキップ登録を解除したい曲を選択する
3. 手順❻で"CLEAR?"を選択してENTERキーを押す

● 必要に応じて手順 1～3を繰り返します。

スキップ登録した曲を飛び越して再生する(SKIP PLAY) CD CDR

スキップブレイの設定をオンにすると、セットするディスクにスキップ登録がされていれば、CDプレーヤー、CDレコーダーのどちらで再生しても、自動的にスキップ再生となります。

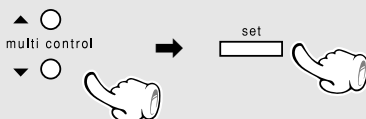
CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズ(→128)する必要があります。

入力切り換えを"CD"または"CDR"にする。→31 停止中に操作してください

❶ modeキーを押す

❷ multi contolキーを押して"SKIP PLAY?"を選び、setキーを押す

❸ multi contolキーを押して"ON"を選択してsetキーまたはenterキーで確定する

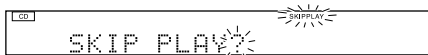
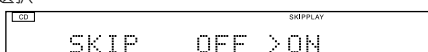
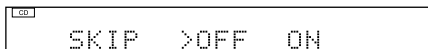
ONを選択

SKIP OFF >ON

OFFを選択

SKIP >OFF ON

❹ スキップ登録したCD-R/RWをセットする

→33 →35

❺ 再生する

スキップ再生を解除するには

1. 手順❶～❷を行う
2. 手順❸で"OFF"を選択してsetキーを押す

他のレコーダーでスキップ登録されたディスクをCDレコーダー部で再生すると、スキップ再生にならない場合があります。

応用編

便利な録音あれこれ

説明文中の CD CDR MD は、再生または録音する機器を示しています。

CD ....CDプレーヤー（オーディオCD、CD-R/RW収録曲、MP3、WMAファイルを再生）
CDR ....CDレコーダー（オーディオCD、CD-R/RW収録曲を再生／CD-R/RWに録音）
MD ....MDレコーダー

（ CD → CDR は、CDプレーヤーで録音元のディスクを再生し、CDレコーダーで録音することを示しています。）

全曲録音で録音しても、録音元のディスクの再生時間が録音側の録音可能な残り時間を超えている場合は録音可能な時間だけ録音します。

1. CDからCD-R/RWに録音する機能について CD → CDR

本機では、通常の録音の他に、CDプレーヤーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

CDの録音を簡単に早く終わらせたいときは

ワンタッチエディット倍速録音（O.T.E.）（HIGH）

全曲倍速録音（HIGH）

カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWに録音することができます。 →77

1曲倍速録音（HIGH）

そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWに録音することができます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 →79

- MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。
- HDCDやDTS CDディスクをCDレコーダーで録音するときは、通常速録音で録音してください。

CDの録音を簡単にしたいときは

ワンタッチエディット通常速録音（O.T.E.）（NORMAL）

全曲録音（NORMAL）

カンタンな操作でCDの全曲（MP3、WMA収録ディスクは全ファイル）を、CD-R/RWに録音することができます。 →81

1曲録音（NORMAL）

そのときに聴いているCDの曲（MP3、WMA収録ディスクはファイル）だけを、カンタンな操作でCD-R/RWに録音することができます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 →81

1フォルダー録音（NORMAL）

MP3、WMA収録ディスクの1フォルダー内の全ファイルを、CD-R/RWに録音することができます。 →81

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは

プログラム録音（プログラム再生（PGM）＋O.T.E.）

プログラム録音（HIGH）
プログラム録音（NORMAL）

CDをプログラムした曲順で録音します。
MP3、WMA収録ディスクでは、プログラムしたフォルダーおよびファイル順で録音できます。
CDの曲を、好きな順番にプログラムして録音するときに便利です。→83

2. CDからMDに録音する機能について CD → MD CDR → MD

本機では、通常の録音の他に、CDプレーヤーおよびCDレコーダーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

- MP3、WMA収録ディスクを録音元のディスクとして使用するときは、CDプレーヤーをお使いください。CDレコーダーからの録音はできません。
- ファイナライズ処理をしていないCD-R/RWを録音元のディスクとして使用するときは、CDレコーダーをお使いください。CDプレーヤーからの録音はできません。
- 録音元のディスクの再生にCDレコーダーを使用したときは、デジタル録音および倍速録音はできません。

CDの録音を簡単に早く終わらせたいときは（CDプレーヤーのみ）

ワンタッチエディット倍速録音（O.T.E.）（HIGH）

全曲倍速録音（HIGH）

カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。→85

1曲倍速録音（HIGH）

そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。→88

MP3、WMAファイルは倍速録音できません。

CDの録音を簡単にしたいときは（CDプレーヤー、CDレコーダー）

ワンタッチエディット通常速録音（O.T.E.）（NORMAL）

全曲録音（NORMAL）

カンタンな操作でCDの全曲（MP3、WMA収録ディスクは全ファイル（CDプレーヤーのみ））を、MDに録音することができます。→90

1曲録音（NORMAL）

そのときに聴いているCDの曲（MP3、WMA収録ディスクはファイル（CDプレーヤーのみ））だけを、カンタンな操作でMDに録音することができます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。→90

1フォルダー録音（NORMAL）

MP3、WMA収録ディスクの1フォルダー内の全ファイルを、MDに録音することができます。（CDプレーヤーのみ）→90

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは（CDプレーヤーのみ）

プログラム録音（プログラム再生（PGM）＋O.T.E.）

プログラム録音（HIGH）
プログラム録音（NORMAL）

CDをプログラムした曲順で録音します。
MP3、WMA収録ディスクでは、プログラムしたフォルダーとファイル順で録音します。
CDの曲を、好きな順番にプログラムして録音するときに便利です。 →93

3. MDからCD-R/RWに録音する機能について MD → CDR

本機では、通常の録音の他に、MDレコーダーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

倍速録音はできません。

MDをCD-R/RWに簡単に録音をしたいときは

ワンタッチエディット通常速録音（O.T.E.）

全曲録音

カンタンな操作でMDの全曲を、CD-R/RWに録音することができます。 →95

1曲録音

そのときに聴いているMDの曲だけを、カンタンな操作でCD-R/RW に録音することができます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 →95

MDグループ録音

MDの選択したグループ内の全曲をCD-R/RWに録音することができます。
気に入ったグループだけを選んで録音したいときに便利です。 →95

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは

プログラム通常速録音（プログラム再生（PGM）＋O.T.E.）

プログラム録音

MDをプログラムした曲順で録音します。
MDの曲を、好きな順番にプログラムして録音するときに便利です。 →95

4. CDからCD-R/RW、MDに同時録音する機能について

CDから、CD-R/RWとMDに簡単に早く同時録音したいときは

CD-R/RW、MD同時倍速録音（TWIN REC）（HIGH） CD → CDR MD

全曲同時倍速録音（HIGH）

CDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWとMDに同時に録音できます。 →97

1曲同時倍速録音（HIGH）

その時に聴いているCDの曲だけを、通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWとMDに同時に録音できます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 →97

MP3、WMAファイルは倍速録音できません。

CDから、CD-R/RWとMDに簡単に同時録音したいときは

CD-R/RW、MD同時録音（TWIN REC）（NORMAL） CD → CDR MD

全曲同時通常速録音（NORMAL）

CDの全曲（MP3、WMA収録ディスクは全ファイル）を、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。 →99

1曲同時通常速録音（NORMAL）

その時に聴いているCDの曲（MP3、WMA収録ディスクはファイル）だけを、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。 →99

1フォルダー同時通常速録音（NORMAL）

MP3、WMA収録ディスクの1フォルダー内の全ファイルを、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。 →99

CDの曲を選び曲順を並びかえて同時録音がしたいときは

CD-R/RW、MD同時録音（プログラム再生（PGM）＋ TWIN REC） CD → CDR MD

プログラム同時録音（HIGH）
プログラム同時録音（NORMAL）

CDをプログラムした曲順で、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。
MP3、WMA収録ディスクでは、プログラムしたフォルダーとファイル順で録音できます。
CDの曲を、好きな順番にプログラムして録音するときに便利です。 →102

"CDR WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。
録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

"MD WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ワンタッチエディット録音(O.T.E.)、同時録音(TWIN REC)について

ワンタッチエディット録音やCD-R/RW、MD同時録音では、CDプレーヤーで再生して、CDレコーダーやMDレコーダーに録音するときの録音スピードやMDレコーダーに録音するときの録音モードを設定をかえないで録音するときには、各録音操作において、"録音スピードを選ぶ"や"録音モードを選ぶ"操作を省略して録音操作をすることができます。
各設定がどのようになっているかは以下の方法で確認することができます。

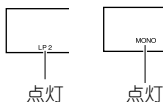
録音スピード設定の確認のしかた

"HIGH"の消灯/点灯を確認します。
"HIGH"が消灯...........通常速録音に設定
"HIGH"が点灯...........デジタル倍速録音に設定

尚、MP3、WMA収録ディスクがCDプレーヤーに入っているときには、倍速録音に設定していても、これらのディスクからは倍速録音ができないので"HIGH"は点灯しません。

- オーディオCDを倍速録音をするときには、"HIGH"が点灯していれば**"録音スピードを選ぶ"**操作をする必要はありません。
- 通常速で録音するときは、"HIGH"が消灯していれば**"録音スピードを選ぶ"**操作をする必要はありません。
- MP3、WMA収録ディスクを録音するときには、ディスク情報を読み取り自動的に通常速録音に切り換わるので**"録音スピードを選ぶ"**操作は必要ありません。

MD録音モード設定の確認のしかた

MDの停止中に録音モードの表示を確認します。
"LP(LP2、LP4)、MONO"が消灯...ステレオ録音モードに設定
"LP2"が点灯................................ステレオ2倍長時間録音モードに設定
"LP4"が点灯................................ステレオ4倍長時間録音モードに設定
"MONO"が点灯..........................モノラル録音モードに設定

MDスタンプ機能のON/OFFを確認するとき、各録音操作で録音モードを選ぶ操作が必要となります。

CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → CDR

（ワンタッチエディット全曲録音）（O.T.E.）（HIGH）

CDの全曲をCD-R/RWにカンタン操作でデジタル倍速録音することができます。（アナログでは倍速録音できません。）ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります（"デジタル録音とSCMSについて"→48）。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →49

❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる →33

● CD-R/RW をCDレコーダーに入れたときに **"CDR READING"**や**"CDR OPC"**がしばらくの間点滅表示することがあります。**"OPC処理について"** →49

2 録音スピードを選ぶ

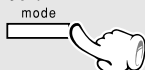
❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。

- SPEED NORMAL .... 通常速度で録音する
- SPEED HIGH .... 倍速で録音する

点灯

● O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、**"X"**が表示されます。 →29

3 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

次ページにつづく

4 録音を始める

❶ mode（モード）キーを押す

❷ multi control（マルチ コントロール）キーで"O.T.E.（ワンタッチエディット） MODE（モード）?"を選んでset（セット）キーを押す

❸ multi control（マルチ コントロール）キーで"CD→CDR HIGH（ハイ）"を選んでset（セット）キーを押すと倍速録音が始まります

❶〜❸をリモコンで操作するとき

CD→CDR O.T.E（ワンタッチエディット）キーを押す

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR HIGH（ハイ）
CD→MD HIGH（ハイ）
CD→TWIN（ツイン） HIGH（ハイ）
MD→CDR
CDR→MD

- CDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS（→48）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→52
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

"CDR WRITING（ライティング）"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→48）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音（HIGH（ハイ））を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音（NORMAL（ノーマル））で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ（ISRC: International（インターナショナル） Standard（スタンダード） Recording（レコーディング） Code（コード））をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop（ストップ）■キー、またはリモコンSTOP（ストップ）■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズ処理するには

→128

CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → CDR
(ワンタッチエディット1曲録音)(O.T.E.)(HIGH)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWにデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"→48)。MP3、WMA収録ディスクでは倍速録音できません。

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →49

❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる →33

- CD-R/RW をCD レコーダーに入れたときに "CDR READING"がしばらくの間点滅表示することがあります。"OPC 処理について" →49

2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す

押すたびに文字表示部が切り換わります。

SPEED NORMAL ...... 通常速度で録音する
SPEED HIGH .... 倍速で録音する

点灯

- O.T.E. SPEED の設定ができない場合は、"X" が表示されます。 →29

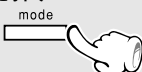
3 録音したい曲を再生する

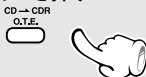
❶ CDを再生する

❷ 録音したい曲を再生する

次ページにつづく

4 録音を始める

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"CD→CDR HIGH"を選んでsetキーを押すと倍速録音が始まります

❶〜❸をリモコンで操作するとき

CD→CDR O.T.Eキーを押す

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR HIGH
CD→MD HIGH
CD→TWIN HIGH
MD→CDR
CDR→MD

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS（→48）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 →52
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

"CDR WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音（HIGH）を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音（NORMAL）で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズ処理するには

→128

CDをワンタッチで録音する CD → CDR
（ワンタッチエディット通常速録音）（O.T.E.）（NORMAL）

CDの全曲を、ワンタッチでCD-R/RWに録音することができます。（全曲録音）
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWに録音することができます。（1曲録音）
同様に、MP3、WMA収録ディスクでも全ファイルおよび再生中のファイルをCD-R/RWに録音することができます。また、選択したフォルダー内の曲のみを録音することができます。（1フォルダー録音）
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →48

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え" →52 でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。

入力切り換えを"CD"（→31）にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音
- MP3、WMA 収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ **CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる** →49

❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる** →33 →35

- CD-R/RW を CD レコーダーに入れたときに **"CDR READING"** や **"CDR OPC"** がしばらくの間点滅表示することがあります。**"OPC 処理について"** →49

2 録音スピードを選ぶ

❶ **modeキーを押す**

mode

❷ **multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す**

❸ **multi controlキーで"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す**

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順2の操作は必要ありません。手順3に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
SPEED NORMAL .... 通常速度で録音する
SPEED HIGH .... 倍速で録音する

応用編

次ページにつづく

3 CDの再生状態を確認する

全曲（全ファイル）録音するとき

再生中のときは停止させる

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは、"FOLDER"表示が消灯していることを確認してください。点灯しているときはP.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して"FOLDER"表示を消灯させてください。

選択したフォルダーのみを録音するとき（MP3、WMA収録ディスクのみ）

入力切り換えを"CD"にし、フォルダー再生モードで録音したいフォルダーを選ぶ →39

1曲（1ファイル）録音するとき

録音したい曲（ファイル）を再生する

- MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーサーチ（→37）またはフォルダーセレクト（→38）でフォルダーを選んでから、⏮、⏭キーで聴きたい曲を選択することもできます。

4 録音を始める

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"CD→CDR NORMAL"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

❶〜❸をリモコンで操作するとき

CD→CDR O.T.Eキーを押す

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR NORMAL
CD→MD NORMAL
CD→TWIN NORMAL
MD→CDR
CDR→MD

- 曲（ファイル）の途中で実行してもその曲（ファイル）の初めから録音が始まります。
- 再生するディスクによっては、SCMS（→48）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →52
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 1曲（1ファイル）録音では、1曲（1ファイル）録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲（最後のファイル）のときは停止します。

"CDR WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→48）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→128

曲順を並べ替えて録音する CD → CDR
(プログラム再生(PGM)+O.T.E.)(HIGH/NORMAL)

**CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWに倍速または通常速で録音することができます。
MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーとファイルをプログラムした順で録音することができます。(通常速録音のみ)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"→48)。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。**

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に(通常速録音のみ)

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"→52でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。また、手順2の"録音スピードを選ぶ"では"SPEED NORMAL"(通常速度で録音する)を選んでください。

DIGITAL

入力切り換えを"CD"(→31)にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音
- MP3、WMA 収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →49

❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる →33 →35

- CD-R/RW をCD レコーダーに入れたときに **"CDR READING"**がしばらくの間点滅表示することがあります。
"OPC 処理について" →49

2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

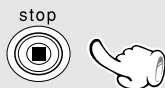
❸ multi controlキーで"SPEED NORMAL"または"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順2の操作は必要ありません。手順3に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
SPEED NORMAL ...... 通常速度で録音する
SPEED HIGH .... 倍速で録音する(デジタル録音)

- O.T.E. SPEED の設定ができない場合は、**"X"** が表示されます(→29)。この場合は手順3に進んでください。

3 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

応用編

次ページにつづく

4 CDの曲順をプログラムする

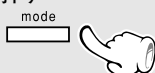
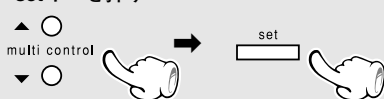
オーディオCDのプログラム

入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順❶〜❸で録音する曲をプログラムをする →60

MP3、WMA収録ディスクのフォルダープログラム

入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(MP3、WMAプログラム再生)"の手順❶〜❸で録音するフォルダーとファイルをプログラムする →62

5 録音を始める

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"CD→CDR NORMAL"または"CD→CDR HIGH"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

❶〜❸をリモコンで操作するとき

CD→CDR O.T.Eキーを押す

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

手順❷で"SPEED NORMAL"を選んだとき、またはMP3、WMA収録ディスクの録音のとき

- CD→CDR NORMAL
- CD→MD NORMAL
- CD→TWIN NORMAL
- MD→CDR
- CDR→MD

手順❷で"SPEED HIGH"を選んだとき

- CD→CDR HIGH
- CD→MD HIGH
- CD→TWIN HIGH
- MD→CDR
- CDR→MD

- プログラムの1曲目(1ファイル目)から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 再生するディスクによっては、SCMS(→48)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 →52
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

"CDR WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→48)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→128

CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → MD

（ワンタッチエディット全曲録音）（O.T.E.）（HIGH）

CDの全曲をMDにカンタン操作でデジタル倍速録音することができます。（アナログでは倍速録音できません。）
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります（"デジタル録音とSCMSについて"→48）。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる →53
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる →33

- CDレコーダーからは倍速録音はできません。
- 必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 →87

2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。

- SPEED NORMAL .... 通常速度で録音する
- SPEED HIGH .... 倍速で録音する

点灯

- O.T.E. SPEED の設定ができない場合は、"X" が表示されます。 →29

3 録音モードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❹ multi controlキーを押してMDスタンプ機能（→56）の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- 録音モードを変更しないときは手順 3 の操作は必要ありません。手順 4 に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。

- STEREO .... ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。→56

❹
押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ON ..... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
- OFF.... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

ONのとき OFF >ON　OFFのとき >OFF ON

次ページにつづく

4 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

5 録音を始める

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"CD→MD HIGH"を選んでsetキーを押すと倍速録音が始まります

❶～❸をリモコンで操作するとき

CD→MD O.T.Eキーを押す

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。

- CD→CDR HIGH
- CD→MD HIGH
- CD→TWIN HIGH
- MD→CDR
- CDR→MD

- CDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS（→48）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→57
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→48）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音（HIGH）を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音（NORMAL）で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します
（録音、再生ともに停止します。）

MDグループ登録ON/OFFを選ぶには

グループ登録をONに選んでおくと、自動的にCDの全曲が1グループとしてMDに録音されます。MD長時間録音で複数枚のCDを1枚のMDに録音するときに便利です。グループとして登録しておくと、グループタイトルをつけて、グループ再生や編集などができます。→42 →104
初期値はON（グループ登録する）に設定されています。

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"MD GROUP MAKE ?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

❷

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ON .... グループ登録をする
- OFF ... グループ登録をしない

ONのとき　GROUP　OFF >ON

OFFのとき　GROUP >OFF　ON

- グループとして登録しない場合は、"OFF" を選びます。
- グループ登録したMDを、グループ管理機能を搭載していない器機で編集（曲の移動、削除など）やタイトルの入力を行わないでください。

応用編

CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → MD

（ワンタッチエディット1曲録音）（O.T.E.）（HIGH）

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からMDにデジタル倍速録音することができます。（アナログでは倍速録音できません。）
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります（"デジタル録音とSCMSについて"→48）。MP3、WMAファイルは倍速録音できません。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる→53
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる→33

2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
- SPEED NORMAL .... 通常速度で録音する
- SPEED HIGH .... 倍速で録音する

点灯

- O.T.E. SPEED の設定ができない場合は、"X" が表示されます。→29

3 録音モードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す
"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❹ multi controlキーを押してMDスタンプ機能（→56）の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- 録音モードを変更しないときは手順 3 の操作は必要ありません。手順 4 に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
- STEREO .... ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。→56

❹
押すたびに文字表示部が切り換わります。
- ON ..... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
- OFF .... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

ONのとき　OFF >ON　OFFのとき　>OFF　ON

4 録音したい曲を再生する

❶ CDを再生する

❷ 録音したい曲を再生する

5 録音を始める

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"CD→MD HIGH"を選んでsetキーを押すと倍速録音が始まります

❶〜❸をリモコンで操作するとき

CD→MD O.T.Eキーを押す

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- CD→CDR HIGH
- CD→MD HIGH
- CD→TWIN HIGH
- MD→CDR
- CDR→MD

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS（→48）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→57
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音（HIGH）を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音（NORMAL）で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

応用編

CDをワンタッチで録音する CD → MD CDR → MD

（ワンタッチエディット通常速録音）（O.T.E.）（NORMAL）

CDの全曲を、ワンタッチでMDに録音することができます。（全曲録音）
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からMDに録音することができます。（1曲録音）
同様に、MP3、WMA収録ディスクでも全ファイルおよび再生中のファイルをMDに録音することができます（CDプレーヤーで再生するときのみ）。また、選択したフォルダー内の曲のみを録音することもできます。（1フォルダー録音）
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて"→48
CDレコーダーでは、ファイライズ処理されていないCD-R/RWからも録音することができますが、アナログ録音のみとなります。デジタル録音はCDプレーヤーで再生するときのみです。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に（録音元にCDプレーヤーを使用するときのみ）

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"→57 でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。

DIGITAL

入力切り換えを"CD"（→31）にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3、WMA収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

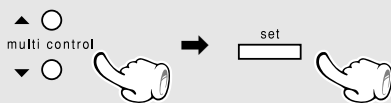
1 録音の準備をする

❶ 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる →53
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる →33 →35
CDレコーダーに録音元のディスクを入れる→33

- 全曲（全ファイル）録音のときは必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 →87
MDグループ登録"ON"では、MP3、WMA収録ディスクの選択したフォルダーのみを録音したときにはフォルダー内のファイルが1つのグループとして録音されます。

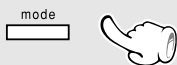
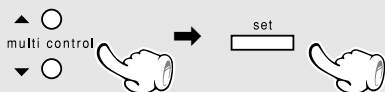
2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す

- 録音元のディスクの再生にCDレコーダーを使用するときや、MP3、WMA収録ディスクを録音するときは、手順2の操作は必要ありません。手順3に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
SPEED NORMAL .... 通常速度で録音する
SPEED HIGH .... 倍速で録音する

3 録音モードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❹ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(→56)の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- 録音モードを変更しないときは手順 3 の操作は必要ありません。手順 4 に進んでください。

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- STEREO .... ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。→56

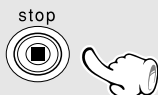
❹

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ON .... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
- OFF ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

OFF >ON	>OFF ON
ONのとき	OFFのとき

4 CDの再生状態を確認する

全曲(全ファイル)録音するとき

再生中のときは停止させる

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは、"FOLDER"表示が消灯していることを確認してください。点灯しているときはP.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して"FOLDER"表示を消灯させてください。

選択したフォルダーのみを録音するとき(MP3、WMA収録ディスクをCDプレーヤーで再生するときのみ)

入力切り換えを"CD"にし、フォルダー再生モードで録音したいフォルダーを選ぶ →39

1曲(1ファイル)録音するとき

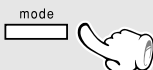
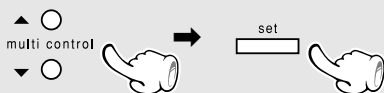
録音したい曲を再生する

- MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーサーチ(→37)またはフォルダーセレクト(→38)でフォルダーを選んでから、⏮、⏭キーで聴きたい曲(ファイル)を選択することもできます。(CDプレーヤーで再生するときのみ)

応用編

次ページにつづく

5 録音を始める

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"CD→MD NORMAL"または"CDR→MD"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

❶〜❸をリモコンで操作するとき

CD→MD O.T.E.キーを押す（CDプレーヤーからの録音時のみ）

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- CD→CDR NORMAL（CD→CDR HIGH）
- CD→MD NORMAL（CD→MD HIGH）
- CD→TWIN NORMAL（CD→TWIN HIGH）
- MD→CDR
- CDR→MD

- CDの再生にCDプレーヤーを使用するときは**"CD→MD NORMAL"**を選び、CDレコーダーを使用するときは**"CDR→MD"**を選びます。
- 曲（ファイル）の途中で実行しても、その曲（ファイル）の初めから録音が始まります。
- 再生するディスクによっては、**SCMS**（→48）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →57
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 1曲（1ファイル）録音では、1曲（1ファイル）録音が終了するとCDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→48）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

曲順を並べ替えて録音する CD → MD

(プログラム再生(PGM)+O.T.E.)(HIGH/NORMAL)

CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDに倍速または通常速で録音することができます。
MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーとファイルをプログラムした順で録音することができます。(通常速録音のみ)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"→48)。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に(通常速録音のみ)

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"→57でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。また、手順2の"録音スピードを選ぶ"では"SPEED NORMAL"(通常速度で録音する)を選んでください。

入力切り換えを"CD"(→31)にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音
- MP3、WMA収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる →53
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる →33 →35

- 必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。→87

2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す
❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す
❸ multi controlキーで"SPEED HIGH"または"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順2の操作は必要ありません。手順3に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
SPEED NORMAL ...... 通常速度で録音する
SPEED HIGH .... 倍速で録音する(デジタル録音)
- O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、**"X"**が表示されます(→29)。この場合は手順3に進んでください。

3 録音モードを選ぶ

❶ modeキーを押す
❷ multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す
❸ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す
"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ
❹ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(→56)の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- 録音モードを変更しないときは手順3の操作は必要ありません。手順4に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
STEREO .... ステレオ録音モード
LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
MONO .... モノラル録音モード
- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、**"STEREO"**または**"MONO"**で録音してください。→56

❹
押すたびに文字表示部が切り換わります。
ON ..... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
OFF .... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

ONのとき OFF >ON　OFFのとき >OFF ON

次ページにつづく

応用編

4 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

stop

5 CDの曲順をプログラムする

オーディオCDのプログラム

入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順❶〜❸で録音する曲をプログラムする →60

MP3、WMA収録ディスクのフォルダープログラム

入力切り換えを"CD"にし、"曲順を並べ替えて聴く(MP3、WMAプログラム再生)"の手順❶〜❸で録音するフォルダーとファイルのプログラムをする →62

6 録音を始める

❶ mode(モード)キーを押す
❷ multi control(マルチ コントロール)キーで"O.T.E.(ワンタッチエディット) MODE(モード)?"を選んでset(セット)キーを押す
❸ multi control(マルチ コントロール)キーで"CD→MD NORMAL(ノーマル)"または"CD→MD HIGH(ハイ)"を選んでset(セット)キーを押すと録音が始まります

❶〜❸をリモコンで操作するとき

CD→MD O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH(ハイ))を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL(ノーマル))で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International(インターナショナル) Standard(スタンダード) Recording(レコーディング) Code(コード))をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop(ストップ)■キー、またはリモコンSTOP(ストップ)■キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

手順❷で"SPEED(スピード) NORMAL(ノーマル)"を選んだとき、またはMP3、WMA収録ディスクの録音のとき	手順❷で"SPEED(スピード) HIGH(ハイ)"を選んだとき
CD→CDR NORMAL	CD→CDR HIGH
CD→MD NORMAL	CD→MD HIGH
CD→TWIN NORMAL	CD→TWIN HIGH
MD→CDR	MD→CDR
CDR→MD	CDR→MD

- プログラムの1曲目(1ファイル目)から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 倍速録音では、曲と曲の間で約10秒間の録音一時停止となりますが異状ではありません。
- 再生するディスクによっては、SCMS(→48)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 →57
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

"MD WRITING(ライティング)"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→48)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

MDをワンタッチで録音する MD →CDR

（ワンタッチエディット通常速録音）（O.T.E.）/（プログラム再生（PGM）+O.T.E.）

MDの全曲を、ワンタッチでCD-R/RWに録音することができます。（全曲録音）
MDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWに録音することができます。（1曲録音）
選択したMDグループ内の全曲を録音することができます。（MDグループ録音）
MDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWに録音することができます。（プログラム録音）

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ CDRレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →49

❷ MD レコーダーに録音元のミニディスクを入れる →40

- 通常速度、アナログ録音で録音します。
- デジタル録音はできません。デジタル録音を選択（"DIGITAL"表示点灯）しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

2 MDの再生状態を確認する

全曲録音するとき

再生中のときは停止させる

1曲録音するとき

録音したい曲を再生する

グループ内の全曲を録音するとき

入力切り換えを"MD"にし、再生を停止してからグループ再生モードの手順❶、❷で録音するグループを選ぶ →42

プログラムした曲を録音するとき

入力切り換えを"MD"にし、"曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順1～3で録音する曲をプログラムする →60

応用編

次ページにつづく

3 録音を始める

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"MD→CDR"を選んでsetキーを押すと録音が始まります

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。

CD→CDR NORMAL（CD→CDR HIGH）
CD→MD NORMAL（CD→MD HIGH）
CD→TWIN NORMAL（CD→TWIN HIGH）
MD→CDR
CDR→MD

- 曲の途中で実行しても、その曲の初めから録音が始まります。
- 1曲録音では、録音が終了するとMDの再生は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。
- 録音中に再生または録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

"CDR WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズ処理するには

→128

CD-R/RWとMDに同時倍速録音する CD → CDR MD

(TWIN REC)(HIGH)

CDの全曲を、CD-R/RWとMDに同時に、デジタル倍速録音することができます。(全曲同時倍速録音)
今聴いているCDの曲だけを、曲の最初からCD-R/RWとMDに同時に、デジタル倍速録音することができます。(1曲同時倍速録音)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります("デジタル録音とSCMSについて"→48)。MP3、WMAファイルは倍速録音できません。

CDレコーダー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ CDR : CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →49
MD : 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる →53
❷ CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる →33

❶
- CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに"CDR READING"や"CDR OPC"がしばらくの間点滅表示することがあります。"OPC処理について" →49
- 必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 →87

2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"SPEED HIGH"を選んでsetキーを押す

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
- SPEED NORMAL .... 通常速度で録音する
- SPEED HIGH .... 倍速で録音する

点灯

- O.T.E. SPEED の設定ができない場合は、"X" が表示されます。 →29

3 MDの録音モードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❹ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(→56)の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- MDの録音モードを変更しないときは手順3の操作は必要ありません。手順 4 に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
- STEREO .... ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。→56

❹
押すたびに文字表示部が切り換わります。
- ON ..... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
- OFF .... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

ONのとき OFF >ON　OFFのとき >OFF ON

次ページにつづく

4 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき

再生中のときは停止させる

1曲録音するとき

録音したい曲を再生する

5 録音を始める

❶ modeキーを押す
❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す
❸ multi controlキーで"CD→TWIN HIGH"を選んでsetキーを押すと同時録音が始まります

❶〜❸をリモコンで操作するとき

TWIN RECキーを押す

録音元のディスクにSCMS（→48）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合：
CDRのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音（HIGH）を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音（NORMAL）で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- CD→CDR HIGH
- CD→MD HIGH
- CD→TWIN HIGH
- MD→CDR
- CDR→MD

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- MDとCD-R/RWそれぞれに録音可能な残り時間がない場合、"DISC FULL"と表示され、録音しません。
- 1曲録音では、1曲録音が終了するとCDは一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。
- CDの再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによってはSCMS（→48）により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常録音で録音してください。 →52 →57

"CDR WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

"MD WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→128

CD-R/RWとMDに同時通常速録音する CD → CDR MD
(TWIN REC)(NORMAL)

CDの全曲を、ワンタッチでCD-R/RWとMDに同時に録音することができます。(全曲同時録音)
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からCD-R/RWとMDに同時に録音することができます。(1曲同時録音)
同様に、MP3、WMA収録ディスクでも全ファイルの録音および再生中のファイルを録音することができます。また、選択したフォルダー内の曲のみを録音することができます。(1フォルダー録音)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて"→48

CDレコーダー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

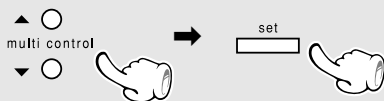
デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"→52→57でアナログ録音に切り換えたあと、手順❶から設定を始めてください。

入力切り換えを"CD"(→31)にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音
- MP3、WMA 収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ CDR : CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →49
MD : 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる →53
❷ CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる →33→35

❶
- CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに**"CDR READING"**や**"CDR OPC"**がしばらくの間点滅表示することがあります。**"OPC処理について"** →49
- 全曲(全ファイル)録音のときは必要に応じて、MDグループ登録のON/OFFを切り換えます。 →87
MDグループ登録"ON"では、MP3、WMA 収録ディスクの選択したフォルダーのみを録音したときにはフォルダー内のファイルが1つのグループとして登録されます。

2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. SPEED?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"SPEED NORMAL"を選んでsetキーを押す

- MP3、WMA 収録ディスクを録音するときは手順❷の操作は必要ありません。手順❸に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。
SPEED NORMAL .... 通常速度で録音する
SPEED HIGH .... 倍速で録音する

次ページにつづく

3 MDの録音モードを選ぶ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"MD REC MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す

"STEREO"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❹ multi controlキーを押してMDスタンプ機能(→56)の"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- MDの録音モードを変更しないときは手順3の操作は必要ありません。手順4に進んでください。

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- STEREO .... ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。→56

❹

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- ON .... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
- OFF ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

ONのとき　OFF >ON　　OFFのとき　>OFF　ON

4 CDの再生状態を確認する

全曲(全ファイル)録音するとき

再生中のときは停止させる

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは、"FOLDER"表示が消灯していることを確認してください。点灯しているときはP.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して"FOLDER"表示を消灯させてください。

選択したフォルダーのみを録音するとき(MP3、WMA収録ディスクのみ)

入力切り換えを"CD"にして、フォルダー再生モードで録音したいフォルダーを選ぶ →39

1曲(1ファイル)録音するとき

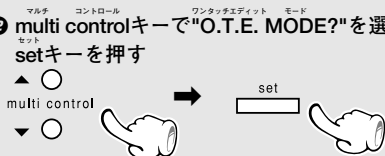
録音したい曲を再生する

- MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーサーチ(→37)またはフォルダーセレクト(→38)でフォルダーを選んでから、⏮、⏭キーで聴きたい曲(ファイル)を選択することもできます。

応用編

5 録音を始める

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す

❸ multi controlキーで"CD→TWIN NORMAL"を選んでsetキーを押すと同時録音が始まります

❶～❸をリモコンで操作するとき

TWIN RECキーを押す

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

- CD→CDR NORMAL
- CD→MD NORMAL
- CD→TWIN NORMAL
- MD→CDR
- CDR→MD

- 曲（ファイル）の途中で実行してもその曲（ファイル）の初めから録音が始まります。
- MDとCD-R/RWそれぞれに録音可能な残り時間がない場合、"DISC FULL"と表示され、録音しません。
- 再生するディスクによってはSCMS（→48）により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →52 →57
- 1曲（1ファイル）録音では、1曲（1ファイル）録音が終了するとCDは一時停止状態になり、最終曲（最後のファイル）のときは停止します。
- CDの再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。

"CDR WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

"MD WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音元のディスクにSCMS（→48）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合：
CDRのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→128

曲順を並べ替えて同時録音する CD → CDR MD

（プログラム再生（PGM）＋ TWIN REC）（HIGH/NORMAL）

CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWとMDに同時に倍速または通常速で録音することができます。MP3、WMA収録ディスクでは、フォルダーとファイルをプログラムした順で録音することができます。（通常速録音のみ）ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります（"デジタル録音とSCMSについて"→48）。MP3、WMA収録ディスクは倍速録音できません。

CDレコーダー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に（通常録音のみ）

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは"デジタル録音、アナログ録音の切り換え"→52→57 でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。また、手順2の"録音スピードを選ぶ"では"SPEED NORMAL"（通常速度で録音する）を選んでください。

入力切り換えを"CD"（→31）にして、録音するディスクをCDプレーヤーに入れると、現在設定されている状態が表示されます。

"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3、WMA 収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ CDR：CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →49
　MD　：録音用MDをミニディスク挿入口に入れる →53
❷ CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる →33→35

❶
- CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに**"CDR READING"**や**"CDR OPC"**がしばらくの間点滅していることがあります。**"OPC処理について"** →49

2 録音スピードを選ぶ

❶ modeキーを押す
❷ multi controlキーで**"O.T.E. SPEED?"**を選んでsetキーを押す
❸ multi controlキーで**"SPEED HIGH"**または**"SPEED NORMAL"**を選んでsetキーを押す

- MP3、WMA収録ディスクを録音するときは手順2の操作は必要ありません。手順3に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。

SPEED NORMAL ...... 通常速度で録音する
SPEED HIGH .... 倍速で録音する（デジタル録音）

- O.T.E. SPEEDの設定ができない場合は、**"X"**が表示されます（→29）。この場合は手順3に進んでください。

3 MDの録音モードを選ぶ

❶ modeキーを押す
❷ multi controlキーで**"MD REC MODE?"**を選んでsetキーを押す
❸ multi controlキーで録音したいモードを選び、setキーを押す
　"STEREO"または**"MONO"**を選択したときは手順4へ
　"LP2"または**"LP4"**を選択したときは手順❹へ
❹ multi controlキーを押してMDスタンプ機能（→56）の**"ON"**または**"OFF"**を選び、setキーを押す

- MDの録音モードを変更しないときは手順3の操作は必要ありません。手順4に進んでください。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。

STEREO .... ステレオ録音モード
LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、**"STEREO"**または**"MONO"**で録音してください。 →56

❹
押すたびに文字表示部が切り換わります。

ON ..... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
OFF .... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

ONのとき　OFF >ON　OFFのとき　>OFF　ON

応用編

4 CDの再生状態を確認する

再生中のときは停止させる

5 CDの曲順をプログラムする

オーディオCDのプログラム

入力切り換えを"CD"にして、"曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順❶～❸で録音する曲をプログラムする →60

MP3、WMA収録ディスクのフォルダープログラム

入力切り換えを"CD"にして、"曲順を並べ替えて聴く（MP3、WMAプログラム再生）"の手順❶～❸で録音するフォルダーとファイルをプログラムする →62

6 録音を始める

❶ modeキーを押す
❷ multi controlキーで"O.T.E. MODE?"を選んでsetキーを押す
❸ multi controlキーで"CD→TWIN NORMAL"または"CD→TWIN HIGH "を選んでsetキーを押すと同時録音が始まります

❶～❸をリモコンで操作するとき

TWIN RECキーを押す

録音元のディスクにSCMS（→48）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合：
CDRのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音（HIGH）を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 74MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音（NORMAL）で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体stop■キー、またはリモコンSTOP■キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

❸

押すたびに文字表示部が切り換わります。

手順❷で"SPEED NORMAL"を選んだとき、またはMP3、WMA収録ディスクを録音するとき	手順❷で"SPEED HIGH"を選んだとき
CD→CDR NORMAL	CD→CDR HIGH
CD→MD NORMAL	CD→MD HIGH
CD→TWIN NORMAL	CD→TWIN HIGH
MD→CDR	MD→CDR
CDR→MD	CDR→MD

- プログラムの1曲目（1ファイル目）から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- MDとCD-R/RWそれぞれに録音可能な残り時間がないと、"DISC FULL"と表示され、録音しません。
- 倍速録音では、曲と曲の間で約10秒間の録音一時停止となりますが異状ではありません。
- 再生するディスクによっては、SCMS（→48）により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 →52 →57
- CDの再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。

"CDR WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

"MD WRITING"または"TWIN WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→128

MDの編集機能

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。

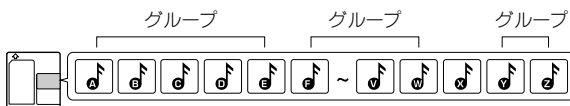
MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をしたときに、情報をディスクに書き込みます。編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MDレコーダー部（MD規格上の症状）"をご確認ください。 →145

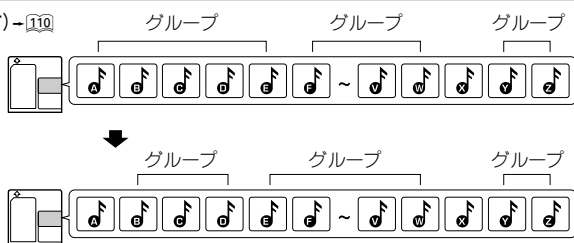
MDの編集機能には大きく分けて、グループ編集機能および通常のトラック編集機能の2つがあります。

グループ編集機能

グループを登録する（GROUP START） →106

- 1曲または連続した曲番号の曲をグループとして登録することができます。（最大99グループ）

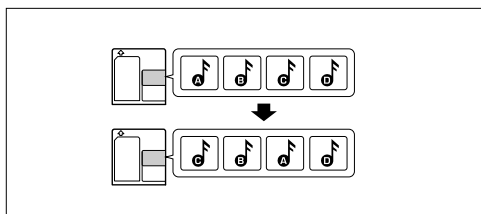
グループ登録を解除する（GROUP CANCEL） →108

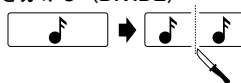
- 登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

グループエディット（GROUP EDIT） →110

- グループ登録した曲の範囲を変更することができます。

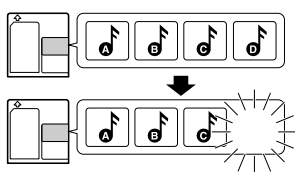
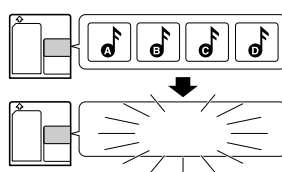
- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- グループ登録済の曲を他のグループに登録しなおすときは、次のいずれかの操作で、その曲をいったんグループ登録されていない状態に戻してください。
  GROUP CANCELでグループを解除する →108
  GROUP EDITでグループの範囲を変更する →110
- グループ登録したい曲が連続していない場合、MOVE機能で曲を移動してからグループ登録してください。曲を移動する（MOVE） →112

トラック編集機能

曲を移動する（MOVE） →112

曲の分割と結合

曲を分ける（DIVIDE） →114

曲をつなぐ（COMBINE） →116

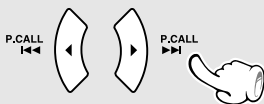
曲の消去

1曲ずつ消す（ERASE） →118 →119

MD内の曲を全て消す（ALL ERASE） →119

編集した内容を取り消す（CANCEL）

→120

グループを登録する（GROUP START）（リモコンのみ）

1曲または連続した曲番号の曲をグループとして登録することができます。（最大99グループ）

入力切り換えを"MD"にする。→31　*停止中に操作してください。*

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

1 グループ編集モードを選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ |◀◀、▶▶|キーを押して"GROUP?"を選ぶ。

❸ SETキーを押す。

❶

- **"PGM"**および**"📁"**表示が点灯しているときは編集できません。**P.MODE/CHARAC.**キーを繰り返し押して消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷

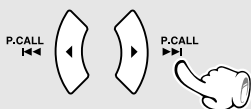
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

→ TRACK
GROUP
→ CANCEL

2 "GROUP START"を選ぶ

❶ |◀◀、▶▶|キーを押して"GROUP START"を選ぶ

❷ SETキーを押す

❶

|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

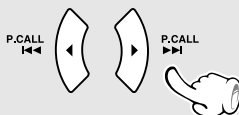
→ GROUP START
GROUP CANCEL
→ GROUP EDIT

- 全ての曲がグループ登録されているときには、**"GROUP START X"** と表示されます。

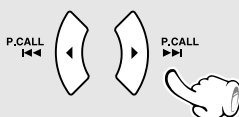
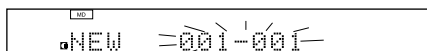
次ページにつづく

3 グループ登録したい曲を選ぶ

❶ |◀◀、▶▶|キーでグループ登録したい最初の曲番号を選ぶ

❷ SET(セット)キーを押す

❸ |◀◀、▶▶|キーでグループ登録したい最後の曲番号を選ぶ

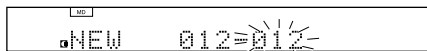
❹ SET(セット)キーを押す

❶

MD
NEW 001-001

最初の曲番号の位置

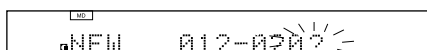
● すでにグループに登録している曲は選べません。

❷

最初の曲番号（例012）

❸

最後の曲番号（例020）

● 1曲のみでグループ登録するときには、最後の曲番号を最初の曲番号と同じ番号にして手順❹のSET(セット)キーを押します。

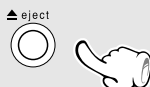
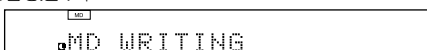
❹

4 グループの登録を実行する

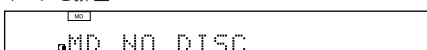
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→ 120

実行後の表示

EDIT NOW(エディット ナウ)	：	編集中
COMPLETE(コンプリート)	：	編集完了
CAN'T EDIT(キャント エディット)	：	編集不可能

5 ミニディスクを取り出す

情報を書き込み中

MD
MD WRITING

ミニディスクを排出

"MD WRITING(ライティング)"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

グループを解除する(GROUP CANCEL)(リモコンのみ)

登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

入力切り換えを"MD"にする。→31　停止中に操作してください。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

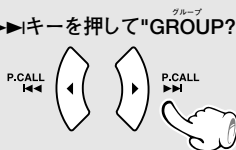
1 グループ編集モードを選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

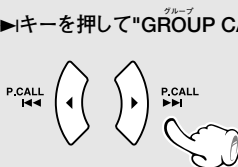
❷ ⏮、⏭キーを押して"GROUP?"を選ぶ。

❸ SETキーを押す。

❶
- "PGM"および"📁"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

TRACK
GROUP
CANCEL

2 "GROUP CANCEL"を選ぶ

❶ ⏮、⏭キーを押して"GROUP CANCEL"を選ぶ

❷ SETキーを押す

❶
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

GROUP START
GROUP CANCEL
GROUP EDIT

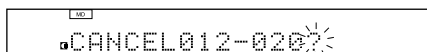
3 解除したいグループを選ぶ

❶ ⏮、⏭キーを押して解除したいグループを選ぶ

❷ SETキーを押す

❶

⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

CANCEL ALL .... 全てのグループを解除
CANCEL 012-020 .... 最初のグループ例
CANCEL 021-058 .... 次のグループ例
⋮

❷

MD
CANCEL012-020?

4 グループの解除を実行する

実行後の表示

EDIT NOW	：	編集中
COMPLETE	：	編集完了
CAN'T EDIT	：	編集不可能

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→120

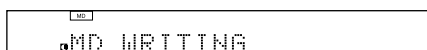
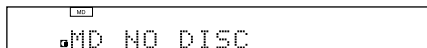
5 ミニディスクを取り出す

情報を書き込み中

MD
MD WRITING

ミニディスクを排出

⬇

MD
MD NO DISC

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

グループの範囲を変更する(GROUP EDIT)(リモコンのみ)

グループ登録した曲の範囲を変更することができます。

入力切り換えを"MD"にする。→31　停止中に操作してください。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

1 グループ編集モードを選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ ⏮、⏭キーを押して"GROUP?"を選ぶ。

❸ SETキーを押す。

❶
- "PGM"および"📁"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

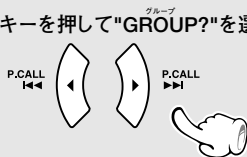
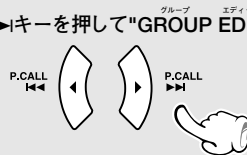
→ TRACK
GROUP
→ CANCEL

2 "GROUP EDIT"を選ぶ

❶ ⏮、⏭キーを押して"GROUP EDIT?"を選ぶ

❷ SETキーを押す

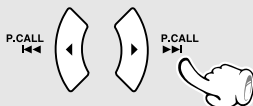
❶
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

→ GROUP START
GROUP CANCEL
→ GROUP EDIT

3 曲の範囲を変更する

例：曲番号12〜20 に登録されているグループを曲番号3〜18の登録に変更する。この変更を行うと、曲番号19と20はどのグループにも登録されていない状態になります。

❶ |◀◀、▶▶|キーを押して変更したいグループを選ぶ

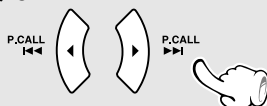
❶
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。
EDIT 012-020 .... 最初のグループ例
EDIT 021-058 .... 次ぎのグループ例
⋮

❷ SET（セット）キーを押す

❸ |◀◀、▶▶|キーを押してグループの最初の曲番号を変更する

❸ EDIT 003-020

"012"から"003"に変更

- 最初の曲番号を変更しないときは、|◀◀、▶▶|キー操作を行わないで手順❹のSET（セット）キーを押します。
- 他のグループに登録している曲は選べません。

❹ SET（セット）キーを押す

❺ |◀◀、▶▶|キーを押してグループの最後の曲番号を変更する

❺ EDIT 003-018

"020"から"018"に変更

- 最後の曲番号を変更しないときは、|◀◀、▶▶|キー操作を行わないで手順❻のSET（セット）キーを押します。
- 他のグループに登録している曲は選べません。

❻ SET（セット）キーを押す

❻ EDIT 003-018?

4 範囲の変更を実行する

実行後の表示

EDIT NOW（エディット ナウ）	：	編集中
COMPLETE（コンプリート）	：	編集完了
CAN'T EDIT（キャント エディット）	：	編集不可能

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 → 120

5 ミニディスクを取り出す

情報を書き込み中

MD WRITING

⬇

ミニディスクを排出

MD NO DISC

"MD WRITING（ライティング）"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を移動する(MOVE)

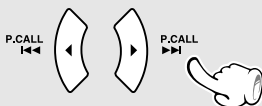
再生中の曲を、お好みの位置へ移動(挿入)することができます。移動が終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。停止中に曲を移動することもできます。→113
MOVEを繰り返し行うと、全曲をお好みの曲順に並べ替えることができます。

入力切り換えを"MD"にする。→31

1 移動したい曲を再生する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

2 "MOVE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ |◀◀、▶▶|キーを押して"MOVE?"を選ぶ

❸ SETキーを押す

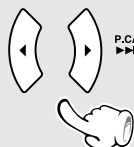
❶
- 移動したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

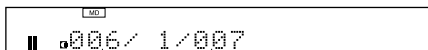
❷
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

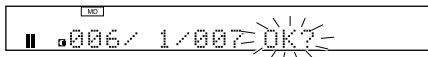
DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

MD
MOVE?

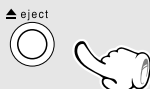
3 移動先を選ぶ

❶ 曲(トラック番号)を選ぶ

❷ SETキーを押す

❶
トラックNo.6とNo.7の間に移動する例

移動先のトラック番号

- 上図の場合、移動曲のトラック番号は次のようになります。
  No.1～No.5のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は"006"にかわります。
  No.8以降のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は"007"にかわります。

4 曲の移動をする

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →120

5 ミニディスクを取り出す

実行後の表示

EDIT NOW	:	編集中
COMPLETE	:	編集完了
CAN'T EDIT	:	編集不可能

- グループについて
  曲をあるグループ内の曲と曲の間に移動したときには、移動した曲はそのグループの曲となります。グループの前後に移動したときには、移動先の1つ前の曲と同じグループになります。1つ前の曲がどのグループにも登録されていないときは、移動した曲もどのグループにも登録されません。

情報を書き込み中

MD WRITING

ミニディスクを排出

MD NO DISC

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を移動するイメージ

移動する曲を選ぶ

移動先を選ぶ

曲順の入れ替えが完了する
(トラック番号が調整される)

停止中に曲を移動する

1. TRACK EDITキーを押す
2. |◀◀、▶▶|キーで"TRACK?"、"GROUP?"、"CANCEL?"から"TRACK?"を選ぶ
3. SETキーを押す
4. |◀◀、▶▶|キーで"MOVE?"、"ERASE?"から"MOVE?"を選ぶ
5. SETキーを押す
6. |◀◀、▶▶|キーで移動する曲を選ぶ

   002 MOVE?

7. SETキーを押す
8. |◀◀、▶▶|キーで移動先を選ぶ
   トラックNo.6とNo.7に移動する例

   006/ 1/007

9. SETキーを押す

   006/ 1/007 OK?

10. ENTERキーを押して曲の移動をする
11. ミニディスクを取り出す

応用編

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。
プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

入力切り換えを"MD"にする。→31

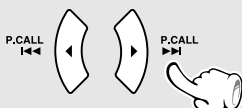
1 分割したい曲を再生する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

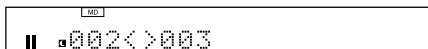
❶ TRACK EDITキーを押す

❷ |◀◀、▶▶|キーを押して"DIVIDE?"を選ぶ

❸ SETキーを押す

❶
- 分割したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

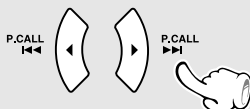
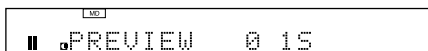
❸
MD
II 002<>003

一時停止中のトラック番号　分割でできる新しいトラック番号

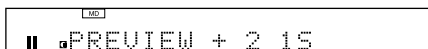
3 プレビューをするとき

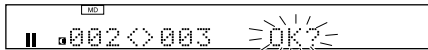
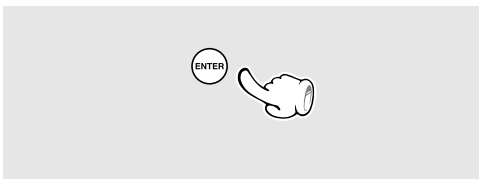
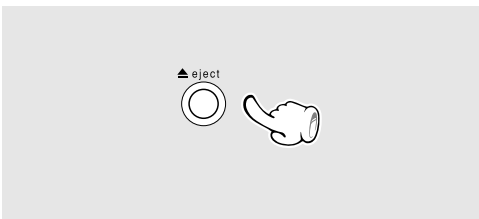
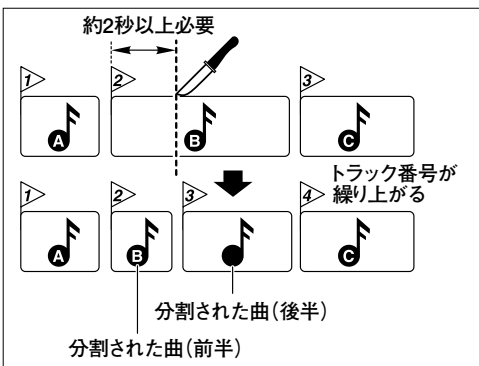
❶ プレビューの実行

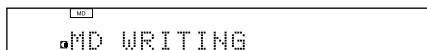
❷ 分割の微調整をする

❸ 分割点を確定する

❶
MD
II PREVIEW 0 1S

- 分割点から約3秒が繰り返し再生されます。

❷
MD
II PREVIEW + 2 1S

- 分割点の微調整は、TRACK EDITキーを押した所を0として、60ms(6/100秒)単位で−31〜+31ステップ(約4秒の範囲)で可能です。

❸
MD
II 002<>003 OK?

4 曲の分割を実行する

手順1～4を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。
→120

実行後の表示
EDIT NOW（エディット ナウ）　：　編集中
COMPLETE（コンプリート）　：　編集完了
CAN'T EDIT（キャント エディット）　：　編集不可能

- 分割してできた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- グループについて
  グループ登録している曲を分割したときには、分割してできた曲はそのグループの曲となります。グループ登録されていない曲を分割したときには、分割してできた曲はどのグループにも登録されません。

5 ミニディスクを取り出す

情報を書き込み中

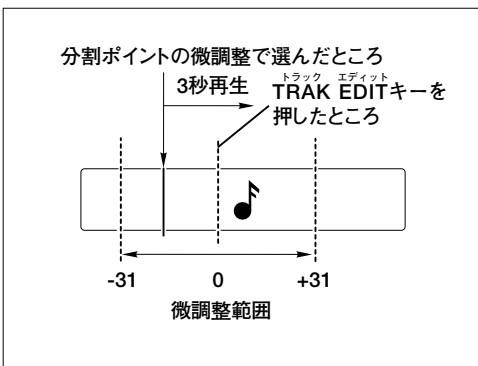
MD WRITING

ミニディスクを排出

MD NO DISC

"MD WRITING"（ライティング）点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を分割するイメージ

プレビュー再生のイメージ

曲をつなぐ(COMBINE)

二つの曲をつないで一つの曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

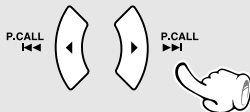
異なる録音モードの二つの曲はつなぐことができません。(例:“LP4”+“LP2”等)

入力切り換えを"MD"にする。→31

1 つなぎたい曲を再生する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

- "PGM"または"📁"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。
- 例えばトラック番号2の後にトラック番号5の曲をつなぐ場合、トラック番号2の曲を再生します。

2 "COMBINE"を選ぶ

❶ TRACK EDIT キーを押す

❷ |◀◀、▶▶|キーを押して"COMBINE?"を選ぶ

❸ SETキーを押す

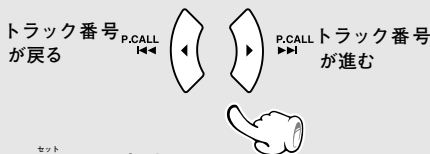
❶
- つなぎたい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

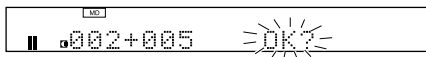
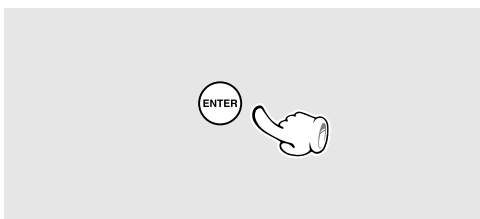
❷
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

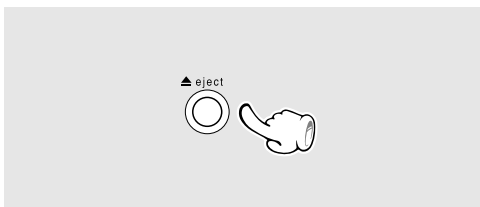
❸

3 つなぐ曲を選ぶ

❶ 曲(トラック番号)を選ぶ

❷ SETキーを押す

❷ 2曲目と5曲目をつなぐ場合

4 曲と曲の結合を実行する

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→120

5 ミニディスクを取り出す

実行後の表示

EDIT NOW	：	編集中
COMPLETE	：	編集完了
CAN'T EDIT	：	編集不可能

- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。"MDレコーダー部（MD規格上の症状）"→145
- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- グループについて
  手順1で再生した曲がグループ登録している曲のときは、結合してできた曲もそのグループの曲となります。手順1で再生した曲がグループ登録していないときには、結合してできた曲はどのグループにも登録されません。

情報を書き込み中

MD WRITING

ミニディスクを排出

MD NO DISC

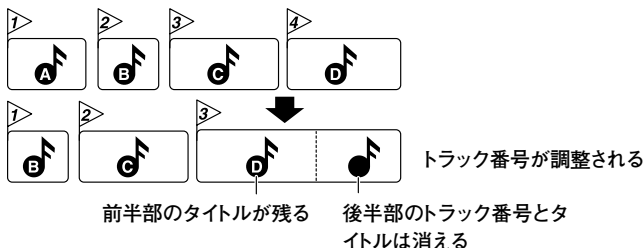
"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合

トラック番号が調整される

前半部のタイトルが残る

後半部のトラック番号とタイトルは消える

1曲またはミニディスクの全曲を消す(ERASE)

消したい曲を選び、その1曲のみを消すことやディスクの全曲を消す(→119)ことができます。
1曲を消すときは、消す曲を再生して確認して消す、または消す曲のトラック番号選んで消す(→119)、の2つの方法があります。1曲を消したときは、その曲以降のトラック番号は調整されます。

入力切り換えを"MD"にする。→31

再生して確認し1曲ずつ消す

1 消したい曲を再生する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

2 "ERASE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ |◀◀、▶▶|キーを押して"ERASE?"を選ぶ

❸ SETキーを押す

❶
- 消したい曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。
- 編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

❸

消去するトラック番号

3 消去を実行する

ENTER

実行後の表示

EDIT NOW	:	編集中
COMPLETE	:	編集完了
CAN'T EDIT	:	編集不可能

- グループについて
  消去後にグループ内に曲がなくなったときは、そのグループも消去されます。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →120

5 ミニディスクを取り出す

情報を書き込み中

MD WRITING

ミニディスクを排出

MD NO DISC

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの全曲またはトラック番号を選んで1曲を消す

1 停止中を確認する

2 "ERASE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ |◀◀、▶▶|キーを押して"TRACK?"を選ぶ

❸ |◀◀、▶▶|キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す

3 消したい曲を選び消去する

❶ |◀◀、▶▶|キーを押して消したい曲を選ぶ

❷ SETキーを押す

4 消去を実行する

♫ ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。→120

5 ミニディスクを取り出す

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

❶
- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

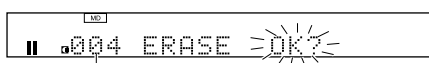
TRACK
GROUP
CANCEL

❸
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

MOVE
ERASE

❶
|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

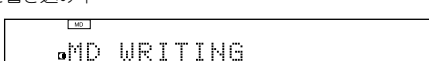
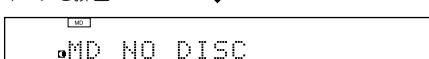
ALL ERASE .... ミニディスクの全曲を消去
001 ERASE 1トラック目を消去
002 ERASE 2トラック目を消去
⋮

❷

消去するトラック番号

実行後の表示

EDIT NOW	:	編集中
COMPLETE	:	編集完了
CAN'T EDIT	:	編集不可能

- グループについて
  消去後にグループ内に曲がなくなったときは、そのグループも消去されます。

情報を書き込み中

MD
MD WRITING

ミニディスクを排出

MD
MD NO DISC

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

応用編

編集した内容を取り消す(CANCEL)

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万一、編集後にミニディスクを取り出したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。

入力切り換えを"MD"にする。→31 停止中に操作してください。

停止中に

❶ TRACK EDITキーを押す

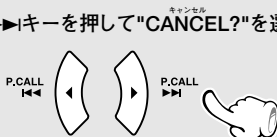
❷ |◀◀、▶▶|キーを押して"CANCEL?"を選ぶ

❸ SETキーを押す

❹ 編集を取り消す

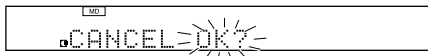
❷

|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

TRACK
GROUP
CANCEL

- "CANCEL X"が表示された場合は、それまで行われた編集を取り消すことができません。
  "CANCEL"できない場合としては、①編集後MDを取り出した後の場合や、録音操作した場合②"UTOC ERROR"(→150)が表示された後に編集した場合などです。

❸

MD
CANCEL OK?

❹

- 取り消し実行中は"CANCEL NOW"、完了すると"COMPLETE"と表示されます。

CD-R/RW、MDのタイトル編集機能

CD-R/RW、MDにディスクタイトル、グループタイトル(MDのみ)および曲のタイトル(名前)をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。よく使うタイトル名を登録したり(→126)、タイトル名をコピーして使用(→127)することもできます。
タイトルは英、数、記号およびカタカナ(MDのみ)を入力することができます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のタイトル表示可能なCDレコーダー(プレーヤー)、MDレコーダー(プレーヤー)でも表示できます。(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の制限があります)

CD-Rはいったんファイナライズすると、タイトルの追加、変更、削除はできません。CD-RWはアンファイナライズすることでこれらが可能になります。
MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をしたときに、情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後は必ずミニディスクを取り出してください。

ディスク、グループおよび曲にタイトルをつける(リモコンのみ)

入力したタイトルは、同じ手順で変更や削除することができます。

途中でやめるときは、もう一度TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押します。

入力できる文字数について

CDレコーダーでは、ディスクタイトルは最大23文字、1曲につき最大23文字まで入力できます。(英、数、記号のみでカタカナは使用できません)
MDレコーダーでは、ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
- スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
- タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR/DELETE(クリアー/デリート)キー)をご利用ください。

入力切り換えを編集に応じて"CDR"または"MD"にする。→31

1 タイトル入力状態にする

CD-R/RWにタイトルを入力するときは、ファイナライズしていないCD-R/RWを使用してください。
ファイナライズしたCD-RWは、アンファイナライズすることによりタイトルをつけることができます。→129

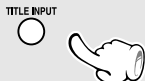
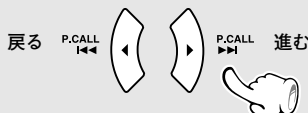
ディスクや曲にタイトルをつけるには

❶ タイトルを入力するMDまたはCD-R/RWをセットする

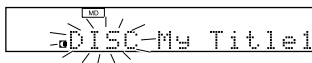
❷ "PGM(プログラム)"および"□"が消えていることを確認する

❸ TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押す

❹ 編集するタイトルを選ぶ

❺ SET(セット)キーを押す

❶
- CD-R/RWはCDレコーダーにセットしてください。

❷
点灯しているときは、P.MODE/CHARAC.(プレイモード/キャラクター)キーを繰り返し押して"PGM(プログラム)"および"□"を消灯させます。

❸
MD
DISC My Title1

❹
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DISC(ディスク) ディスクタイトル*1
001, 002 (01,02) トラックタイトル*2
[1], [2], [3] タイトルメモ*3

*1 停止中に手順❸を行うと、ディスクタイトルから表示が始まります。
*2 ⏮、⏭キーを押すたびに"001(01)"、"002(02)"・・・とトラックタイトルが順番に表示されます。再生中に手順❸を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。
*3 ⏮、⏭キーを押すたびに[1]、[2]、[3]の順で点滅します。
- タイトルをつけていないときは、"・・・・・・"と表示されます。

次ページにつづく

応用編

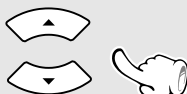
グループやグループ内の曲にタイトルをつけるには(MDのみ)

❶ グループタイトルを入力するMDをセットする

❶
● グループ登録されているMDをセットします。

❷ 停止中にP.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して"🗀"(MDグループ)を点灯する

❸ ▲、▼キーを押してタイトルをつけるグループタイトルを選ぶ

前のグループに戻る

次のグループに進む

● ▲キーを押すと、前のグループに戻ります。
● ▼キーを押すと、次のグループに進みます。
● 本体のmulti controlキーでも操作できます。

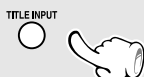
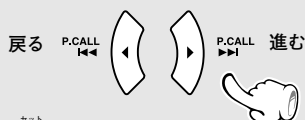
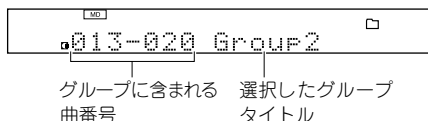
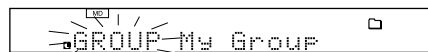
❸

● 選択したグループにタイトルがつけられていないときは"GROUP・・"(・・は2桁の数字)と表示します。

❹ TITLE INPUTキーを押す

❹

❺ 編集するタイトルを選ぶ

❺

|◀◀、▶▶|キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

- GROUP .... グループタイトル
- 002, 003 .... トラックタイトル*1
- [1],[2],[3] タイトルメモ*2

*1 |◀◀、▶▶|キーを押すたびに例えば"002"、"003"・・・とそのグループ内のトラックタイトルが順番に表示されます。

*2 |◀◀、▶▶|キーを押すたびに[1]、[2]、[3]の順で点滅します。

● タイトルをつけていないときは、"・・・・・・"と表示されます。

❻ SETキーを押す

2 タイトルを入力する

タイトルを入力する場合

❶ 文字グループを選ぶ

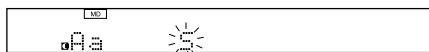
入力される場所(カーソル点滅)

P.MODE/CHARAC.（プレイモード/キャラクター）キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。→125

Aa グループ
A〜z、記号とタイトルメモ([1 2 3])
12 グループ
0〜9 と記号
アァ グループ （MDのみ）
アイウエオ...ガギグゲゴ...と記号

❷ 文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。
（例 ：2（カ ABC）を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。）

● 間違えたときは、CLEAR/DELETE（クリアー/デリート）キーを押します。

入力した文字とカーソルが
交互に表示される

● ◀◀、▶▶キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。
● TIME/SPACE（タイム/スペース）キーで、1文字分の空白を入力することができます。

❸ 文字を確定する

❹ 手順❶〜❸を繰り返す

タイトルを変更(文字を消去、挿入)する場合

❶ カーソルを変更したい文字に合わせる

❶
例：ABCのBを削除する場合
ABC..... 削除したい文字(B)にカーソルを合わせます。

❷ 変更したい文字を削除する

❷
● 文字を削除しないで文字の挿入をしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。
例： ABCのAB間に文字を挿入する場合
ABC..... Bにカーソルを合わせ文字を入力します。

❸「タイトルを入力する場合」の❶〜❹を行う

次ページにつづく

3 タイトルの編集を実行する

❶ タイトルを書き込む

別のタイトルに入力するには、次の手順からの操作を繰り返します。

ディスクや曲のタイトル ....→121 手順1-❹
同じグループ内の曲のタイトル ......→122 手順1-❺
他のグループのタイトル ....
次の❷の手順で終了してから→122 手順1-❸

❷ 終了する

❶

TITLE STORE

⬇

MD
003 DISC SUMME

入力したタイトルがスクロールする

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→120

4 入力したタイトルを記録する

ミニディスクを取り出す（MDのみ）

情報を書き込み中

MD
MD WRITING

ミニディスクを排出

⬇

MD
MD NO DISC

"MD WRITING"点滅表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ファイナライズする（CD-R/RWのみ）

タイトルを書き込むためにファイナライズする　→128

本機では、ファイナライズすることにより、入力したタイトル情報をディスクに記録します。ファイナライズしないでディスクを取り出すと、タイトル情報は記録されません。タイトル情報を記録させるには必ずファイナライズしてください。

ファイナライズ中は電源プラグを抜かないでください

ファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

CD-R/RWディスクタイトルメモリー機能

本機には、ディスクタイトル情報を一時的に記憶する機能があります。タイトル入力後ファイナライズせずにあやまってディスクを取り出してしまったときに、入力していたタイトル情報は一時的に記憶しているため再びディスクを入れてファイナライズすればタイトル情報をディスクに記録することができます。この記憶したタイトル情報は他のディスクを入れた時点で失われます。

- タイトル編集を実行する前にTITLE INPUTキーを押して中止したときや電源をオフにしたときは、タイトル入力は完了しません。

応用編

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字（MDのみ）のみやアルファベット文字、および各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの数字キーで文字を選ぶとき
（CD-R/RW用）

グループ／キー	“Aa”	“1 2”
1ア	[1 2 3]	1
2カABC	A B C a b c	2
3サDEF	D E F d e f	3
4タGHI	G H I g h i	4
5ナJKL	J K L j k l	5
6ハMNO	M N O m n o	6
7マPQRS	P Q R S p q r s	7
8ヤTUV	T U V t u v	8
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9
0ワヲン゛゜		0
+10記号	' , : ? ! ; . " _ ` $ ∧	
+100記号	& ( ) - / + ＊ = < > # % @	

（MD用）

グループ／キー	“Aa”	“1 2”	“アァ”
1ア	[1 2 3]	1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
2カABC	A B C a b c	2	カ キ ク ケ コ
3サDEF	D E F d e f	3	サ シ ス セ ソ
4タGHI	G H I g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
5ナJKL	J K L j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
6ハMNO	M N O m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マ ミ ム メ モ
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
0ワヲン゛゜		0	゛ ゜ ワ ヲ ン
+10記号	' , : ? ! ; . " _ ` $		
+100記号	& ( ) - / + ＊ = < > # % @		

● 「゛」「゜」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。（MDのみ）
● 英字の大文字と小文字が表示される順番は入力する前の状態によって入れ替わります。

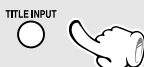
応用編

タイトルメモへの登録

文字入力の手間を省くため、何回も使うような入力文字をタイトルメモ("[1]"~"[3]")として登録しておくことができます。CD-R/RW、MD用タイトルをそれぞれ3つ登録することができます。

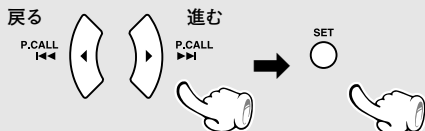
入力切り換えを編集に応じて"CDR"または"MD"にする。→31 ディスクを入れる。

タイトル編集を行うときは、停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させてください。

1 登録先のタイトルメモ番号を選ぶ

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ ⏮,⏭キーを押して、登録先のタイトルメモ番号[1]、[2]または[3]を選び、確定する

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

❷

⏮、⏭ キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DISC(GROUP) ...... ディスク(グループ)タイトル*1
001, 002(01,02) トラックタイトル*2
[1], [2], [3] .... タイトルメモ

*1 停止中に手順❶を行うと、ディスク(グループ)タイトルから表示が始まります。
*2 再生中に手順❶を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。

タイトルメモの番号

2 文字を入力する

"ディスク、グループおよび曲にタイトルをつける"の手順2(→123)を行い、文字を入力する

- 文字を入力する代わりに、ディスクで使用しているタイトルをコピーして使うこともできます。 →127

3 タイトルの登録を実行する

❶ タイトルメモに保存する

❷ 編集を終了する

❶

- 手順1で選択したタイトルメモ番号に、入力した文字が登録されます。
- 別のタイトルメモ番号に文字入力を続けて登録するときは、手順1-❷~3-❶を繰り返します。

タイトルのコピー

タイトルメモ("[1]"~"[3]")に登録した文字列や、MDレコーダーまたはCDレコーダーに入れたディスクのディスクタイトル、グループタイトル(MDレコーダーのみ)または曲のタイトルを、次のいずれかにコピーすることができます。

- ディスクタイトル、グループタイトル(MDレコーダーのみ)または曲のタイトル
- 別のタイトルメモ

入力切り換えを編集に応じて"MD"または"CDR"にする。→31　ディスクを入れる。

タイトル編集を行うときは、停止中にP.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させてください。

1 タイトルのコピー先を選ぶ

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ ◀◀、▶▶キーを押して、コピー先を選び、SETキーを押す

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

- グループタイトルへのコピーをするときは、"グループやグループ内の曲にタイトルをつけるには(MDのみ)"→122の手順❷～❸を行ってコピー先のグループを選択してから❶のTITLE INPUTキーの操作を行ってください。

❷

◀◀、▶▶キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DISC(GROUP)..ディスク(グループ)タイトルへのコピー*1
001, 002(01,02)......トラックタイトルへのコピー*2
[1], [2], [3] .... タイトルメモへのコピー

*1 停止中に手順❶を行うと、ディスク(グループ)タイトルから表示が始まります。
*2 再生中に手順❶を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。

2 タイトルのコピー元を選ぶ

❶ P.MODE/CHARAC.キーを押して"Aa グループ"を選ぶ　→123 手順2-❶

❷ 1キーを繰り返し押して、"[1 2 3]" を表示させる

❸ ◀◀、▶▶キーを押して、コピー元を選ぶ

❹ SETキーを押してタイトルをコピーする

❷

- タイトルメモ[1]にタイトルが入力されている場合は、そのタイトルをスクロール表示した後、**"[1 2 3]"**が表示されます。

[1 2 3]

❸

[1 2 3]...タイトルメモ*
DISC(GROUP).......ディスク(グループ)タイトル
001, 002(01,02)........................トラックタイトル
⋮

* ◀◀、▶▶キーを押すたびに選ばれたタイトルメモ番号が点滅します。タイトルメモにタイトルが入力されている場合は、そのタイトルをスクロール表示した後、タイトルメモ番号が点滅します。

❹

- 手順❸で選んだタイトルコピー元から手順1で選んだタイトルコピー先にコピーが行われます。

3 タイトルの編集を実行する

❶ ENTERキーを押して、タイトルを書き込む
❷ TITLE INPUTを押して、編集を終了する
❸ ≜ejectキーを押して、ミニディスクを取り出す(MDのとき)
タイトルを書き込むためにファイナライズする(CD-R/RWのとき)　→128

❶

- タイトルコピーを続けるときは、手順1-❷～3-❶を繰り返します。

❷

- コピー後に、必要に応じてタイトル文字を編集します。**"ディスク、グループおよび曲にタイトルをつける"**　→123

応用編

CD-R/RWのファイナライズ(FINALIZE)

録音されたCD-R/RWを本機のCDプレーヤーでも再生できるようにします。
ファイナライズ処理をすると、録音したCD-Rは他のCDプレーヤー*で、またCD-RWはCD-RW対応機器で再生できるようになります。CD-RWは一般のCDプレーヤーでは再生できません。

＊........ピックアップ等の違いにより、一部のCDプレーヤーや、DVDプレーヤーで再生できない場合があります。

ファイナライズ処理後、CD-Rは追加録音(記録)が一切できなくなりますのでご注意ください。
CD-RWも同様に追加録音(記録)ができなくなりますが、アンファイナライズ処理をする(→129)ことでファイナライズ処理をする前の状態に戻すことができます。

入力切り換えを"CDR"にする。→31　停止中に操作してください。

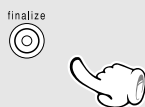
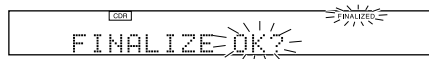
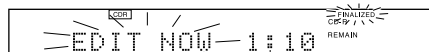
❶ ファイナライズ処理をするディスクをCDレコーダーにセットする →49

❶
- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- **"CD-R"**または**"CD-RW"**表示が点灯します。

CD-R　または　CD-RW

"CD"または**"FINALIZED CD-RW"**表示が点灯した場合は、ファイナライズ処理済みのディスクです。

❷ finalizeキーを押して"FINALIZE OK?"を選ぶ

❷
キーを押すたびに切り換わります。
→ FINALIZE OK ?
→ 通常表示(ファイナライズ中止)

❸ enterキーを押してファイナライズ処理を始める

❸
ファイナライズ処理中は**"FINALIZED"**表示が点滅します

ファイナライズ完了までの残り時間

- ファイナライズ処理中は他の操作をしないでください。
- ファイナライズ処理が完了すると**"COMPLETE"**と表示されます。

ファイナライズ中は電源プラグを抜かないでください
ファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

CD-RWのアンファイナライズ(UNFINALIZE)

ファイナライズ処理済のCD-RWをファイナライズ処理する前に戻し、再び追加録音および書き換えができるようにします。CD-Rをアンファイナライズ処理することはできません。

他のCDレコーダーやパソコンなどで、テキスト情報(ディスクや曲のタイトルなど)を記録したディスクを本機でアンファイナライズ処理すると、これらの情報はディスクから消去され、元に戻すことはできなくなりますのでご注意ください。

入力切り換えを"CDR"にする。 →31 *停止中に操作してください。*

リモコンのみ

❶ アンファイナライズするCD-RWをCDレコーダーにセットする →49

❷ TRACK EDITキーを押す

❸ ⏮、⏭キーを押して"UNFINALIZE?"を選ぶ

❹ SETキーを押す

❺ ENTERキーを押してファイナライズを行う

❶
- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "FINALIZED CD-RW"表示が点灯します。

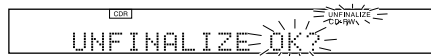
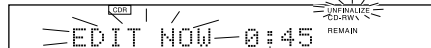
FINALIZED
CD-RW

"CD-RW"表示のみが点灯した場合は、ファイナライズされていないディスクです。

❸
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

SKIP TRACK
ERASE
UNFINALIZE

❹
- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

❺
CDR
EDIT NOW 0:45
UNFINALIZE
CD-RW
REMAIN

アンファイナライズ完了までの残り時間

- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示されます。

アンファイナライズ中は電源プラグを抜かないでください

アンファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

主にパソコンやDAO(ディスク・アット・ワンス)方式*に対応したレコーダーで録音されたCD-R/RWの場合は、"DAO DISC"が表示されます。この場合は、本機ではアンファイナライズ処理できません。

＊ ディスク・アット・ワンス方式(DAO方式) .... 録音(記録)方法の一種で、リードイン、データ、リードアウトの順に、一気に全ての情報の書き込みを実行します。データの追記(ディスクの未使用領域にデータを追記記録すること)はできません。

CD-RWの録音消去

録音可能(ファイナライズ処理されていない、またはアンファイナライズ処理された)なCD-RWの録音(記録)内容を消去することができます。
消去方法には次の2つの方法があります。
- CD-RWに録音した最後の曲だけを消去する。
- CD-RWに録音した全ての曲を消去する。

入力切り換えを"CDR"にする。 →31 *停止中に操作してください。*

最後の曲を消去する

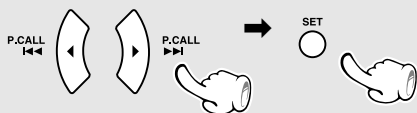
一度消去した曲や情報の内容は元に戻すことはできません。

リモコンのみ

例: 15曲録音したディスクの最後の曲(15曲目)を消去する

❶ 録音可能なCD-RWをCDレコーダーにセットする →49

❷ TRACK EDITキーを押す

❸ ⏮、⏭キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す

❹ ⏮、⏭キーを押して"ERASE 15?"を選び、SETキーを押す

❺ ENTERキーを押して消去処理を行う

❶
- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "CD-RW"表示が点灯します。

CD-RW

"FINALIZED CD-RW"表示が点灯した場合は、ファイナライズされているディスクです。

❸
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

SKIP TRACK
ERASE
UNFINALIZE

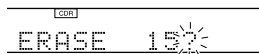
CDR
ERASE?

❹
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ERASE ALL
ERASE 15

CDR
ERASE 15?

⬇

CDR
ERASE OK?

- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

❺
- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- "EDIT NOW"表示後、消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示されます。

消去を繰り返すには

手順❷〜❺を繰り返す。
- 手順❹では"ERASE XX"を選びます。"XX"はそのディスクの最後の曲のトラック番号を示します。

消去処理中は電源プラグを抜かないでください
消去処理中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

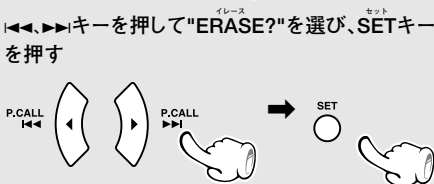
入力切り換えを"CDR"にする。→31 停止中に操作してください。

すべての曲を消去する

例：15曲録音したディスクの全ての曲を消去する

❶ 録音可能なCD-RWをCDレコーダーにセットする →49

❷ TRACK EDITキーを押す

❸ ⏮、⏭キーを押して"ERASE?"を選び、SETキーを押す

❹ ⏮、⏭キーを押して"ERASE ALL?"を選び、SETキーを押す

❺ ENTERキーを押して消去処理を行う

❶
- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- "CD-RW"表示が点灯します。

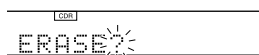
CD-RW

"FINALIZED CD-RW"表示が点灯した場合は、ファイナライズされているディスクです。

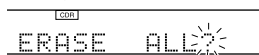
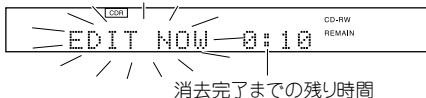
❸
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

SKIP TRACK
ERASE
UNFINALIZE

ERASE?

❹
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ERASE ALL
ERASE 15

- 中止するときはTRACK EDITキーまたはSTOP■キーを押します。

❺

消去完了までの残り時間

- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 消去処理が完了すると"COMPLETE"と表示されます。

消去処理中は電源プラグを抜かないでください

消去処理中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

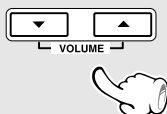
外部機器ソースを聴く

アナログまたは光デジタル出力を備えているカセットデッキ、MDレコーダーあるいはCS/BSチューナーなどを本機に接続して聴くことができます。

"他の機器（市販品）との接続"（→23）を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。

アナログ機器を聴くとき

❶ AUX/D-AUXキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押す

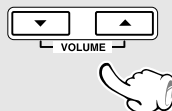
❷ 外部アナログ機器の演奏を始める

❸ 音量を調整する

デジタル機器を聴くとき

❶ AUX/D-AUXキーを"D-AUX"が表示されるまで繰り返し押す

- D-AUXを選んだとき、"UNLOCK（アンロック）"と表示された場合は、"メッセージ表示の一覧"をご覧ください。 →147

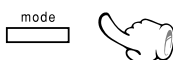
❷ 外部デジタル機器の演奏を始める

❸ 音量を調整する

外部アナログ機器の入力レベルを調整する（外部デジタル機器は調整できません）

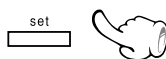
外部アナログ機器の音量が、本機のCDやMDの音量の大きさと比べて異なる場合など、同じ音量で聴こえるように調整します。

❶ aux/D-auxキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押す。

❷ mode（モード）キーを押す

❸ multi control（マルチ コントロール）キーで"AUX INPUT（インプット）"を選び、set（セット）キーを押す

❹ multi control（マルチ コントロール）キーを使ってお好みのレベルに調整する

- –9〜+2の範囲で調整ができます。

❺ set（セット）キーを押して確定する

入力レベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部アナログ機器からの録音の入力レベルも変化します。

→133

録音レベルを調整する

外部アナログ機器の入力(録音)レベルを調整する (AUX INPUT、REC GAIN)

カセットデッキなどの外部アナログ機器の音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合、適正な録音レベルで録音されない場合があります。次の調整を行なってから録音してください。

外部アナログ機器の入力(録音)レベルを調整する(AUX INPUT)

外部アナログ機器からの音声が、本機で再生するCD、MDなどの音声と同じレベルで聴こえるように調整します。

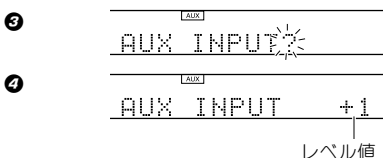
❶ aux/D-auxキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押す
❷ modeキーを押す
❸ multi controlキーを押して"AUX INPUT?"を選びsetキーを押す
❹ multi controlキーを押して録音レベル(-9〜+2)を調整する
❺ setキーを押して確定する

❸

AUX
AUX INPUT?

❹

AUX
AUX INPUT +1

レベル値

- この調整で入力レベルを+2(最大)にしても、外部アナログ機器の音声がいちじるしく小さい場合や、調整後録音した音声がいちじるしく小さい場合には、次の録音入力レベルの調整(REC GAIN)を行ないます。

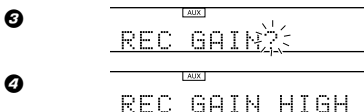
外部アナログ機器の録音レベルを調整する(REC GAIN)

❶ aux/D-auxキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押す
❷ modeキーを押す
❸ multi controlキーを押して"REC GAIN?"を選びsetキーを押す
❹ multi controlキーを押して"REC GAIN HIGH"を選ぶ
❺ setキーを押して確定する

❸

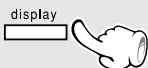
AUX
REC GAIN?

❹

AUX
REC GAIN HIGH

- この調整を"HIGH"に設定することにより、録音レベルが高くなりすぎると、音がひずむ場合があります。この場合は、上記の手順を行い"HIGH"から"NORM."に戻します。
- "REC GAIN"を調整しても、本機の再生音声レベルは変化しません。

CDからMDへのデジタル録音レベルを調整する(D-REC LEVEL)

CDからMDへのデジタル録音では、元のCDと同じ録音レベルで録音されるため、通常は録音レベルを調整する必要はありません。一部のCDにおいては録音レベルが小さかったり、大きかったりするものがあります。このようなCDを録音するときには、録音レベルを調整することにより、最適に録音することができます。
ワンタッチエディット録音(O.T.E)やCD-R/RW、MD同時録音(→72)で録音しているときには、録音レベル調整をすることはできません。

❶ 入力切り換えが"CD"になっていることを確認する
❷ MD recキーを押してMDを録音一時停止にする
❸ displayキーを押して"D-REC LEVEL"を選ぶ

❹ 録音元のCDを再生し、multi controlキーを押して録音レベル(-2〜+2)を調整する

調整が終わったらstop■キーを押してCDの再生を停止させ、あらためて録音操作を行ってください。

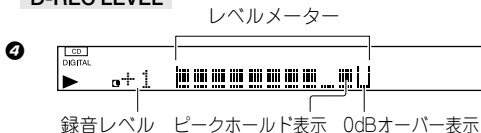
❷
- MD recインジケーターが点滅します。

❸
押すたびに文字表示部が切り換わります。

→ CDプレーヤーの再生表示
MDレコーダーの録音表示
D-REC LEVEL

❹

レベルメーター

録音レベル　ピークホールド表示　0dBオーバー表示

- レベルメーターを見ながら、録音レベルを設定します。図のように、ピークホールド表示が0dBオーバー表示の左側でときどき点灯するように調整してください。0dBオーバー表示が点灯すると、録音した音がひずむ可能性があります。
- 調整した録音レベルは録音元のCDを取り出すと、録音レベル0(初期設定値)に戻ります。
- 録音中でも録音レベルを調整することができます。

トラック番号の設定をかえる

トラック番号（曲番号）は、再生中に曲の頭出しをするときや、プログラムするときに使用します。CDレコーダー、あるいはMDレコーダーで録音するときに自動的にトラック番号を付けるか、手動でトラック番号を付けるかを選ぶことができます（TRACK MARK/AUTO TRACK）
入力ソース（音源）がCD、CDR、MDまたはAUXからの録音ではAUTO（自動）とMANUAL（手動）を選ぶことができます。入力ソース（音源）がTUNERからの録音ではAUTO ON（自動）とAUTO OFF（手動）を選ぶことができます。初期値はAUTO（AUTO ON）に設定されています。録音操作をする前に切り換えます。

- トラック番号は自動、手動にかかわらず録音を停止または一時停止したのちに再び録音を開始すると、**"1"**繰り上がり録音が始まります。
- 入力ソース（音源）が**D-AUX**のときは、録音元の音源と同じように自動的にトラック番号が付きます。衛星放送などの録音元にトラック番号がない音源では、録音開始と同時トラック番号が付き（繰り上がり）、それ以降はトラック番号は繰り上がりません。
- 入力CDから録音時、**REC INPUT**がデジタル録音に設定されている場合は、**MANUAL**を選んでも**TRACK EDIT**キーでトラックマークをつけることはできません。この場合は、**AUTO**を選んだときと同じように自動的にトラック番号が付きます。

入力ソース（音源）CD, CDR, MDまたはAUXのとき

AUTO（自動）:
通常の録音時はこのモードにしておきます。

入力ソース（音源）がCD、CDR 、MDからの録音の場合：
録音元の音源と同じように自動的にトラック番号が付きます。

入力ソース（音源）がAUXからの録音の場合：
信号が2秒以上一定のレベル以下（レベルは調整することができます。**"CUT LEVEL"**→135）になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくるのを検知してトラック番号を自動的に**"1"**繰り上げて付きます。クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、2秒以上一定のレベル以下と検知してトラック番号が**"1"**繰り上げて付く場合があります。このような音楽の場合は、**"MANUAL"**で録音するか、**"CUT LEVEL"**を調整して録音してください。

MANUAL（手動）:
自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中（リモコンの**TRACK EDIT**キーを押す*）にトラック番号を**"1"**繰り上げ付けることができます。ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

入力ソース（音源）TUNERのとき

AUTO ON（自動）:
約10分ごとに自動的にトラック番号が付きます。

AUTO OFF（手動）:
自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中（リモコンの**TRACK EDIT**キーを押す*）にトラック番号を**"1"**繰り上げ付けることができます。

* CD の規格により、CD-R/RW の場合 4 秒以内の曲にはトラック番号を付けることができません。また、TWIN REC（→75）中に **TRACK EDIT** キーを押すと、CD-R/RW、MD 同時にトラック番号が付きます。

入力ソース（音源）と設定について

TRACK MARKの**AUTO**、**MANUAL**の設定は、**CD**、**CDR**、**MD**、**AUX**の各入力ソースごとに設定することはできません。**AUTO**に設定した場合、**CD**、**CDR**、**MD**、**AUX**のいずれの入力においても**AUTO**の設定となります。設定を変えるときは入力切換えを**CD**、**CDR**、**MD**、**AUX**のいずれかにしてからトラック番号の設定操作（→135）を行ってください。ただし、**AUX**からの録音で**CUT LEVEL**（→135）まで調整するときは、入力切換えを**AUX**にしてトラック番号の設定操作（→135）を行い、**TRACK MARK**は**AUTO**に設定してください。

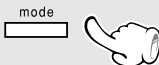
AUTO TRACKの**ON**、**OFF**の設定を変えるときは、入力切換えを**TUNER**にしてから操作してください。

入力	CD	CDR	MD	AUX
TRACK MARK	AUTO/MANUALの切り換え			
CUT LEVEL	×	×	×	○

入力	TUNER
AUTO TRACK	ON/OFFの切り換え

トラック番号の設定を選ぶ（TRACK MARK/AUTO TRACK）

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

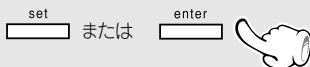
❶ **modeキーを押す**

❷ **multi controlキーで"TRACK MARK?"（入力がTUNERのときは"AUTO TRACK?"）を選び、setキーを押す**

❸ **TRACK MARKの設定のとき：**
multi controlキーで"AUTO"または"MANUALを選びます。

AUTO TRACKの設定のとき：
multi controlキーで"ON"または"OFF"を選び選びます。

multi control

❹ **setキーまたはenterキーを押す**
AUXからの録音でCUT LEVELを調整するときは、setキーを押し、次ぎのCUT LEVELの調整をします。それ以外はenterキーを押して、設定を確定し終了します。

set　または　enter

- **TRACK MARK**の設定は入力切換えを**CD**、**CDR**、**MD**、**AUX**のいずれかにしてから**mode**キーを押してください。ただし、**AUX**からの録音で**CUT LEVEL**まで調整するときは、入力切換えを**AUX**にしてから**mode**キーを押してください。また**TRACK MARK**の設定は**"AUTO"**を選んでください。
- **AUTO TRACK**の設定は、入力切換えを**TUNER**にしてから**mode**キーを押してください。

❷ CD　TRACK MARK?

❸ **押すたびに文字表示部が切り換ります。**

TRACK MARKの設定のとき：

"AUTO" .... 録音時、トラック番号を自動的に付けて録音する
"MANUAL" ... 録音時、トラック番号を手動で付けて録音する

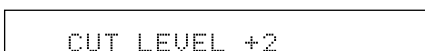
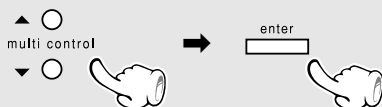
AUTO TRACKの設定のとき：

AUTO OFF >ON .... ON ： 録音時、トラック番号を自動的に付けて録音する
AUTO >OFF ON .... OFF： 録音時、トラック番号を手動で付けて録音する

- 入力が**AUX**のときでも、**CUT LEVEL**を調整しないときは、**enter**キーを押して設定を終了することもできます。

自動無音検出のレベルを設定する（CUT LEVEL）（入力が"AUX"のときのみ）

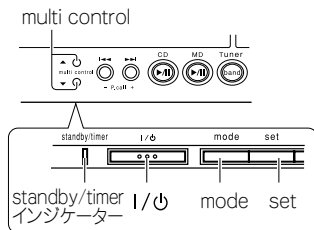
トラック番号を付けるための自動無音検出レベルを調整します。
トラック番号の設定（TRACK MARK）を"AUTO"にしても、録音ソースの曲間無音部分のレベルによっては、トラック番号が繰り上がらない場合があります。このような場合は無音検出レベルを上げてください。
逆に曲間でないところでトラック番号が付く場合は、無音検出レベルを下げてください。

multi controlキーで自動無音検出レベルを調整し、enterキーを押して設定を確定し終了します。

無音検出レベル値

- 無音検出レベル値は-2〜+2で調整できます。
  ＋ ...... 無音検出レベル上がる
  ー....... 無音検出レベル下がる
- 無音検出レベル値を調整してもトラック番号の付き方が改善しない場合もあります。

タイマーを使う

CD(CD-R/RW)、MDの再生、ラジオ放送の受信や録音を指定した時間帯に自動的に行うことができます。おやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になるSLEEPタイマーおよび二つのプログラムタイマーがあります。

プログラムタイマーが設定されていると、⊕1または⊕2が点灯します。また電源をオフ(スタンバイ)にしたときは、standby/timerインジケーターがオレンジ色に点灯します。

"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。 →30

プログラムタイマー再生(AI タイマー再生)、タイマー録音

2系統(PROG.1 、PROG.2)の24時間タイマーです。
PROG. 1、PROG. 2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて働かせるか、働かせないかを選べます。
タイマーは1回だけ働かせるか毎回働かせるかを選べます。

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の動作する時間は重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

1 タイマー録音をするときはあらかじめ準備しておく

録音をする

録音するディスクを入れる
CD-R/RW →49
MD →53

- タイマー録音は、ラジオ放送(TUNER)、外部デジタル/アナログ機器(D-AUX/AUX)からの録音ができます。

2 聴きたい、または録音したいソースを選び、音量を設定する

CDを聴く

ディスクをセットする(通常の再生のみ) →33 →35

- CDプレーヤー部、CDレコーダー部のどちらでも再生できます。CDプレーヤー部でCD-R/RWを聴くときは、ディスクをファイナライズ処理してください。MP3、WMA収録ディスクはCDプレーヤーのみで再生できます。

ラジオ放送を聴く、または録音する

放送局をプリセットしておく →44 →46

MDを聴く

MDをセットする(通常の再生のみ) →40

外部入力機器を再生、または録音する

AUX入力端子またはデジタル入力端子に接続された機器の再生、または録音の場合は"他の機器(市販品)との接続"を参照し接続を済ませおく。 →23

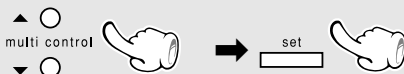
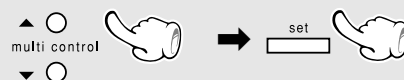
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

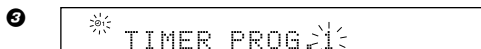
3 タイマー予約モードにする

PROG.1で午前10:15から午前11:30までラジオ放送を受信するときの例

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキーを押して"TIMER SET?"を選んでsetキーを押す

❷ TIMER SET?

❸ multi controlキーを押して、"PROG.1"を選んでsetキーを押す

PROG.2に予約するときは、"PROG.2"を選択します。

❸ TIMER PROG.1

- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順3のはじめからやり直してください。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容にかわります。

4 タイマーをオンに設定する

❶ multi controlキーを押して"ON"を選ぶ

❶ PROG.1 OFF >ON

- タイマーをオフに設定する場合は、"OFF"を選びます。

PROG.1>OFF ON

❷ setキーを押す

- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順3のはじめからやり直してください。

5 タイマーの種類を設定する

❶ multi controlキーを押してタイマーの種類を選ぶ

❶

押すたびに文字表示が切り換わります。

ONE TIME..... 設定後1回だけタイマーが働きます。
EVERYDAY... 設定に従って毎日タイマーが働きます。

❷ setキーを押す

- 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順3のはじめやり直してください。

応用編

次ページにつづく

6 オン時刻を設定する

❶ multi control（マルチ コントロール）キーを押してオン時刻を設定する

❷ set（セット）キーを押す

❸ ❶、❷の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

❶ "時"を設定

❸ "分"を設定

● 間違えたときはmode（モード）キーを押して解除し、手順❸のはじめからやり直してください。

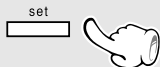
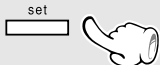
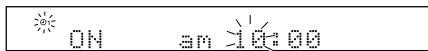
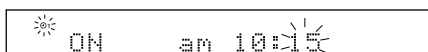
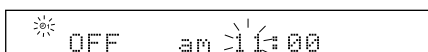
7 オフ時刻を設定する

❶ multi control（マルチ コントロール）キーを押してオフ時刻を設定する

❷ set（セット）キーを押す

❸ ❶、❷の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

❶ "時"を設定

❸ "分"を設定

● 間違えたときはmode（モード）キーを押して解除し、手順❸のはじめからやり直してください。

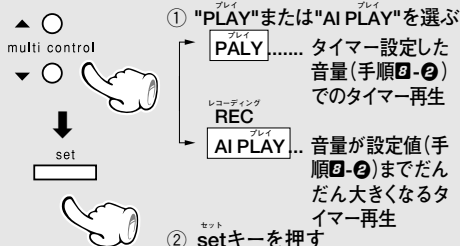
8 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

❶ multi control（マルチ コントロール）キーを押してタイマーモードを選ぶ

① "PLAY（プレイ）"または"AI PLAY（プレイ）"を選ぶ

- PALY（プレイ）……タイマー設定した音量（手順8-❷）でのタイマー再生
- REC（レコーディング）
- AI PLAY（プレイ）… 音量が設定値（手順8-❷）までだんだん大きくなるタイマー再生

② set（セット）キーを押す

❷ multi controlキーを押してタイマー再生するときの音量を調整する（現在聴いている音量はかわりません）

① 音量を選ぶ

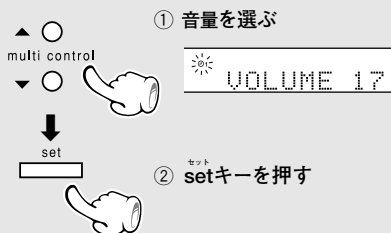
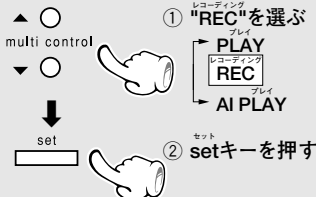
② set（セット）キーを押す

タイマー録音をするとき

❶ multi control（マルチ コントロール）キーを押して録音モードを選ぶ

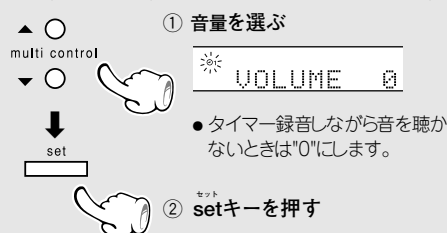
① "REC（レコーディング）"を選ぶ

- PLAY（プレイ）
- REC（レコーディング）
- AI PLAY（プレイ）

② set（セット）キーを押す

❷ multi control（マルチ コントロール）キーを押して録音するときのモニター音（再生音）を調整する（現在聴いている音量はかわりません）

① 音量を選ぶ

● タイマー録音しながら音を聴かないときは"0"にします。

② set（セット）キーを押す

❸ 入力ソースを選ぶ

multi control

- TUNER（チューナー）... ラジオ放送
- CD .... CDプレーヤーで再生
- CDR .... CDレコーダーで再生
- MD .... MD
- AUX .... （外部アナログ機器）
- D-AUX .... （外部デジタル機器）

① 何を聴くか選ぶ
② set（セット）キーを押す
TUNER（チューナー）を選択したとき以外は、⏲1が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

❹ 放送局を選ぶ（TUNER（チューナー）を選択したときのみ）

① プリセットチャンネルを選ぶ

01　FM　76.1

② set（セット）キーを押す

⏲1　点灯

⏲1が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

❸ 入力ソースを選ぶ

① 何を録音するか選ぶ
- TUNER（チューナー）（ラジオ放送）
- AUX（外部アナログ機器）
- D-AUX（外部デジタル機器）

② set（セット）キーを押す

"D-AUX"または"AUX"を選択したときは手順❺へ

❹ 放送局を選ぶ（TUNER（チューナー）を選択したとき）

① プリセットチャンネルを選ぶ

01　FM　76.1

② set（セット）キーを押す

❺ 録音する機器を選ぶ

① 録音する機器を選ぶ
- Rec. CDR ... CDレコーダー
- Rec. MD ..... MDレコーダー

② set（セット）キーを押す

"Rec. CDR"を選択したときは⏲1が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

❻ 録音モードを選ぶ（Rec. MDを選択したとき）

①
- STEREO（ステレオ）.. ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO（モノラル）... モノラル録音モード

② set（セット）キーを押す
⏲1が点灯に変わり、通常表示に戻ります。

- MD録音モードで"LP2"、"LP4"を選んだときのMDスタンプ機能は、現在設定されている状態で機能します。

→ 56

次ページにつづく

9 電源をオフ(スタンバイ)にする

タイマー設定が済んだら、電源をオフ(スタンバイ)にする
standby/timer(スタンバイ/タイマー)インジケーターがオレンジ色に点灯し、タイマースタンバイ状態になります。

standby/timer
点灯

- タイマーオン時間になると自動的に電源がオンし、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
  タイマーオフ時間になると自動的に電源がオフしスタンバイ状態になります。

以上でプログラムタイマー予約は終了です。PROG.2(プログラム)にプログラムタイマー予約をする場合も同様の手順をおこなってください。

タイマーの実行を解除するには

手順3、4を行い、タイマーをオフに設定する

1 消灯
2 消灯

- 予約内容は記憶しています。

設定した内容のタイマーを再びセットする

手順1～4を行い、タイマーをオンに設定する

1 点灯
2 点灯

- 予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。
- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timer(スタンバイ/タイマー)インジケーターがオレンジ色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 →30

音楽を聴きながら眠る(SLEEP(スリープ)タイマー)(リモコンのみ)

何分後に電源をオフ(スタンバイ)するか設定します。

CD(CD-R/RW)、MD再生中またはラジオ受信中などにSLEEP(スリープ)キーを押す

- SLEEP(スリープ)キーを1回押すと残り時間の確認ができます。
- 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。

- 1回押すごとに10分ずつ増加していきます。最大約90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → OFF(解除)

SLEEP 10

本システムは、スリープタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートディマー機能)

解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にするか、またはSLEEP(スリープ)キーを"OFF(解除)"になるまで繰り返し押す

応用編

知っておきましょう

メンテナンス

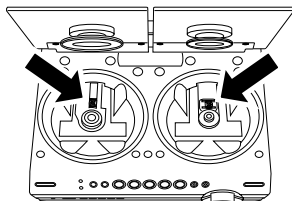
セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

レンズのお手入れ

レンズの汚れは、再生ができなくなるなど、故障の原因となります。市販のカメラ用レンズブロワーなどを使って、レンズをクリーニングしてください。機器を傷めることがありますので、レンズには手を触れないでください。また、市販のレンズクリーナー、ディスククリーナーなどは使用しないでください。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. **電源をオンにします。**
2. **CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーから全てディスクを取り出します。**
   - **CD▶/II**、**CDR▶/II**、**MD▶/II**キーを押したとき、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

   NO DISC

3. **電源をオフにします。**
   - 電源がオフ(スタンバイ)になるまでは、電源プラグはコンセントから抜かないでください。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ(静止画等)を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容：
時計表示
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容：

アンプ部
電源の状態(オンまたはスタンバイ)、バランスの設定、トーンコントロール値(BASS(バス)、MID(ミドル)、TREBLE(トレブル))、入力切り換え、AUX INPUTのレベル値、REC(レコーディング) GAIN(ゲイン)の設定、SOUND(サウンド)の設定
チューナー部
オート、マニュアル選局の設定、タイマーの設定内容
＊SLEEP(スリープ)タイマーは解除になります。
＊オートパワーセーブの設定はOFFになります。

著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話 (03) 5353-0336 (代表)
FAX. (03) 5353-0337

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

修理のため、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口に、セットをお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーを除きます。)

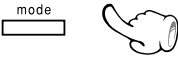
故障かな?と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、mode(モード)キーを押しながら、差し込み直す。

アンプ部・スピーカー部

	処　置
音が出ない。	● **"接続のしかた"**をみて正しく接続し直す。 →20 →22 →23 ● 音量を上げる。 ● **MUTE**(ミュート)をオフ(解除)にする。 →32 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。 →32
"standby(スタンバイ)/timer(タイマー)"の表示が赤く点滅し,音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 →22
"standby(スタンバイ)/timer(タイマー)"の表示がオレンジ色に点滅する。	● 時刻合わせをやり直す。 →30
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →32
スピーカーの片側から音が出ない。	● **"スピーカーの接続"**をみて正しく接続し直す。 →22 ● 左右のバランスを調整する。 →32
時刻表示が、ある時間で止まっている。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →30
タイマーが作動しない。	● **"時刻合わせ"**をみて現在時刻を合わせる。 →30 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を正しく設定する。 →137 ● プログラムタイマー(◷1、◷2)表示を点灯させる。 →136 →140

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →21 ● 放送バンドを合わせる。 →43 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →43 →46
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、I◀◀、▶▶Iキーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →44 →46

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →27 ● 操作範囲内で操作する。 →27

CDプレーヤー部

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● レーベル面を上にして、正しく入れる。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →12 ● **"結露にご注意"**を参照し、露を蒸発させる。 →141 ● CD-R/RWはファイナライズ処理をする。 →128
音声が出ない。	● **CD ▶/II**キーを押す。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →12
音とびがする。	● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →12 ● 振動のない場所に設置する。
MP3、WMA収録ディスクを入れたとき再生ができるようになるまでの時間が異常に長い	● MP3、WMA収録ディスクは、確認のため再生できるようになるまで時間がかかります。

CDレコーダー部

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● レーベル面を上にして、正しく入れる。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →12 ● **"結露にご注意"**を参照し、露を蒸発させる。 →141 ● 録音済みディスクを入れる。 ● MP3、WMA収録ディスクはCDレコーダーでは再生できません。
音声が出ない。	● **CDR ▶/II**キーを押す。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →12
音とびがする。	● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →12 ● 振動のない場所に設置する。
音がひずむ。	● AUX入力レベル(**AUX INPUT**(インプット)、**REC GAIN**(レコーディング ゲイン))を調整する。 →133
録音できない。	● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →12 ● 録音可能なディスクに入れかえる。 →7 ● ディスクをアンファイナライズする。(CD-RWのみ) →129 ● AUX入力レベル(**AUX INPUT**(インプット)、**REC GAIN**(レコーディング ゲイン))を調整する。 →133 ● 入力切り換えを録音したいソースにする。 →50 ● **"SCMS"**と表示されたときは、デジタル録音できません。 →48
外部アナログ機器からの録音でトラック番号が繰り上がらない、または正しく繰り上がらない。	● AUX入力レベル(**AUX INPUT**(インプット)、**REC GAIN**(レコーディング ゲイン))を調整する。 →133 ● 無音検出レベル(**CUT LEVEL**(カット レベル))を調整する。 →135 ● トラックマーク(**TRACK MARK**(トラック マーク))を**"MANUAL"**(マニュアル)に設定する。 →135
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
まだ録音可能時間があるのに**"TNO FULL"**(トラックナンバー フル)と表示される。	● 100曲以上(トラック番号100以上)は録音できません。 (トラック番号99未満でも録音できないことがあります。) このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、**"0:00"**になります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がCD-R/RW全体の記録時間(74分)と一致しない。	● 4秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● 録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
CD-R/RWを入れたとき再生または録音ができるようになるまでの時間が異常に長い。	● 未使用のCD-R/RWや、アンファイナライズしたCD-RWを入れた場合は長くかかります。

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、表示部の全体の残り時間表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が12秒*1未満の場合は、表示部の全体の残り時間表示は、" 0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒*1を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モード*2の曲同士はつなげません。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74分、80分）と一致しない。	● 2秒間*3を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
MDを入れたとき録音ができるようになるまでの時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合は、長くかかります。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

*1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合）：24秒（LP）　LP4モードの場合：48秒
*2 STEREO（ステレオ録音モード）、LP2（ステレオ2倍長時間録音モード）、LP4（ステレオ4倍長時間録音モード）、MONO（モノラル録音モード）
*3 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合）：4秒（LP）　LP4モードの場合：8秒

MDレコーダー部(その他の症状)

症　状	処　置
MD ▶/⏸キーを押しても音が出ない。	● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れて、MD ▶/⏸キーを押す。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 →13 ● AUX入力レベル(**AUX INPUT**、**REC GAIN**)を調整する。 →133 ● 入力切り換えを録音したいソースにする。 →54 ● **"SCMS"**と表示されたときは、デジタル録音できません。 →48
音がひずむ。	● AUX入力レベル(**AUX INPUT**、**REC GAIN**)を調整する。 →133 ● CDからMDにデジタル録音するレベル(**D-REC LEVEL**)を調整する。 →133
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
外部アナログ機器からの録音でトラック番号が繰り上がらない、または正しく繰り上がらない。	● AUX入力レベル(**AUX INPUT**、**REC GAIN**)を調整する。 →133 ● 無音検出レベル(**CUT LEVEL**)を調整する。 →135 ●トラックマーク(**TRACK MARK**)を**"MANUAL"**に設定する。 →135
グループ登録ができない。	● すでにグループ登録されている曲をグループ登録しようとした。 ● 100以上のグループを登録することはできません。

メッセージ表示の一覧

共通

ディスプレイ表示	意　味	処　置
SCMS	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	● アナログ録音に切りかえて録音する。 →52 →57
NOT AUDIO	● 本機に対応していないディスク、または入力信号である。	● 故障ではありません。
READING	● TOC情報*やその他のディスク情報を読んでいる。	● 故障ではありません。
WRITING	● 処理、設定などの各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。
OK? の点滅	● "処理を実行してもよろしいですか?"という確認のメッセージ。	● ENTERキーを押すと、処理が実行されます。
UNLOCK	● 外部デジタル機器が正しく接続されていない。	● "他の機器(市販品)との接続"をみて正しく接続する。 →23
WAIT xxMIN.	● CD倍速録音をはじめてから、74分以内に同じ曲を録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常速録音で録音する。
BUFFER OVER	● 74分以内にCDから200曲以上を倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常速録音で録音する。
PGM SAME TNO	● 一つの曲を2回以上プログラムして録音しようとしている。	● 一つの曲を2回以上プログラムして録音することはできません。プログラムし直して録音してください。
--- 0:00	● TOC*情報が読めない。	● ディスクを入れかえる。
CHECK DISC	● ディスクのキズ、汚れや特性などにより再生、または録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。 ディスクを入れかえる。
CAN'T CHANGE	● モードの設定などで変更できない設定に変更しようとしている。	● 故障ではありません。

CDプレーヤー関連

ディスプレイ表示	意　味	処　置
CD NO DISC	● ディスクが入っていない。 ● ファイナライズしていないディスクを入れている。	● ディスクを入れる。 ● ファイナライズしたディスクを入れる。
PROTECTED	● 著作権が保護されたWMAファイルである。	● 著作権が保護されたWMAファイルは再生できません。
CAN'T PLAY	● 再生できないファイル形式である。ファイルの拡張子が正しく付けられていない。	● 故障ではありません。

知識編

＊ TOC .... すべてのCD-R/RWには音声信号以外にTOC (Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

CD レコーダー関連

ディスプレイ表示	意　味	処　置
CDR NO DISC	● ディスクが入っていない。	● ディスクを入れる。
DISC FULL	● 録音可能な残りエリアがない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。
PRO. DISC	● 音楽用CD-R/RWではない。	● 音楽用CD-R/RWに入れかえる。 →7
PCA FULL	● OPC処理をするエリアPCA*1 がディスクに残っていないため、追加録音はできない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。
PMA FULL	● TOC情報*2を一時的にディスクに書き込むエリアPMA*3 が残っていないため、追加録音はできない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。(CD-RWの場合は、ファイナライズとアンファイナライズを行うと、追加録音できる場合があります。)
SKIP FULL	● スキップ登録を書き込む上限回数を越えようとしている。	● 書き込みは22回以上はできません。
TNO FULL	● 100曲目を録音しようとしている。	● 一枚のディスクには100曲以上録音できません。
READY	● 録音、録音一時停止状態に移行中である。またはファイナライズ、アンファイナライズ、消去の準備中である。	● 故障ではありません。
FINALIZED DISC	● ファイナライズされているディスクにファイナライズ、または録音しようとしている。	● ファイナライズしたCD-Rは、録音できません。CD-RWを録音するときは、アンファイナライズしてから録音する。**"CD-RWのアンファイナライズ"** →129
CAN'T REPEAT	● ファイナライズしていないディスクでリピート再生しようとしている。	● ファイナライズしていないディスクではリピート再生できません。ディスクをファイナライズしてから、リピート再生を行ってください。**"CD-R/RW のファイナライズ "** →128
CDR PLAY ONLY	● 再生専用のディスクである。	● 録音用CD-R/RWと入れかえる。
DAO DISC	● 他の機器でDAO方式*4で録音したディスクをアンファイナライズ処理しようとしている。	● このディスクは本機ではアンファイナライズ処理できません。

＊1 OPCとPCA　ファイナライズ処理されていないディスクをCD レコーダーに入れると、本機はそのディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するために試験的にディスクの特定エリアに書き込みを行います。この処理をOPC(Optimum Power Control)といい、書き込みを行うエリアをPCA(Power Calibration Area)といいます。

＊2 TOC　すべてのCD-R/RWには音声信号以外にTOC (Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

＊3 PMA　未ファイナライズのCD-R/RWはTOC 情報を一時的にディスクの特定エリアに書き込みます。この書き込みを行うエリアをPMA(Program Memory Area)といいます。録音、スキップ設定を行うたびに情報を追加書き込みを行います。

＊4 DAO　DAO(Disc At Once)。録音(記録)方法の一種で、リードイン、データ、リードアウトの順に、一気に全ての情報の書き込みを実行します。データの追記(ディスクの未使用領域にデータを追記記録すること)はできません。

CDレコーダー部（つづき）

ディスプレイ表示	意　味	処　置
REC ERROR	● 録音中に不具合が発生した。ディスクのキズ、汚れや特性などにより録音ができない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。ディスクを取り出して、入れなおす。ディスクを清掃する。
MECHA ERROR	● 機械的な不具合が発生した。ディスクのキズ、汚れや特性などにより再生、または録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。ディスクを清掃する。ディスクを入れかえる。
BLANK DISC	● 何も録音されていないCD-R/RWである。	● 再生するときは、録音済みのCD-R/RWに入れかえる。
OPC	● OPC*処理をしている。 →49	● 故障ではありません。
OPC ERROR	● OPC*処理中に不具合が発生した。ディスクのキズ、汚れや特性などにより録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。ディスクを清掃する。録音可能なディスクに入れかえる。
CDR REC ONLY	● CD-Rを消去しようとしている。	● CD-Rは消去操作できません
XXX◀◀◀	● 24文字以上のタイトルが入力されている。	● 表示できるタイトル、テキストは23文字までです。

＊　OPCとPCA .... ファイナライズ処理されていないディスクをCD レコーダーに入れると、本機はそのディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するために試験的にディスクの特定エリアに書き込みを行います。この処理をOPC（Optimum Power Control）といい、書き込みを行うエリアをPCA（Power Calibration Area）といいます。

MDレコーダー部

ディスプレイ表示	意　味	処　置
MD NO DISC	● ミニディスクが入っていない。	● ミニディスクを入れる。
BLANK DISC	● 何も録音されていないミニディスクである。	● 再生するときは、録音済みのミニディスクに入れかえる。
NO TRACK	● 曲は録音されていないが、ディスクタイトルが書かれている。	● そのまま録音して問題ありません。
REC ERROR	● 録音途中で不具合が発生した。	● 他のミニディスクに入れかえる。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲など、制限を越えて編集しようとしている。	● 故障ではありません。
UTOC ERROR	● UTOC*の内容が異常である。	● **"ALL ERASE"**を行う(→119)。それができないときはミニディスクを入れかえる。
PROTECTED	● ミニディスクが**"録音禁止"**されている。	● **"録音可能"**にする。 →13
PLAY DISC	● 再生専用のミニディスクである。	● 録音用ミニディスクと入れかえる。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがない。	● 録音可能なミニディスクに入れかえる。

＊　UTOC .... TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書　（別途添付）

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しております。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- 技術料：　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：　修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　　）　　　-

定格

本体部

[アンプ部]

実用最大出力（EIAJ規格） .... 20 W + 20 W（6 Ω）
入力感度/インピーダンス
　AUX .... 200 mV / 47 kΩ
出力レベル/インピーダンス
　AUX OUT（CD再生時） .... 1.2 V / 100 Ω
　サブウーファープリアウト .... 1.6 V / 620 Ω
周波数特性
　AUX ....63 Hz〜45 kHz（0 dB, -3dB）

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲............................ 76 MHz〜90 MHz
アンテナインピーダンス ....75 Ω
AMチューナー部
受信周波数範囲........................ 531 kHz〜1,629 kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式 ....磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 .... ATRAC、ATRAC 3
D/Aコンバーター ....1 ビット
ワウ・フラッター (EIAJ規格) .... 測定限界以下

[CDプレーヤー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 ビット
オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ規格).................... 20 Hz〜20,000 Hz
ワウ・フラッター (EIAJ規格) .... 測定限界以下

[CDレコーダー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式 ....非接触光学式
D/Aコンバーター ....1 ビット
オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ規格).................... 20 Hz〜20,000 Hz
ワウ・フラッター (EIAJ規格) .... 測定限界以下

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） ...... 75 W

最大外形寸法
プレーヤー部 .... 幅　332 mm
高さ　179 mm
奥行　285 mm
CDプレイヤー（レコーダー）カバーを開けたときの高さ:274 mm

アンプチューナー部 .... 幅　85 mm
高さ　270 mm
奥行　220 mm
質量（重量）
プレーヤー部 .... 3.8 kg（正味）
アンプチューナー部 .... 3.6 kg（正味）

スピーカー部

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
　ウーファー .... 55 × 130 mm 長円コーン型
　ツイーター .... 19 mm ドーム型
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 30 W
最大外形寸法 .... 幅　105 mm
高さ　270 mm
奥行　248 mm
質量（重量） .... 2.4 kg（1本）

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒 150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

●商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京　電話（03）3477-5335　FAX（03）3477-5334　〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308　〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。